

会 長 挨 拶

この度、第 56 回日本小児神経学会学術集会を平成 26 年 5 月 29 日（木）から 5 月 31 日（土）に、浜松市にて開催させていただくことになりました。伝統ある本学会をお世話させていただけることを大変光栄に存じます。

今回学術集会のテーマを「小児神経の歩みを見つめる：新たな発展と残された課題」といたしました。私たちはこの 10 年間で多くの医療分野での発展を目の当たりにしました。たとえば筋ジストロフィは私が医師になったころは診断が主体で、治療は対症的なものが中心でした。つまり治療のない疾患でした。Kunkel 博士による dystrophin の発見が breakthrough となり、本症の病態の解明、それに続く治療法の開発など目を見張るものがあります。また最近は新規技術の導入により、診断、病態解明がさらにめまぐるしく進歩しています。このように現在は医療における Epoch-making な時代ですが、未だに解決されない取り残された課題（old theme）もまだまだあります。今回の学術集会では臨床・基礎の update な話題、残されている課題を考えながら、教育講演、ワークショップやシンポジウムなどを企画し、有意義な情報交換の場としたいと考えております。また若い小児神経学会員に対する企画も用意しました。昨年と同様に、開会前日のプレコンgressでは 5 つの実践教育セミナーを開催いたします。多くの若い小児神経科医にとって大変魅力的なプログラムをそれぞれ企画していただきました。最終日（土）午後には市民公開講座「支援が必要な子どもたちへの対応を考えるー医療、教育、社会に求められること」を開催します。

既に本学術集会のお知らせとしてプログラムの概略はお伝えしておりますが、改めて主な内容をお知らせいたします。特別講演では浜松医科大学小児科の緒方 勤教授に「インプリンティング疾患発症機序について」ご講演をいただきます。小児神経疾患の発症にも深く関わる病態について知るよい機会だと思います。招待講演ではデンマークのコペンハーゲン大学神経学から John Vissing 教授と、瀬川プログラムで米国 NIH の Mark Hallett 先生をお招きいたしました。Vissing 先生には代謝性ミオパチーについて、Hallett 先生には小児期の不随意運動として特に Tourette 症候群についてお話をお願いいたしました。埜中征哉先生には基調講演として長年臨床研究をされてきたご経験を「筋肉病学 わたしと患者をつなぐもの」と題してお話をいただきます。シンポジウムは 6 題、教育講演 8 題を予定しています。ディベートシンポジウムとして脳低温療法を取り上げました。脳保護に関する療法の一つとして、現状について議論したいと思います。テーマ企画シンポジウム 2 では静岡県におけるてんかん医療について発表をいただきます。

さて小児科には多くの分科会がありますが、私はつねづね、必ずしも情報交換がスムーズでなかったように思っておりました。昨年、一昨年といくつかの分科会に参加して、小児神経科医の前でお話を伺いたいと思ったテーマを 5 題選んでみました。企画セミナーではエキスパートに「A reappraisal」として「ミトコンドリア病」、「小児期の movement disorders」について現状を解説していただきます。スペシャルボックスとして 2 つのテーマを取り上げました。一つは海外留学など国際化に関する経験談を中心に議論する機会を設け、もう一つは研究の進め方として研究費、班会議など、今後若い学会員がどのように

そのような研究体制に加わっていくのかについて解説していただきます。また「今からでもきいてみよう」ではいまさらと思っていても、よく考えると自分の知識が曖昧ではなかったかと思うことをエキスパートに再確認していただければと思います。「朝から頑張る症例検討会」は早朝から4例の症例についてカンファレンス形式で進めてゆきます。ワークショップとしては「熱性けいれん診療ガイドライン」についてほぼまとまりつつある内容を解説していただき、パブリックコメントをいただく機会といたします。その他7つの委員会企画、3つの関連研究会と盛りだくさんの内容となっています。これらの企画は多くの先生方のご協力によるものであり、ここに御礼申し上げます。

さて、事務局としてもサプライズでしたが Sarnat 先生から参加のご希望をいただきましたので、特別教育講演として「発達脳における synaptogenesis」について飛び入りでお話しいただけることになりました。

本学術集會に参加される先生方は日常お忙しく、なかなかのんびりとする機会がないかと思いますが、学会前日の水曜日には、さわやかな音楽を楽しもうということで“ウエルカムコンサート”をアクトシティ浜松の中ホール（音楽ホール）で開催します。浜松は音楽の街で、著名な楽器メーカーや音響メーカーがあります。ピアノと弦楽のアンサンブルを心より楽しんでいただき木曜日からの学術集會へ英気を養っていただきたいと存じます。

学術集會初日の29日（木）の夕方には、懇親会を予定しております。学会員の皆様にはご参加いただき、親睦を深めていただければと存じます。

日本小児神経学会学術集會を浜松で開催するのは初めてです。浜松周辺には多くの観光名所もあり、折しも、浜名湖花博2014が開催されています。学術集會とともに楽しんでいただければ幸いです。事務局一同、誠心誠意努力しておりますので本学術集會を堪能していただけると信じております。

平成26年5月29日～31日、浜松でお会い出来ることを楽しみに心よりお待ちしております。

平成26年5月

第56回日本小児神経学会学術集會

会長 杉江秀夫

自治医科大学小児科

■交通案内	S5
■会場案内	S6
■ポスター会場案内	S11
■お知らせとお願い	S14
■プログラム委員・事務局	S19
■役員会・各種委員会・関連プログラム日程	S20
■日程	
プレコンgres (5 月 28 日)	S21
第 1 日目 (5 月 29 日)	S22
第 2 日目 (5 月 30 日)	S24
第 3 日目 (5 月 31 日)	S26
■プログラム	
特別演題日程	S29
プレコンgres (5 月 28 日)	S40
第 1 日目 (5 月 29 日)	S42
第 2 日目 (5 月 30 日)	S72
第 3 日目 (5 月 31 日)	S96
■特別演題抄録	
会長講演	S107
基調講演	S108
特別講演	S109
招待講演 (1・2)	S110
特別教育講演	S112
教育講演 (1~8)	S113
シンポジウム (1~6)	S121
テーマ企画シンポジウム (1・2)	S141
ディベートシンポジウム	S150
企画セミナー (1・2)	S153
朝から頑張る症例検討会	S157

今からでもきいてみよう (1~3)	S160
スペシャルボックス (1・2)	S162
ワークショップ	S166
共同研究支援委員会主催セミナー (第 1 部・第 2 部)	S170
東日本大震災支援委員会主催セミナー	S174
薬事委員会主催セミナー	S177
産科医療補償制度検討委員会主催セミナー	S180
社会活動委員会主催セミナー	S183
医療安全委員会主催セミナー	S185
長期計画委員会主催セミナー	S188
2014 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator	S192
The 2014 JSCN International Educational Fellowship	S193
実践教育セミナー (1~5)	S194
共催セミナー (1~13)	S205
市民公開講座	S213

■一般演題抄録 (English Session)

第 1 日目 (5 月 29 日)	S223
-------------------------	------

■一般演題抄録 (口演)

第 1 日目 (5 月 29 日)	S237
第 2 日目 (5 月 30 日)	S284
第 3 日目 (5 月 31 日)	S313

■一般演題抄録 (ポスター)

第 1 日目 (5 月 29 日)	S335
第 2 日目 (5 月 30 日)	S379

■索引 (筆頭講演者名)

S425

■歴代総会／学術集会会長・開催地・会期一覧

S432

■瀬川プログラム招待講演者一覧

S433

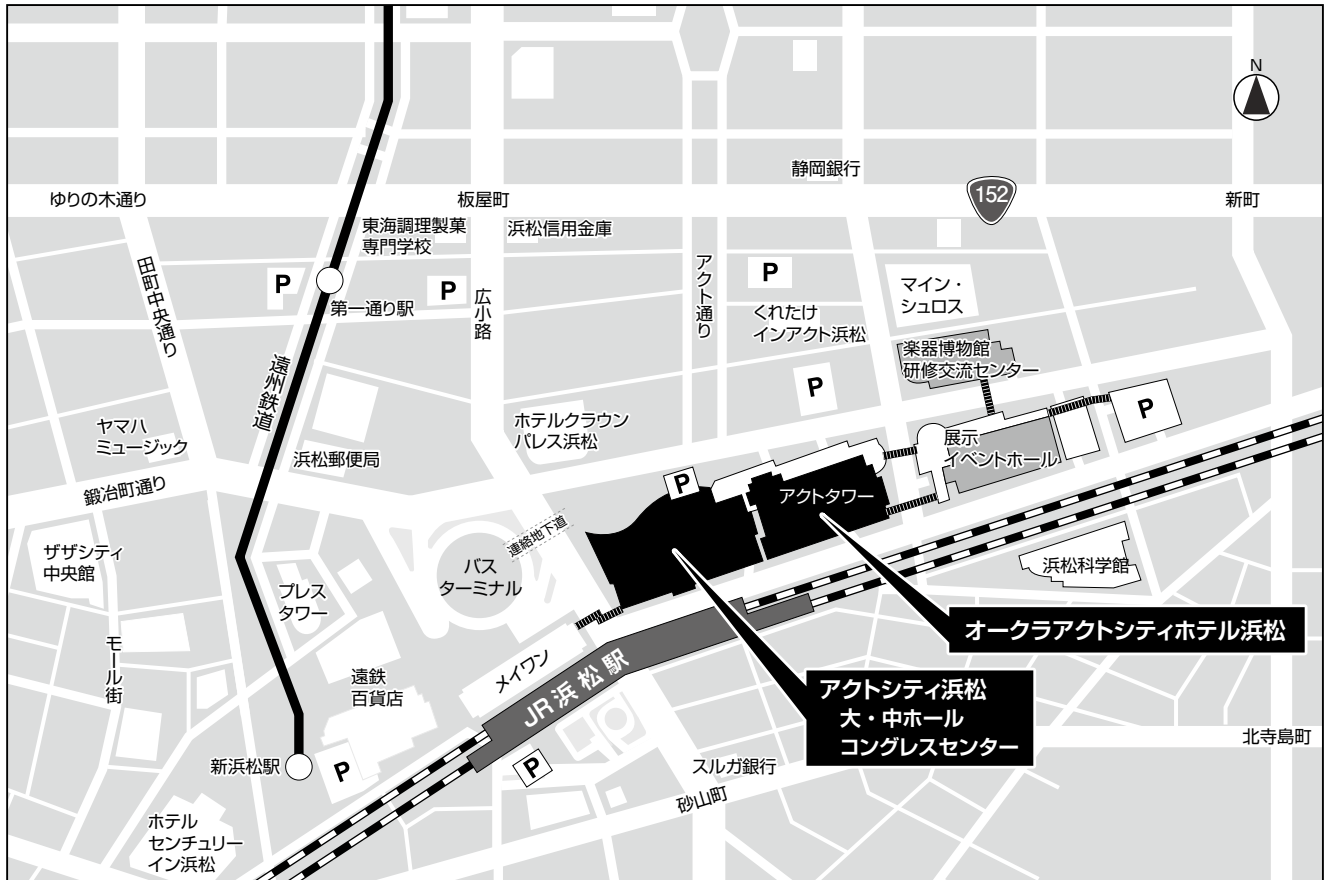
■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧

S434

■日本製薬団体連合会・協賛企業一覧

S436

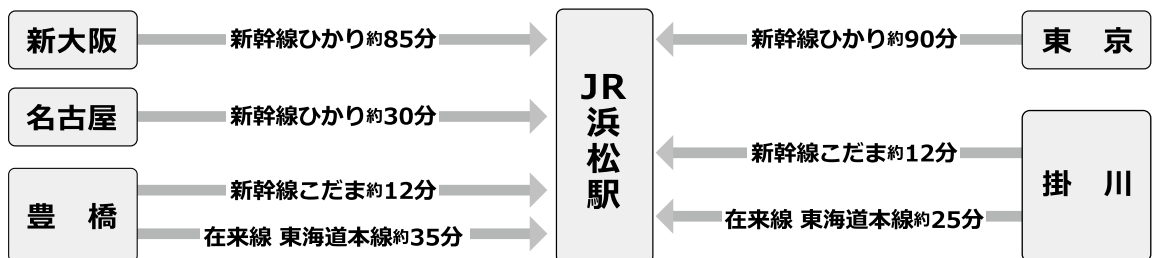
交通案内



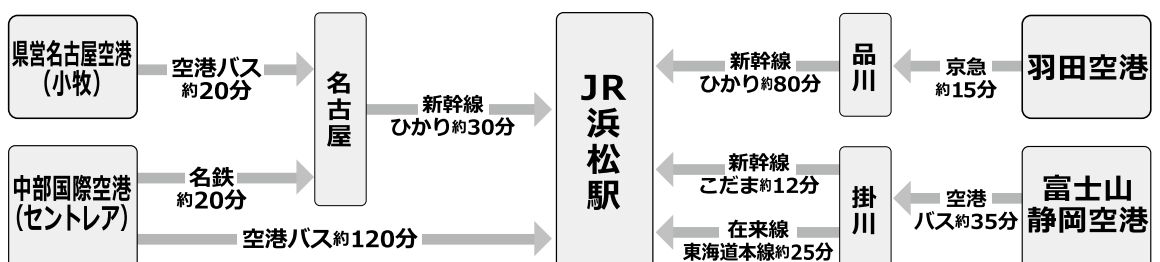
在来線・新幹線ともJR浜松駅をご利用ください。
JR浜松駅からは徒歩5～10分程度です。



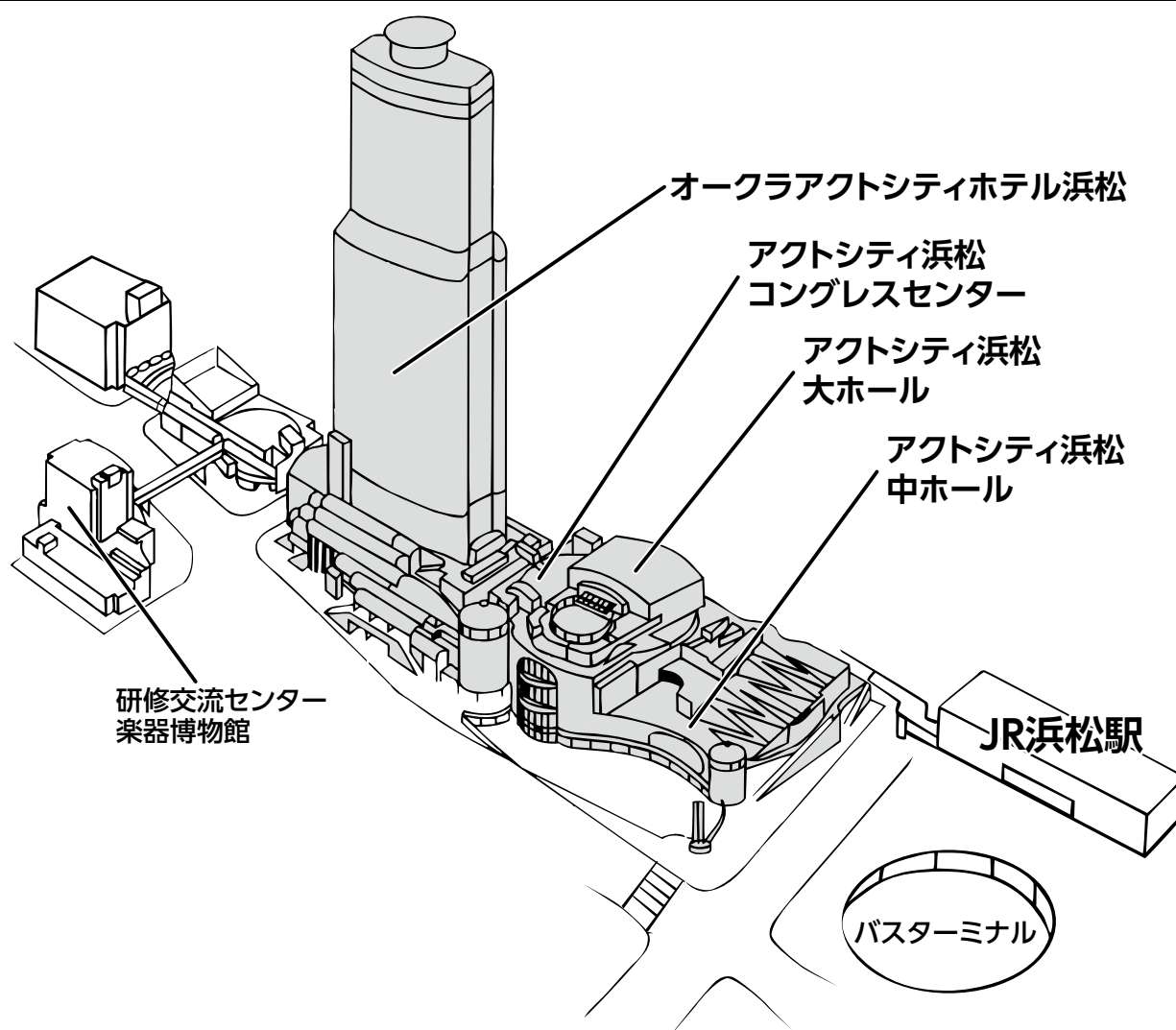
JRをご利用の方



飛行機をご利用の方



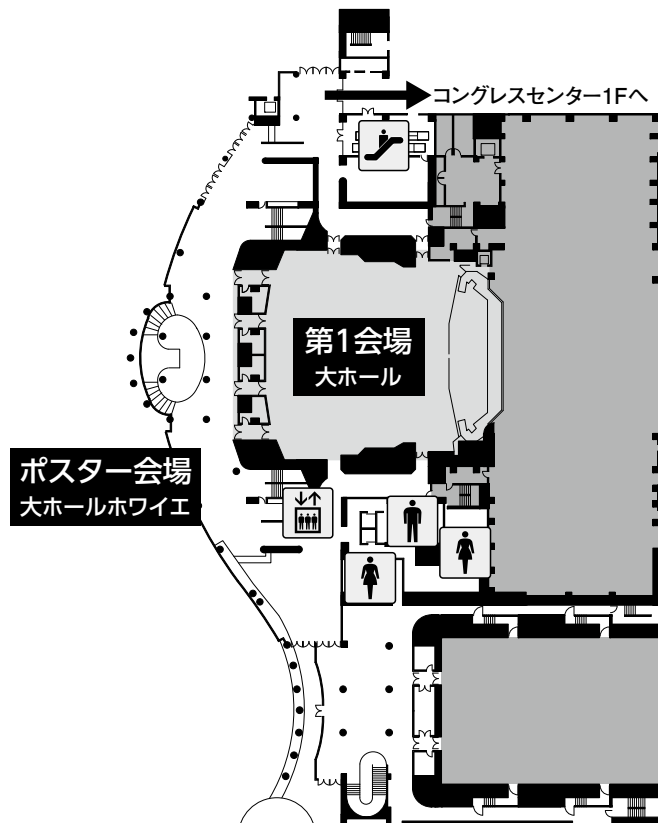
会場案内 (全体)



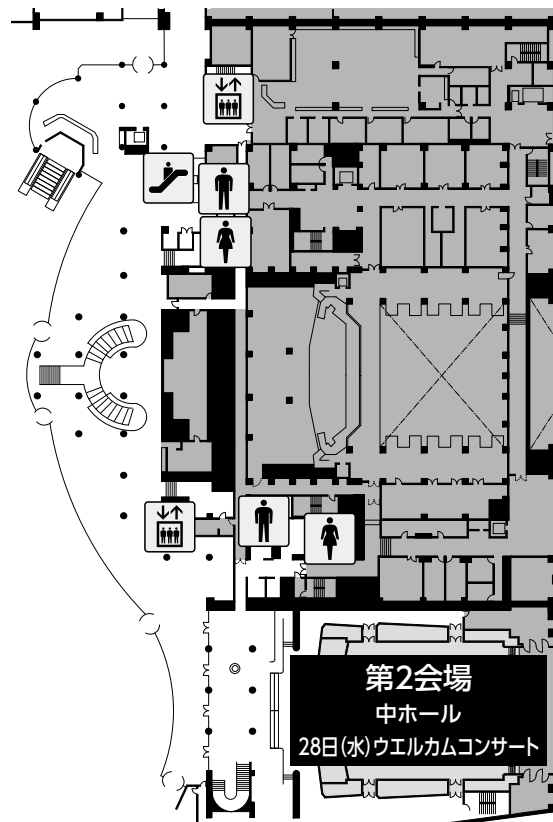
会場	施設名	フロア	部屋名
第 1 会場	アクトシティ浜松 大ホール		大ホール
第 2 会場	アクトシティ浜松 中ホール		中ホール
第 3 会場	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	41 会議室
第 4 会場			43 会議室
第 5 会場		5F	52+53+54 会議室
第 6 会場	オークラアクトシティホテル浜松	3F	チェルシー I
第 7 会場			チェルシー II
第 8 会場		4F	平安 I
第 9 会場			平安 III
第 10 会場	アクトシティ浜松 コンgressセンター	3F	メイフェア
第 11 会場		3F	31 会議室
第 12 会場		4F	44 会議室
第 13 会場		2F	22+23 会議室
ポスター会場	アクトシティ浜松 大ホール		大ホールホワイエ
	アクトシティ浜松 コンgressセンター	3F	31 会議室

アクトシティ浜松 大ホール・中ホール

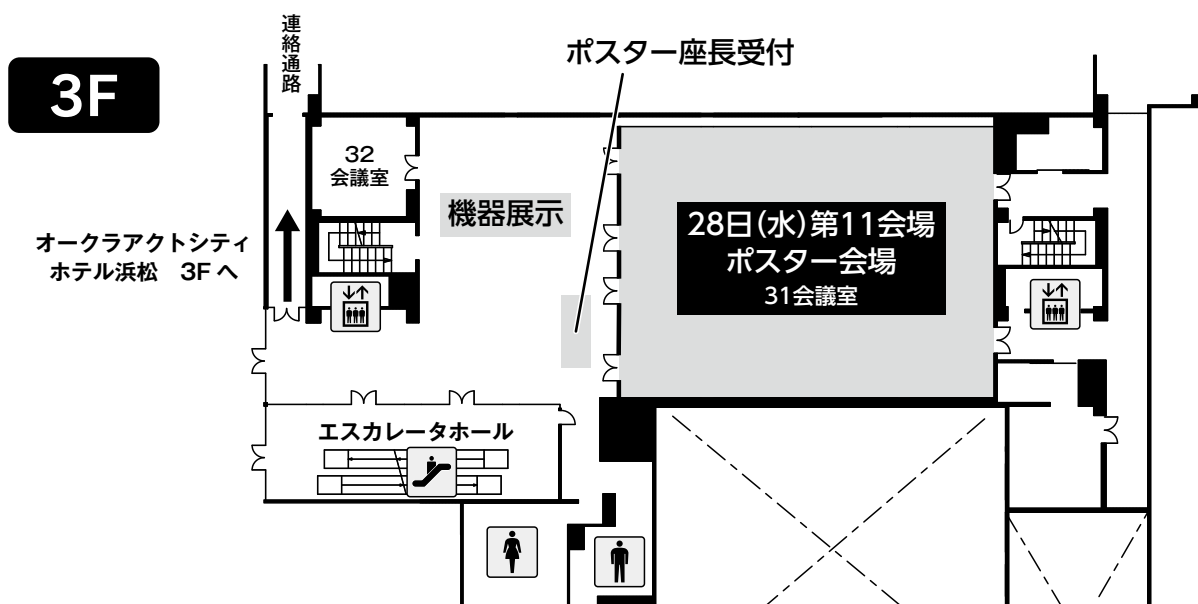
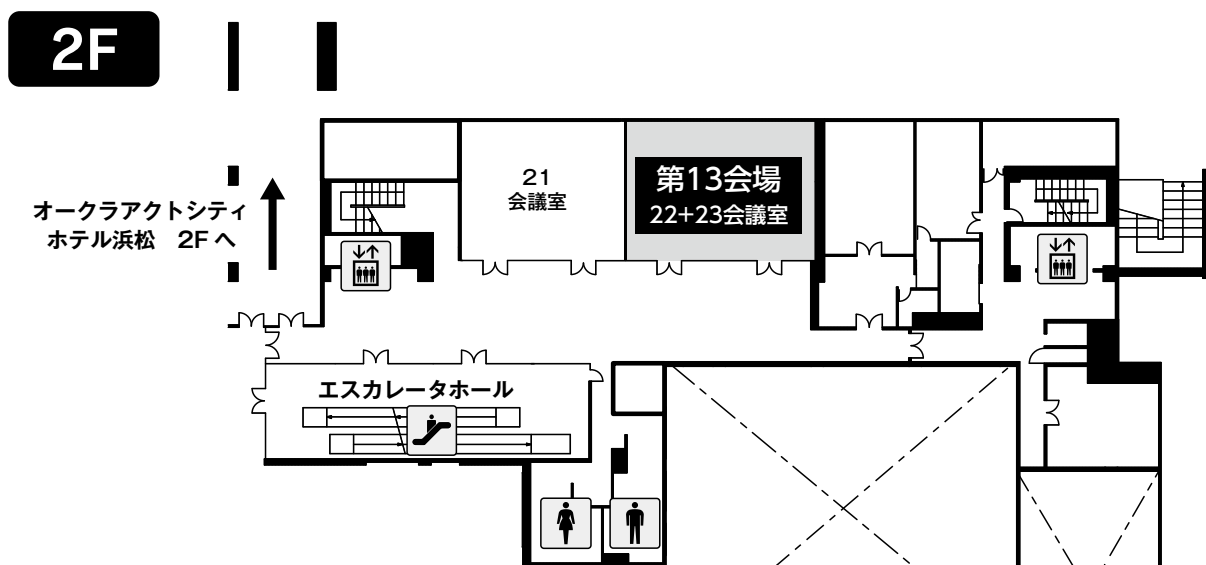
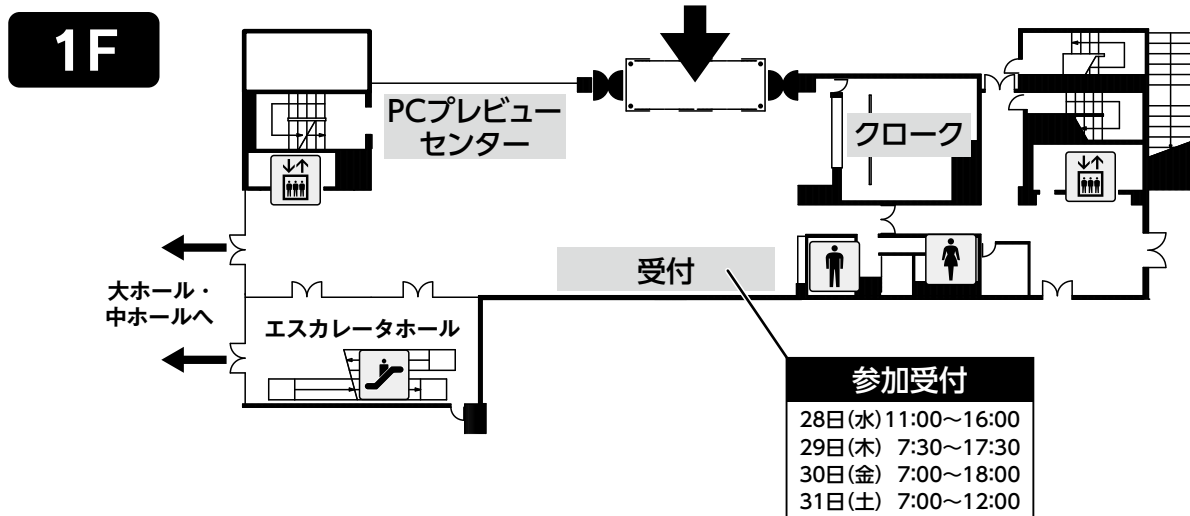
1F



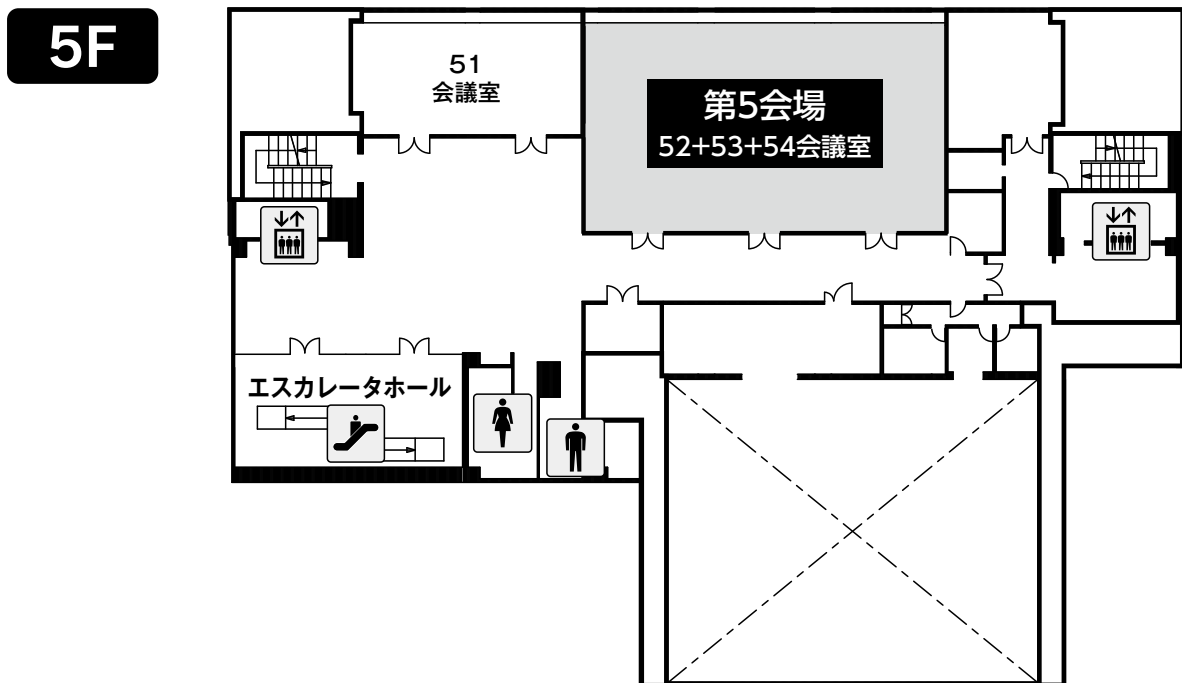
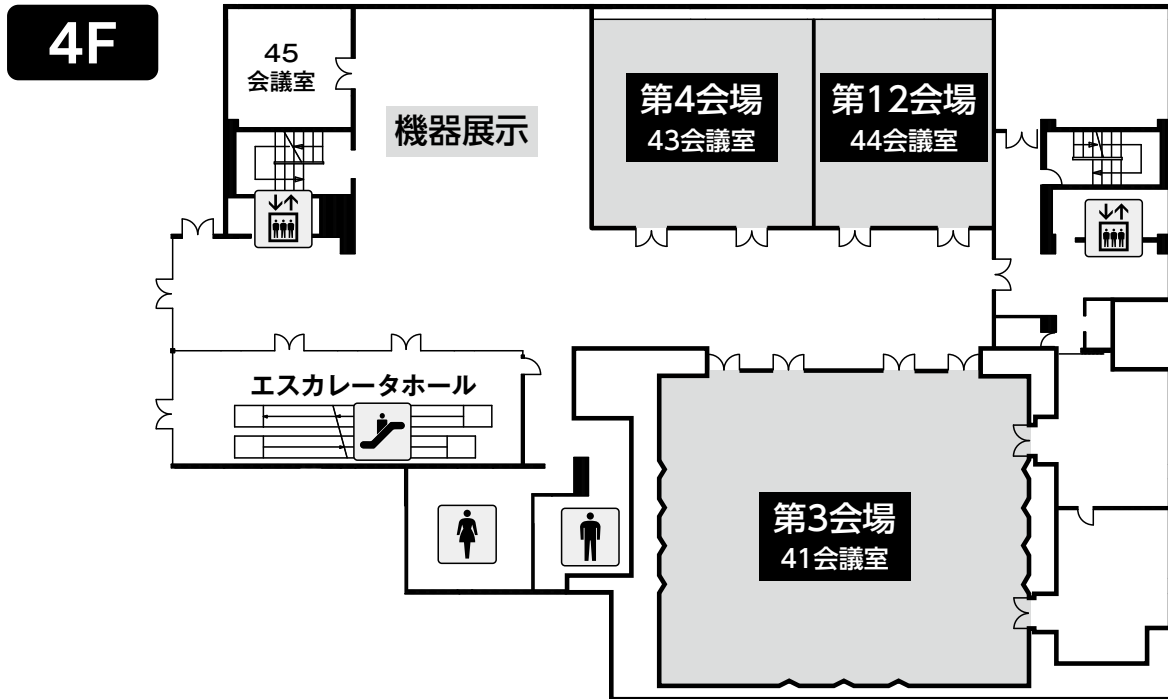
B1F



アクトシティ浜松 コンgressセンター

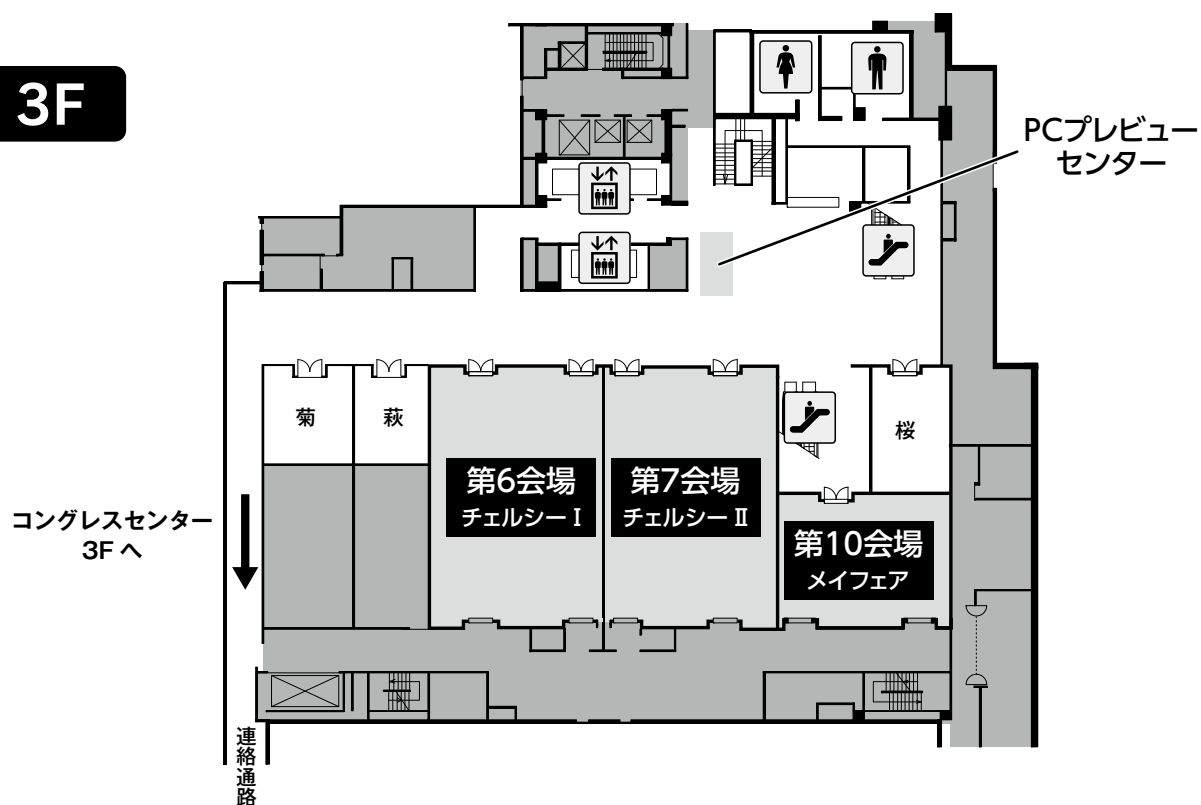


アクトシティ浜松 コンgressセンター



オークラアクトシティホテル浜松

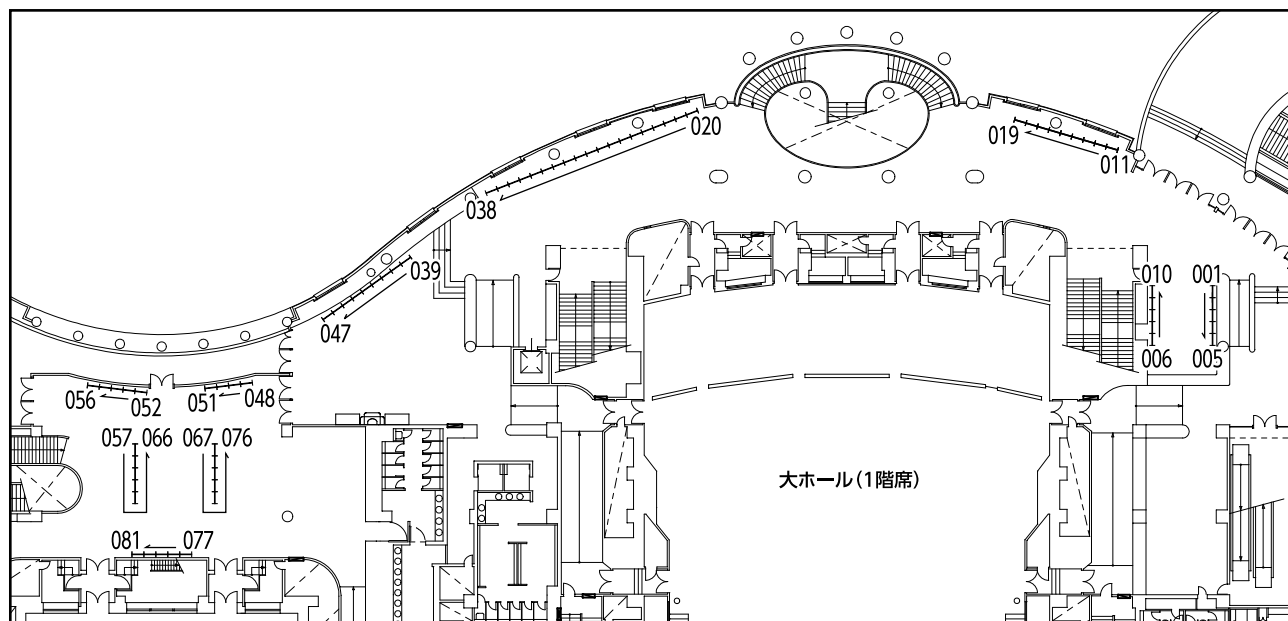
3F



4F

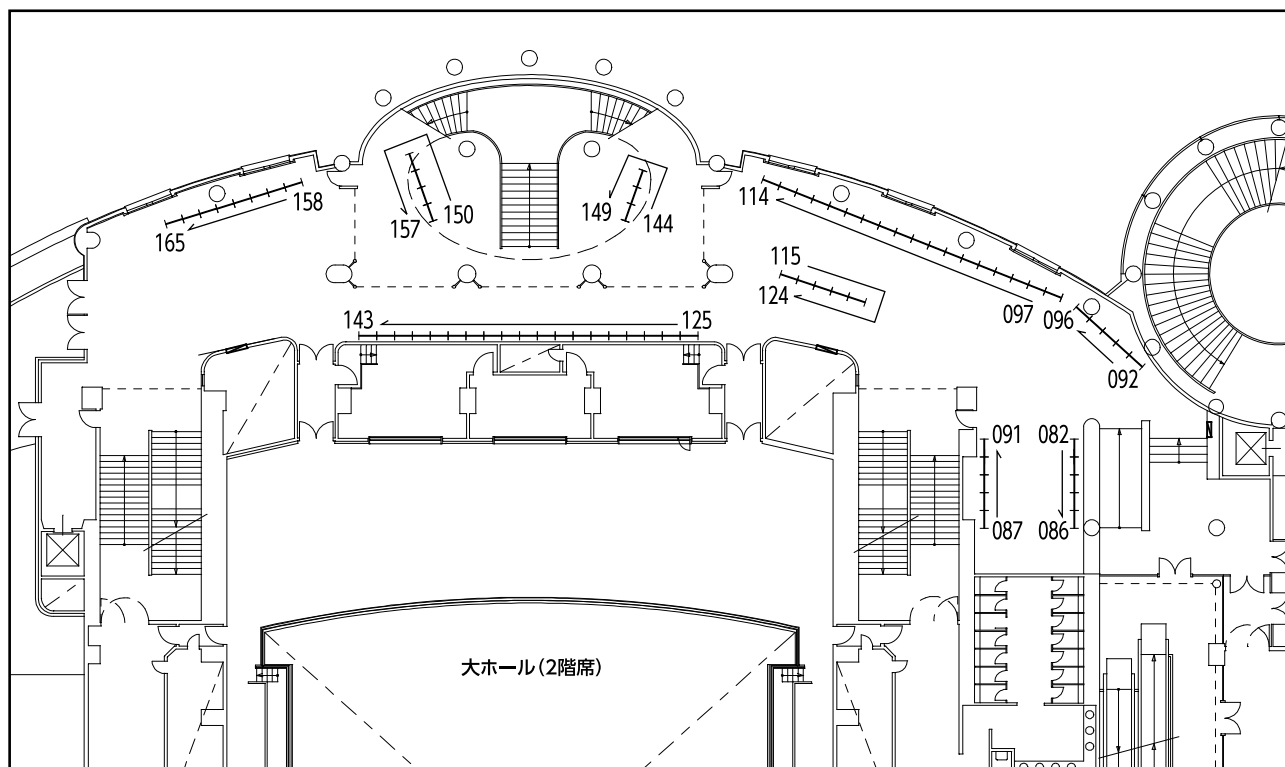


ポスター会場案内 アクトシティ浜松 大ホール・中ホール 1F ホワイエ



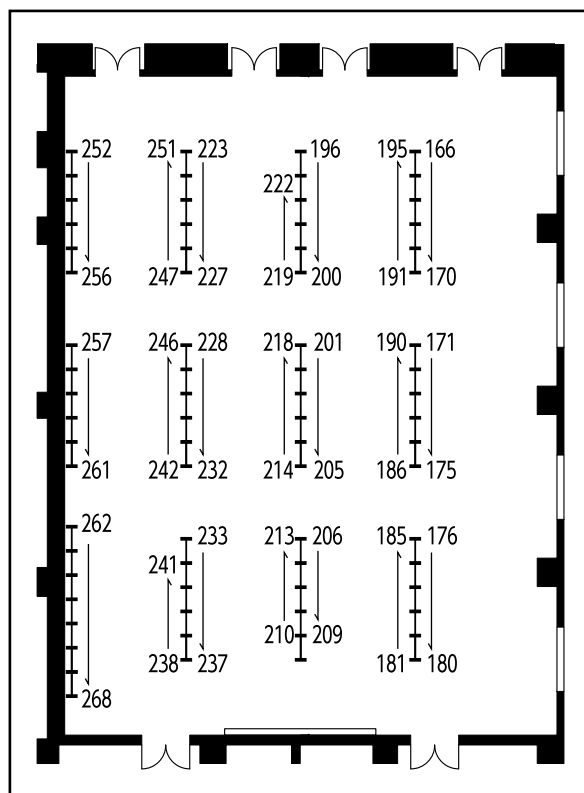
演題番号	セッション名	日 (曜日)	発表時間
P-001 ~ P-005	奇形・染色体 1	第1日目 29日(木)	17:25 ~ 17:50
P-006 ~ P-010	奇形・染色体 2		17:50 ~ 18:15
P-011 ~ P-014	奇形・染色体 3		18:15 ~ 18:35
P-015 ~ P-019	末梢神経		18:35 ~ 19:00
P-020 ~ P-024	注意欠如・多動性障害 1		17:25 ~ 17:50
P-025 ~ P-029	注意欠如・多動性障害 2		17:50 ~ 18:15
P-030 ~ P-035	発達障害検査・精神障害		18:15 ~ 18:45
P-036 ~ P-038	虐待		18:45 ~ 19:00
P-039 ~ P-042	発達障害 1		17:25 ~ 17:45
P-043 ~ P-047	発達障害 2		17:45 ~ 18:10
P-048 ~ P-051	筋 1		18:10 ~ 18:30
P-052 ~ P-056	筋 2		18:30 ~ 18:55
P-057 ~ P-061	てんかん・けいれん 1		17:25 ~ 17:50
P-062 ~ P-066	てんかん・けいれん 2		17:50 ~ 18:15
P-067 ~ P-071	てんかん・けいれん 3		18:15 ~ 18:40
P-072 ~ P-076	てんかん・けいれん 4		18:40 ~ 19:05
P-077 ~ P-081	てんかん・けいれん 5		17:25 ~ 17:50

アクトシティ浜松 大ホール 2F ホワイエ



演題番号	セッション名	日 (曜日)	発表時間
P-082 ~ P-086	脳炎・脳症 1	第1日目 29日(木)	17:50 ~ 18:15
P-087 ~ P-091	脳炎・脳症 2		18:15 ~ 18:40
P-092 ~ P-096	脳炎・脳症 3		18:40 ~ 19:05
P-097 ~ P-101	画像 1		17:25 ~ 17:50
P-102 ~ P-107	画像 2		17:50 ~ 18:20
P-108 ~ P-114	神経変性疾患		18:20 ~ 18:55
P-115 ~ P-119	代謝性疾患 1		17:25 ~ 17:50
P-120 ~ P-124	代謝性疾患 2		17:50 ~ 18:15
P-125 ~ P-129	代謝性疾患 3		18:15 ~ 18:40
P-130 ~ P-133	代謝性疾患 4		18:40 ~ 19:00
P-134 ~ P-138	新生児 1	第2日目 30日(金)	17:00 ~ 17:25
P-139 ~ P-143	新生児 2		17:25 ~ 17:50
P-144 ~ P-149	発達・病態		17:50 ~ 18:20
P-150 ~ P-153	自閉症スペクトラム障害 1		17:00 ~ 17:20
P-154 ~ P-157	自閉症スペクトラム障害 2		17:20 ~ 17:40
P-158 ~ P-161	自閉症スペクトラム障害 3		17:40 ~ 18:00
P-162 ~ P-165	自閉症スペクトラム障害 4		18:00 ~ 18:20

アクトシティ浜松 コンgressセンター 3F 31 会議室



演題番号	セッション名	日 (曜日)	発表時間
P-166 ~ P-170	脳性まひ 1	第2日目 30日(金)	17:00 ~ 17:25
P-171 ~ P-175	脳性まひ 2		17:25 ~ 17:50
P-176 ~ P-180	脳性まひ 3		17:50 ~ 18:15
P-181 ~ P-185	てんかん・けいれん 6		17:00 ~ 17:25
P-186 ~ P-190	てんかん・けいれん 7		17:25 ~ 17:50
P-191 ~ P-195	てんかん・けいれん 8		17:50 ~ 18:15
P-196 ~ P-200	てんかん・けいれん 9		18:15 ~ 18:40
P-201 ~ P-205	てんかん・けいれん 10		17:00 ~ 17:25
P-206 ~ P-209	遺伝 1		17:25 ~ 17:45
P-210 ~ P-213	遺伝 2		17:45 ~ 18:05
P-214 ~ P-218	自律神経・頭痛		18:05 ~ 18:30
P-219 ~ P-222	筋 3		17:00 ~ 17:20
P-223 ~ P-227	筋 4		17:20 ~ 17:45
P-228 ~ P-232	筋 5		17:45 ~ 18:10
P-233 ~ P-237	脳炎・脳症 4		17:00 ~ 17:25
P-238 ~ P-241	脳炎・脳症 5		17:25 ~ 17:45
P-242 ~ P-246	感染・免疫 1		17:45 ~ 18:10
P-247 ~ P-251	感染・免疫 2		18:10 ~ 18:35
P-252 ~ P-256	脳外科領域		17:00 ~ 17:25
P-257 ~ P-261	血管障害		17:25 ~ 17:50
P-262 ~ P-268	腫瘍		17:50 ~ 18:25

I. 参加者各位へ

(1) 会場：

アクトシティ浜松（〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町 111-1 TEL：053-451-1111）

オークラアクトシティホテル浜松

（〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町 111-2 TEL：053-459-0111）

(2) 受付：

月日	時間	場所
学術集会前日 5月28日（水）	11：00～16：00	アクトシティ浜松 1F エントランスロビー
学術集会 第1日目 5月29日（木）	7：30～17：30	
学術集会 第2日目 5月30日（金）	7：00～18：00	
学術集会 第3日目 5月31日（土）	7：00～12：00	

- (3) 登録：参加費を受付にてお支払い下さい。引き換えにネームカード（領収書兼）をお渡ししますので、所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期研修医、大学生は、いずれも身分を証明するものが必要です。大学生は学生証提示、初期研修医はあらかじめ所属施設長より現在初期研修中である証明を取得し、持参して下さい。受付にて所属と氏名を用紙に記入してネームカードを受け取って下さい。

	参加費
小児神経学会会員	15,000 円
非会員	18,000 円
初期研修医	5,000 円（証明書提示）
大学生（大学院生は除く）	2,000 円（学生証提示）
会員懇親会	5,000 円（非会員の参加も可能）

- (4) 個人情報に関する注意：個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたします。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情等を呈示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- (5) 抄録集：学術集会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は総合受付内の抄録集販売受付にて1冊2,000円で販売いたしますのでお求め下さい。ただし、数に限りがあります。
- (6) 会員総会：第56回総会を学術集会2日目（5月30日）13時20分より第2会場（アクトシティ浜松中ホール）で行います。会員参加者全員の出席をお願いいたします。
- (7) 日本小児神経学会年会費：平成26年度会費（15,000円）を未納の方は当該受付にて納入して下さい。
- (8) 専門医研修単位：学会参加により以下の研修単位が認められます。
日本リハビリテーション医学会認定臨床医10単位、小児神経専門医8単位、小児科専門医8単位。

- (9) 会員懇親会：学術集会 1 日目（5 月 29 日）終了後、オークラアクトシティホテル浜松にて会員懇親会を行います。多数のご参加をお待ちしています。
懇親会にて、すべての演題の中から優秀口演賞、筆頭著者が本学会開催（平成 26 年 5 月 29 日）時点で 40 歳以下の方の演題の中から、若手優秀ポスター賞の表彰をし、賞状・副賞を贈呈します。
- (10) 会場での呼び出しは原則としていたしません。
- (11) 駐車場：ホテルの駐車場は有料になります。公共の交通機関を使ってお越し下さい。

II. 座長各位へ

- (1) 口演発表の座長各位へ
担当セッション開始 15 分前までに会場の上手前方の次座長席におつき下さい。
口演発表は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）で進行して下さい。会場進行責任者からもお知らせをしますが、時間になりましたら随時セッションを開始して下さい。
口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了 1 分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯します。
セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。
- (2) ポスター発表の座長各位へ
担当セッション開始 15 分前までにポスター座長受付（アクトシティ浜松 3F）にお越し下さい。
1 演題 5 分（発表 3 分、質疑応答 2 分）で進行して下さい。
セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いします。

III. 演題の採択

- (1) 593 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果、演題取り下げ 6 題を除いた 587 題を採用、このうち English Session 34 題、口演 287 題、ポスターセッション 266 題と決定しました。
- (2) 2014 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator は 1 名（Sudhir Adhikari 先生）が、The 2014 JSCN International Educational Fellowship は 1 名（Gazi Mohammad Imranul Haque 先生）が選出されています。

IV. 口演発表者へ

- (1) 発表時間
発表時間に関して、依頼講演（教育講演、シンポジウム等）の演者、テーマ企画の演者は座長の指示に従って下さい。
一般演題（English Session）・（口演）の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です。各口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了 1 分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安として下さい。
- (2) 発表形式
依頼講演、一般演題（English Session）・（口演）ともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。次項の「PC 発表データ作成について」をご参照下さい。なお、English Session にてご発表の演者は、データを英語で作成し、英語でご発表下さい。
- (3) データのプレビュー・受付
PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意下さい。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
5 月 29 日 (木)	7:30~18:30	アクトシティ浜松
5 月 30 日 (金)	7:00~18:30	1F エントランスロビー オークラアクトシティホテル浜松
5 月 31 日 (土)	7:00~15:00	3F ロビー

第 1~5, 11~13 会場にてご講演の先生はアクトシティ浜松, 第 6~10 会場にてご講演の先生はオークラアクトシティホテル浜松の PC プレビューセンターをご利用下さい。

※ 5 月 28 日 (水) にご講演の先生は, 講演会場前方左側の映像オペレーション卓へ直接データをお持ち込み下さい。

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反 (COI) 開示のお願い

応募演題の筆頭発表者における COI (筆頭発表者自身に対して, 当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの, 兼業などによる給与・研究費・人員の提供など) に関する開示が義務付けられるため, 発表にあたっては, これらの情報を開示していただきます。

COI の有無にかかわらず, 発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて, COI の開示をお願いします。

COI 開示フォーマットは下記第 56 回学術集会ホームページでご確認下さい。

【第 56 回学術集会ホームページ: COI 開示要項】

http://www.c-linkage.co.jp/jsn56/zacho_enjya

◎データは以下の要領で作成して下さい。

①利用可能なパソコン

- ・ Windows の場合: USB ストレージ, CD-R でのデータ持ち込み, または, ノートパソコン持ち込みによる発表が可能です, なるべくノートパソコンの持ち込みは避け, メディアでのお持ち込みをお願いいたします。
- ・ Macintosh の場合: 必ずご自身のノートパソコンを持参して下さい。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。

②動画・音声の利用について

口演会場では, 動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は, Windows Media Player (WMV 形式を推奨いたします) で動作する形式で用意して下さい。動画を使用する場合, リンク切れにご注意下さい。これは, データをメディアにコピーした後, 作成した PC 以外の PC で動作確認することによりチェックできます。動画がある場合はご自身の PC のお持ち込みを推奨いたします。

③USB ストレージ, CD-R でのデータ持ち込みの場合 (Windows の場合のみ)

【発表データの作成】

- ・ OS: Windows XP 以降の環境で作成して下さい。
- ・ アプリケーション: Microsoft PowerPoint 2003 以降
- ・ 画面のサイズは XGA (1024×768) です。

【データの総量】

- ・ データの総量制限は特に設けませんが, 決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成して下さい。

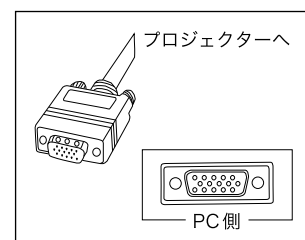
【データの提出方法】

- ・メディアの形式：USB ストレージまたは CD-R のみ受付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参下さい。
- ・発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存して下さい。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル（動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む）以外のデータは入れないで下さい。
- ・データの受付および返却：USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合、PC プレビューセンターではデータのみをコピーし、メディアはその場でご返却いたします。
- ・データの受付時間：発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出して下さい（早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい）。
- ・発表のために学会場の PC にコピーしたデータは、会期終了後、学会事務局ですべて消去します。

④ ノートパソコンをお持ち込みの場合（Windows, Macintosh とも）

【ノートパソコンの条件】

- ・外部出力ができる PC をご持参下さい。
- ・会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 ピンです。
- ・変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意下さい。
- ・HDMI や Mini DisplayPort など D-sub 15 ピン以外の接続はお受けできません。
- ・必ず AC アダプター（電源コード）をご持参下さい。AC アダプターがない場合、受付いたしかねる場合もありますのでご了承下さい。



[mini D-sub 15 pin] コネクタ形状

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をして下さい（早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい）。
- ・PC プレビューセンターにて、試写、動画・音声の有無を確認後、各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動して下さい。口演会場では、セッション開始時刻 15 分前までに会場内下手前方の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ち下さい。
- ・発表終了後直ちに PC 発表オペレータ席で、ご自身のパソコンをお引き取り下さい。

(5) 発表方法

- ・演台上のマウスとキーボードを操作し、プレゼンテーションを行って下さい。
- ・スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控え下さい。

V. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

掲示・展示	29 日（木）8：30～10：30 の間に各自で掲示して下さい。
発表	(P-001 ～ P133) 29 日（木）17：25～19：05 (P-134 ～ P268) 30 日（金）17：00～18：40
撤去	発表者は終了後、30 日（金）の 20：00 までに各自でポスターを取り外して下さい。

1 演題 5 分（発表 3 分，質疑応答 2 分）です。発表時間は座長の指示に従い，厳守して下さい。

※撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは，学会事務局で撤去し，プログラム終了後に廃棄いたしますのでご了承下さい。

(2) ポスター掲示について

◎ポスター掲示での利益相反（COI）開示のお願い

応募演題の筆頭発表者における COI の開示が義務付けられております。

COI の有無にかかわらず、ポスターの最後に必ず COI 開示の
掲示をお願いいたします。

COI 開示のフォーマットは下記第 56 回学術集会ホームページ
よりご確認ください。

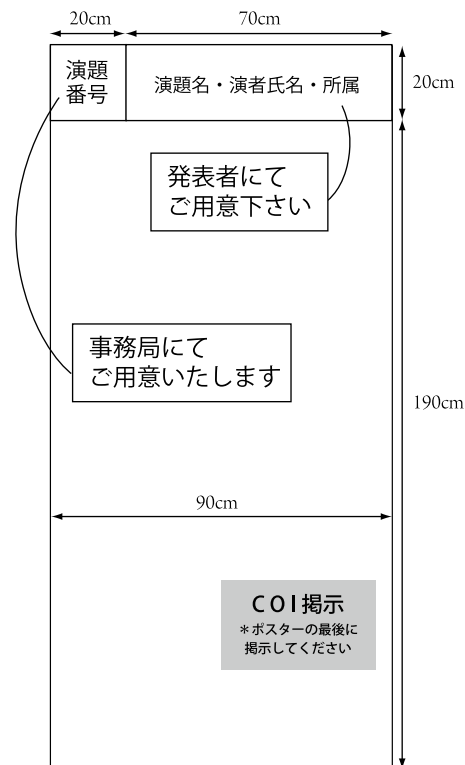
【第 56 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

http://www.c-linkage.co.jp/jscn56/zacho_enjya

ポスター掲示面の大きさは幅 90 cm、高さ 210 cm です。

(右図参照)

パネルの左肩に 20 cm×20 cm の演題番号が表示されます(演題
番号は、学会事務局にて用意します)。発表者は、指定のパネル
上部の演題番号を除く幅 70 cm、高さ 20 cm のスペースに演題
名、所属、演者氏名とすべての共同演者氏名を提示して下さい。
本文はその下の 90 cm×190 cm のスペースに掲示して下さい。
画鋏は各パネルに用意します。



VI. 共催セミナーについて

(1) 内容

■学会 1 日目（5 月 29 日）

11 時 35 分より共催セミナー 1, 2, 3, 4, 5, 6 を開催します。

■学会 2 日目（5 月 30 日）

12 時 15 分より共催セミナー 7, 8, 9, 10, 11, 12 を、19 時より共催セミナー 13 を開催します。

※上記セミナーはいずれも昼食または軽食を用意いたします。

(2) 共催セミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
5 月 29 日（木）	7：30～11：00	アクトシティ浜松
5 月 30 日（金）	7：30～11：30	1F エントランスロビー

共催セミナーの参加には、参加整理券（無料）が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取り下さい。整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場下さい。なお、整理券はセミナー開始 10 分後に無効となります。

※共催セミナー 13 は整理券の配布はございません。

VII. 託児室

会場内に託児室を設置いたします。詳細はホームページに掲載しております。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

【第 56 回学術集会ホームページ：託児室】

<http://www.c-linkage.co.jp/jscn56/daycare.html>

プログラム委員会（敬称略，50 音順）

今高 城治，今村 淳，植松 貢，榎 日出夫，大野 耕策，岡 明，小沢 浩，加藤善一郎，
加藤 光広，吉良龍太郎，久保田健夫，熊田 聡子，後藤 知英，後藤 雄一，小林 勝弘，齋藤 伸治，
下澤 伸行，白石 秀明，杉江 秀夫，鈴木 保宏，高梨 潤一，高橋 悟，高橋 幸利，遠山 潤，
永井利三郎，中川 栄二，夏目 淳，萩野谷和裕，林 隆，林 雅晴，平澤 恭子，福田冬季子，
福水 道郎，藤井 克則，前垣 義弘，山形 崇倫，山下裕史朗，和田 敬仁

第 56 回日本小児神経学会学術集会

会 長 杉江 秀夫（自治医科大学小児科学）

〒 329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

事務局 〒 431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号
浜松医科大学小児科学

事務局長 福田冬季子

TEL：053-435-2312 FAX：053-435-2312

運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 2 三番町 KS ビル

TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8693

E-mail：jscn56@c-linkage.co.jp

第 56 回日本小児神経学会学術集会●役員会・各種委員会・関連プログラム日程

日程	会合名	時間	施設	階	部屋
5 月 28 日 (水) 〈プレコングレス〉					
理事会		11:30～15:30	オークラアクトシティホテル浜松	3F	チェルシー
評議員会 (第 8 回社員総会)		16:00～18:00	オークラアクトシティホテル浜松	4F	平安
実践教育セミナー 1 (有料)		11:45～14:45	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 3 会場
実践教育セミナー 2 (有料)		11:45～14:45	アクトシティ浜松 コンgressセンター	3F	第 11 会場
実践教育セミナー 3 (有料)		15:00～18:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 3 会場
実践教育セミナー 4 (有料)		15:00～18:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	2F	第 13 会場
実践教育セミナー 5 (有料)		15:00～18:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	5F	第 5 会場
5 月 29 日 (木) 〈学術集会第 1 日目〉					
倫理委員会		7:00～ 8:00	オークラアクトシティホテル浜松	3F	萩
国際渉外委員会		7:00～ 8:00	オークラアクトシティホテル浜松	4F	菫
社会活動委員会		7:00～ 8:00	オークラアクトシティホテル浜松	3F	菊
ホームページ委員会／歴史・史料委員会合同		7:00～ 8:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 12 会場
長期計画委員会		7:00～ 8:00	オークラアクトシティホテル浜松	4F	蘭
脳と発達編集委員会		11:35～12:35	アクトシティ浜松 コンgressセンター	2F	第 13 会場
社会保険委員会		11:35～12:35	アクトシティ浜松 コンgressセンター	3F	32 会議室
共同研究支援委員会		11:35～12:35	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	45 会議室
会員懇親会		19:30～21:00	オークラアクトシティホテル浜松	4F	平安
5 月 30 日 (金) 〈学術集会第 2 日目〉					
薬事委員会		8:00～ 9:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 12 会場
東日本大震災支援委員会		8:00～ 9:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	5F	51 会議室
共同研究支援委員会主催セミナー		8:00～10:00	オークラアクトシティホテル浜松	3F	桜
Brain & Development 編集委員会		12:15～13:15	アクトシティ浜松 コンgressセンター	2F	第 13 会場
用語委員会		12:15～13:15	研修交流センター	4F	404 会議室
ガイドライン統括委員会		12:15～13:15	オークラアクトシティホテル浜松	3F	桜
熱性けいれん診療ガイドライン策定委員会		12:15～13:15	研修交流センター	4F	405 会議室
医療安全委員会		12:15～13:15	アクトシティ浜松 コンgressセンター	3F	32 会議室
産科医療補償制度検討委員会		12:15～13:15	研修交流センター	4F	403 会議室
会員総会		13:20～14:05	アクトシティ浜松		中ホール
日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演		14:05～14:35	アクトシティ浜松		中ホール
2014 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator		14:35～14:45	アクトシティ浜松		中ホール
The 2014 JSCN International Educational Fellowship		14:45～14:55	アクトシティ浜松		中ホール
熱性けいれん診療ガイドライン策定委員会ワークショップ		15:00～17:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 3 会場
東日本大震災支援委員会主催セミナー		17:00～19:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	2F	第 13 会場
アドバイザリーカウンスル		17:30～18:30	オークラアクトシティホテル浜松	3F	桜
医療安全委員会主催セミナー		19:00～20:30	オークラアクトシティホテル浜松	3F	第 10 会場
薬事委員会主催セミナー		19:00～21:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 3 会場
産科医療補償制度検討委員会主催セミナー		19:00～21:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 4 会場
社会活動委員会主催セミナー		19:00～21:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	5F	第 5 会場
5 月 31 日 (土) 〈学術集会第 3 日目〉					
教育委員会		8:00～ 9:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	2F	第 13 会場
専門医委員会		8:00～ 9:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 12 会場
小児けいれん重積治療ガイドライン策定委員会		8:00～ 9:00	研修交流センター	4F	405 会議室
小児急性脳症診療ガイドライン策定委員会		8:00～ 9:00	アクトシティ浜松 コンgressセンター	5F	51 会議室
長期計画委員会主催セミナー		9:00～11:30	アクトシティ浜松		大ホール
第 57 回学術集会プログラム委員会		12:20～13:30	アクトシティ浜松 コンgressセンター	4F	第 12 会場
市民公開講座		13:00～16:00	アクトシティ浜松		中ホール

	第 3 会場	第 5 会場	第 11 会場	第 13 会場	その他
	アクトシティ浜松				オークラアクト シティホテル浜松
	4F 41 会議室	5F 52+53+54 会議室	3F 31 会議室	2F 22 会議室	
11:00					
12:00					
13:00	実践教育セミナー 1 11:45 ~ 14:45 先天奇形症候群： 基礎から臨床まで ～どのようにアプローチ するのか～ 座長：久保田健夫 黒澤健司 講師：黒澤健司 吉橋博史 岡本伸彦 黒田友紀子		実践教育セミナー 2 11:45 ~ 14:45 新生児脳波・ aEEG 判読セミナー 座長：奥村彰久 講師：深沢達也 奥村彰久 城所博之		理事会 11:30 ~ 15:30 (3F チェルシー)
14:00					
15:00					
16:00	実践教育セミナー 3 15:00 ~ 18:00 小児科医のための 神経画像 2014 座長：高梨潤一 大場 洋 講師：宇都宮英綱 相田典子 森 壱 高梨潤一 大場 洋	実践教育セミナー 5 15:00 ~ 18:00 明日から役立つ 小児神経生理学入門 EP/ERP 記録実演 座長：稲垣真澄 榎日出夫 講師：榎日出夫 久保田雅也 荒木 敦 洲上達夫 加賀佳美 相原正男		実践教育セミナー 4 15:00 ~ 18:00 遺伝学実践教育セミナー： 遺伝学的検査結果を 解釈する 講師：齋藤伸治 山形崇倫 山本俊至 酒井康成 和田敬仁	
17:00					評議員会 16:00 ~ 18:00 (4F 平安)
18:00					
19:00	ウェルカムコンサート 開場 18:00 (ウェルカムドリンク) 開演 18:30 (アクトシティ浜松 中ホール)				
20:00					

第 56 回日本小児神経学会学術集会●日程 第 1 日目 〈5 月 29 日 (木)〉

	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場
	アクトシティ浜松				オークラアクトシティホテル浜松		
	中ホール	4F 41 会議室	4F 43 会議室	5F 52+53+54 会議室	3F チェルシー I	3F チェルシー II	4F 平安 I
8:30	開会式 8:30 ~ 8:40						
9:00	会場講演 8:40 ~ 9:10 グリコーゲン代謝 —筋肉から脳へ 講演: 杉江秀夫 座長: 大澤真木子						
10:00	シンポジウム 1 9:20 ~ 11:20 iPS 細胞を用いた 小児神経疾患の病態 解明とその問題点 座長: 廣瀬伸一 岡野栄之		English Session 1 9:20 ~ 10:20 (E-001 ~ E-005) 座長: Hirokazu Oguni Masayuki Sasaki	English Session 2 9:20 ~ 10:20 (E-006 ~ E-011) 座長: Akira Oka Hiroshi Sakuma	English Session 3 9:20 ~ 10:20 (E-012 ~ E-017) 座長: Hideo Yamanouchi Tatsuro Izumi	English Session 4 9:20 ~ 10:20 (E-018 ~ E-022) 座長: Masashi Mizuguchi Mitsuhiro Kato	English Session 5 9:20 ~ 10:20 (E-023 ~ E-028) 座長: Mitsuru Kawai Tokiko Fukuda
11:00		教育講演 1 10:25 ~ 11:25 DSM-4 から DSM-5 へ: 解説と 問題点 講演: 松本英夫 座長: 永井利三郎	新生児 10:25 ~ 11:25 (O-001 ~ O-006) 座長: 大野雅樹 早川文雄	神経・筋疾患 1 10:25 ~ 11:25 (O-019 ~ O-024) 座長: 斎藤加代子 西尾久英	教育講演 2 10:25 ~ 11:25 ベルオキシソーム病 のアップデートへ 基礎と臨床の融合 講演: 下澤伸行 座長: 山本 仁	遺伝 1 10:25 ~ 11:25 (O-037 ~ O-041) 座長: 新井田要 是松聖悟	てんかん・けいれん 1 10:25 ~ 11:25 (O-066 ~ O-071) 座長: 後藤知英 前垣義弘
12:00	共催セミナー 1 11:35 ~ 12:35 包括的てんかん診療 における小児神経科 医の役割 講演: 榎日出夫 座長: 齋藤伸治	共催セミナー 2 11:35 ~ 12:35 1) Dravet syndrome in 2014 2) Treatments of patients with Dravet syndrome 講演: Charlotte Dravet Catherine Chiron 座長: 小国弘量		共催セミナー 3 11:35 ~ 12:35 小児てんかんに おける抗てんかん薬 の使い方 —新規抗てんかん薬 を中心に— 講演: 桑原健太郎 座長: 大澤真木子	共催セミナー 4 11:35 ~ 12:35 エビデンスに基づく 注意欠陥多動性障害 (ADHD) の治療戦略 —薬剤導入による 脳機能変化— 講演: 友田明美 座長: 谷池雅子	共催セミナー 5 11:35 ~ 12:35 薬剤性の高アンモ ニア血症に対する L-カルニチン療法 の実際 講演: 太田正康 座長: 児玉浩子	共催セミナー 6 11:35 ~ 12:35 小児期のてんかん 重積に対する治療戦 略と治療薬物モニタ リングの有用性 講演: 岩崎俊之 座長: 山内秀雄
13:00	基調講演 12:45 ~ 13:15 筋肉病と わたしと患者をつなぐもの 講演: 桒中征哉 座長: 大野耕策						
14:00	特別講演 13:15 ~ 14:15 インプリンティング 疾患発症機序 について 講演: 緒方 勤 座長: 高橋孝雄					急性脳炎・脳症 1 13:25 ~ 14:25 (O-042 ~ O-047) 座長: 浜野晋一郎 平林伸一	てんかん・けいれん 2 13:25 ~ 14:25 (O-072 ~ O-077) 座長: 吉永治美 林 北見
15:00	招待講演 1 14:15 ~ 15:15 How should we diagnose metabolic myopathy? 講演: John Vissing 座長: 川井 充					急性脳炎・脳症 2 14:25 ~ 15:25 (O-048 ~ O-053) 座長: 高橋 悟 千代延友裕	てんかん・けいれん 3 14:25 ~ 15:25 (O-078 ~ O-083) 座長: 奥村彰久 福田光成
16:00	シンポジウム 2 15:25 ~ 17:25 発達性読み書き障害 (Dyslexia) 診断と 治療の進歩: 医療 からのアプローチ 座長: 稲垣真澄 小枝達也	テーマ企画 シンポジウム 1 15:25 ~ 17:40 小児科分野別 における小児神経 科医に関連する トピックス 座長: 杉江秀夫 山口清次	脳性まひ・ 重症心身障害 1 15:25 ~ 16:25 (O-007 ~ O-012) 座長: 横地健治 森本武彦	遺伝 2 15:25 ~ 16:25 (O-025 ~ O-030) 座長: 久保田健夫 竹内義博	教育講演 3 15:25 ~ 16:25 福山型筋ジストロ フィーの病態基盤と 新たな治療法の開発 講演: 戸田達史 座長: 岡 明	急性脳炎・脳症 3 15:25 ~ 16:25 (O-054 ~ O-059) 座長: 高橋幸利 市山高志	てんかん・けいれん 4 15:25 ~ 16:25 (O-084 ~ O-089) 座長: 久保田英幹 小林勝弘
17:00			脳性まひ・ 重症心身障害 2 16:25 ~ 17:25 (O-013 ~ O-018) 座長: 麻生幸三郎 北住映二	神経・筋疾患 2 16:25 ~ 17:25 (O-031 ~ O-036) 座長: 木村重美 石川幸辰	教育講演 4 16:25 ~ 17:25 脳形成異常の 分子病態と臨床 講演: 加藤光広 座長: 須貝研司	感染・免疫 1 16:25 ~ 17:25 (O-060 ~ O-065) 座長: 吉良龍太郎 細矢光亮	てんかん・けいれん 5 16:25 ~ 17:25 (O-090 ~ O-095) 座長: 夏目 淳 遠山 潤
18:00							
19:00							
19:30	会員懇親会 19:30 ~ 21:00 (オークラアクトシティホテル浜松 平安)						
21:00							

第9会場		第10会場
オークラアクトシティホテル浜松		
4F 平安Ⅲ	3F メイフェア	
8:30		
9:00		
10:00	English Session 6 9:20～10:20 (E-029～E-034) 座長: Teruyuki Tanaka Akemi Tomoda	
11:00	画像 10:25～11:25 (O-096～O-101) 座長: 高梨潤一 大場 洋	奇形・染色体異常 1 10:25～11:25 (O-126～O-131) 座長: 山本俊至 和田敬仁
12:00		
13:00		
14:00	代謝性疾患 1 13:25～14:25 (O-102～O-107) 座長: 呉 繁夫 酒井規夫	
15:00	代謝性疾患 2 14:25～15:25 (O-108～O-113) 座長: 田中あけみ 清水教一	
16:00	自閉症スペクトラム 障害 1 15:25～16:25 (O-114～O-119) 座長: 難波栄二 永田浩一	奇形・染色体異常 2 15:25～16:25 (O-132～O-137) 座長: 岡本伸彦 西村 陽
17:00	腫瘍・血管障害 16:25～17:25 (O-120～O-125) 座長: 伊予田邦昭 栗原まな	発達障害検査 16:25～17:25 (O-138～O-143) 座長: 作田亮一 横山浩之
19:00		
19:30	会員懇親会 19:30～21:00 (オークラアクトシティホテル浜松 平安)	
21:00		

ポスター会場							
アクトシティ浜松							
大ホールホワイエ + 3F 31会議室							
ポスター展示							
9:00							
17:25	奇形・染色体 1 17:25～17:50 (P-001～P-005) 座長: 梶井直文	注意欠如・ 多動性障害 1 17:25～17:50 (P-020～P-024) 座長: 真田 敏	発達障害 1 17:25～17:45 (P-039～P-042) 座長: 久保田哲夫	てんかん・ けいれん 1 17:25～17:50 (P-057～P-061) 座長: 秋山倫之	てんかん・ けいれん 5 17:25～17:50 (P-077～P-081) 座長: 沖 潤一	画像 1 17:25～17:50 (P-097～P-101) 座長: 森 雅人	代謝性疾患 1 17:25～17:50 (P-115～P-119) 座長: 乾 幸治
18:00	奇形・染色体 2 17:50～18:15 (P-006～P-010) 座長: 柳川敏彦	注意欠如・ 多動性障害 2 17:50～18:15 (P-025～P-029) 座長: 岩崎裕治	発達障害 2 17:45～18:10 (P-043～P-047) 座長: 奈良隆寛	てんかん・ けいれん 2 17:50～18:15 (P-062～P-066) 座長: 糸見和也	脳炎・脳症 1 17:50～18:15 (P-082～P-086) 座長: 松林朋子	画像 2 17:50～18:20 (P-102～P-107) 座長: 斎藤義朗	代謝性疾患 2 17:50～18:15 (P-120～P-124) 座長: 松尾宗明
	奇形・染色体 3 18:15～18:35 (P-011～P-014) 座長: 荻野竜也	発達障害検査・ 精神障害 18:15～18:45 (P-030～P-035) 座長: 口分田政夫	筋 1 18:10～18:30 (P-048～P-051) 座長: 穴倉啓子	てんかん・ けいれん 3 18:15～18:40 (P-067～P-071) 座長: 今村 淳	脳炎・脳症 2 18:15～18:40 (P-087～P-091) 座長: 舟塚 真	神経変性疾患 18:20～18:55 (P-108～P-114) 座長: 岸 高正	代謝性疾患 3 18:15～18:40 (P-125～P-129) 座長: 三牧正和
	末梢神経 18:35～19:00 (P-015～P-019) 座長: 大谷宜伸	虐待 18:45～19:00 (P-036～P-038) 座長: 丸山幸一	筋 2 18:30～18:55 (P-052～P-056) 座長: 常石秀市	てんかん・ けいれん 4 18:40～19:05 (P-072～P-076) 座長: 椎原 隆	脳炎・脳症 3 18:40～19:05 (P-092～P-096) 座長: 亀井 淳		代謝性疾患 4 18:40～19:00 (P-130～P-133) 座長: 村上信行
19:00							
19:30	会員懇親会 19:30～21:00 (オークラアクトシティホテル浜松 平安)						
21:00							

	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場
	アクトシティ浜松				オークラアクトシティホテル浜松	
	中ホール	4F 41 会議室	4F 43 会議室	5F 52+53+54 会議室	3F チェルシーⅠ	3F チェルシーⅡ
8:00					今からでも きいてみよう 1 8:00～9:00 小児神経診療における 発達検査の選び方と その解釈 講演：関あゆみ 座長：稲垣真澄	今からでも きいてみよう 2 8:00～9:00 タンデムマスと GC/MS の実際と、結果の解釈： 症例を中心に 講演：長谷川有紀 座長：酒井規夫
9:00		シンポジウム 4 9:00～11:00 発達障害はいつ形成 されるか？先天性？ 後天性？あるいは両 方か～発症および病態 修飾のメカニズム について～ 座長：久保田健夫 福岡秀興	神経・筋疾患 3 9:00～10:00 (O-144～O-149) 座長：小牧宏文 沢石由記夫	てんかん・けいれん 6 9:00～10:00 (O-168～O-173) 座長：山本 仁 高野知行	教育講演 5 9:00～10:00 重症心身障害児(者)医 療の魅力(地域で重度の 障害児を支える) 講演：三浦清邦 座長：杉本健郎	急性脳炎・脳症 4 9:00～10:00 (O-197～O-202) 座長：今高城治 大府正治
10:00	シンポジウム 3 9:00～11:00 脳炎後てんかんの 病態・治療を探る 座長：高橋幸利 小林勝弘		神経・筋疾患 4 10:00～11:00 (O-150～O-155) 座長：藤井達哉 竹島泰弘	てんかん・けいれん 7 10:00～11:00 (O-174～O-179) 座長：榎日出夫 久保田雅也	教育講演 6 10:00～11:00 次世代シークエンサー による筋疾患 遺伝子解析 講演：西野一三 座長：松石豊次郎	急性脳炎・脳症 5 10:00～11:00 (O-203～O-207) 座長：藤井克則 中川栄二
11:00	招待講演 2 (瀬川プログラム) 11:00～12:00 Tourette Syndrome : Update 講演：Mark Hallett 座長：林 雅晴			てんかん・けいれん 8 11:00～12:00 (O-180～O-185) 座長：木村一恵 加賀佳美		急性脳炎・脳症 6 11:00～12:00 (O-208～O-213) 座長：玉井 浩 長村敏生
12:00	共催セミナー 7 12:15～13:15 注意欠陥多動性障害 (ADHD)の脳機能学的検討 一機能的近赤外分光法 (fNIRS)を用いた ADHD 治療薬の効果一 講演：門田行史 座長：飯田順三	共催セミナー 8 12:15～13:15 治療可能なライソゾーム 病の診断ポイント 1)「ゴーシェ病」 2)「ムコ多糖症」 講演：成田 綾 小須賀基通 座長：福田冬季子	共催セミナー 9 12:15～13:15 小児てんかん診療に おける最近の変化と 変わらぬ課題 講演：浜野晋一郎 座長：高橋幸利	共催セミナー 10 12:15～13:15 重度筋緊張亢進患者に おけるバクロフェン 髄腔内投与療法の実際 講演：玉崎章子 座長：山形崇倫	共催セミナー 11 12:15～13:15 小児難治性てんかん の治療戦略 講演：今井克美 座長：山本 仁	共催セミナー 12 12:15～13:15 小児てんかんの 治療指針 講演：吉永治美 座長：大澤真木子
13:00	会員総会 13:20～14:05					
14:00	優秀論文賞授賞式・ミニ講演 14:05～14:35 座長：川井 充 2014 JSCN Award for Asia- Oceania Young Investigator 14:35～14:45 座長：藤井克則 The 2014 JSCN International Educational Fellowship 14:45～14:55 座長：藤井克則					
15:00	シンポジウム 5 15:00～17:00 見逃してはならない治 療法のある、あるいは 今後期待できる小児神 経疾患：診断と治療の 最前線 座長：下澤伸行 福田冬季子	ワークショップ 15:00～17:00 熱性けいれん 診療ガイドライン 策定：委員会案と パブリックコメント 座長：夏目 淳 浜野晋一郎	脳性まひ・ 重症心身障害 3 15:00～16:00 (O-156～O-161) 座長：根津敦夫 三浦清邦	学習障害・行動異常・ 虐待 15:00～16:00 (O-186～O-191) 座長：小野次朗 杉江陽子	スペシャルボックス 1 15:00～16:00 海外への研究留学： 経験談を聞こう 座長：福水道郎 加藤光広	企画セミナー 1 15:00～16:00 ミトコンドリア病： A reappraisal 座長：古賀靖敏 後藤雄一
16:00			脳性まひ・ 重症心身障害 4 16:00～17:00 (O-162～O-167) 座長：東條 恵 萩野谷和裕	自閉症スペクトラム 障害 2 16:00～17:00 (O-192～O-196) 座長：小枝達也 宮島 祐	スペシャルボックス 2 16:05～17:05 小児神経における研究 の進め方 座長：後藤雄一 齋藤伸治	企画セミナー 2 16:05～17:05 小児期の movement disorder：A reappraisal 座長：熊田聡子 宇川義一
17:00						
18:00					特別教育講演 17:50～18:50 Sequence of Synaptogenesis in Developing Human Brain 講演：Harvey B. Sarnat 座長：高嶋幸男	
19:00						
20:00		薬事委員会主催 セミナー 19:00～21:00 てんかん発作静注治療 薬と自己免疫性てん かんに対するタクロ リムスをめぐって 座長：小国弘量 林 雅晴	産科医療補償制度検討 委員会主催セミナー 19:00～21:00 産科医療補償制度の 診断書の書き方 座長：須貝研司 杉田克生	社会活動委員会主催 セミナー 19:00～21:00 医療的ケアの必要な 重症児者への支援 座長：杉本健郎	第 8 回 子どもの眠り研究会 19:00～20:00	共催セミナー 13 19:00～20:00 免疫能に配慮した重症 心身障害児(者)の 経腸栄養管理 講演：田中芳明 座長：小沢 浩
21:00						

	第 10 会場 オークラアクト シティホテル浜松	第 13 会場 アクトシティ浜松
	3F メイフェア	2F 22+23 会議室
8:00	共同研究支援委員会 主催セミナー 8:00～10:00 第 1 部：申請課題発表 「日本小児神経学会が 支援する共同研究」 第 2 部：エキスパート に聞く「てんかん重積 症への対応」 座長：佐々木征行 吉良龍太郎 杉江秀夫	
9:00		
10:00	発達 1 10:00～11:00 (O-214～O-218) 座長：平澤恭子 原 仁	
11:00	発達 2 11:00～12:00 (O-219～O-224) 座長：神山 潤 杉田克生	
12:00		
13:00		
14:00		
15:00	電気生理 15:00～16:00 (O-225～O-230) 座長：金村英秋 長澤哲郎	
16:00		
17:00		東日本大震災支援 委員会主催セミナー 17:00～19:00 被災地における発達 課題をもつ子ども たち～気仙沼市での 取り組みから～ 座長：永井利三郎 田中総一郎
18:00		
19:00	医療安全委員会主催 セミナー 19:00～20:30 「MRI 検査時の鎮静に 関する共同提言」を 理解する 座長：山内秀雄 坂本博昭	
20:00		
21:00		

	ポスター会場 アクトシティ浜松 大ホールホワイエ + 3F 31 会議室							
9:00	ポスター展示							
17:00	新生児 1 17:00～17:25 (P-134～P-138) 座長：前田知己	自閉症スペクトラム障害 1 17:00～17:20 (P-150～P-153) 座長：宮本 健	脳性まひ 1 17:00～17:25 (P-166～P-170) 座長：村山恵子	てんかん・けいれん 6 17:00～17:25 (P-181～P-185) 座長：小川 厚	てんかん・けいれん 10 17:00～17:25 (P-201～P-205) 座長：荒木 敦	筋 3 17:00～17:20 (P-219～P-222) 座長：石垣景子	脳炎・脳症 4 17:00～17:25 (P-233～P-237) 座長：三山佐保子	脳外科領域 17:00～17:25 (P-252～P-256) 座長：藤本礼尚
18:00	新生児 2 17:25～17:50 (P-139～P-143) 座長：前田卿子	自閉症スペクトラム障害 2 17:20～17:40 (P-154～P-157) 座長：伊住浩史	脳性まひ 2 17:25～17:50 (P-171～P-175) 座長：米山 明	てんかん・けいれん 7 17:25～17:50 (P-186～P-190) 座長：岡西 徹	遺伝 1 17:25～17:45 (P-206～P-209) 座長：加藤善一郎	筋 4 17:20～17:45 (P-223～P-227) 座長：栗屋智就	脳炎・脳症 5 17:25～17:45 (P-238～P-241) 座長：宮本雄策	血管障害 17:25～17:50 (P-257～P-261) 座長：木部哲也
19:00	発達・病態 17:50～18:20 (P-144～P-149) 座長：中井昭夫	自閉症スペクトラム障害 3 17:40～18:00 (P-158～P-161) 座長：瀬島 斉	脳性まひ 3 17:50～18:15 (P-176～P-180) 座長：曾根 翠	てんかん・けいれん 8 17:50～18:15 (P-191～P-195) 座長：今井克美	遺伝 2 17:45～18:05 (P-210～P-213) 座長：中野和俊	筋 5 17:45～18:10 (P-228～P-232) 座長：斎藤利雄	感染・免疫 1 17:45～18:10 (P-242～P-246) 座長：稲葉雄二	腫瘍 17:50～18:25 (P-262～P-268) 座長：村松一洋
20:00				てんかん・けいれん 9 18:15～18:40 (P-196～P-200) 座長：福興なおみ	自律神経・頭痛 18:05～18:30 (P-214～P-218) 座長：安藤直樹		感染・免疫 2 18:10～18:35 (P-247～P-251) 座長：山中 岳	
21:00	ポスター撤去							

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場	第 11 会場	第 12 会場
	アクティシティ浜松						
	大ホール	中ホール	4F 41 会議室	4F 43 会議室	5F 52+53+54 会議室	3F 31 会議室	4F 44 会議室
7:00						朝から頑張る 症例検討会 7:00～9:00 あなたの診断が 患者さんの未来を かえる 座長：藤井克則 小坂 仁	
8:00				今からでも きいてみよう 3 8:00～9:00 小児の頭痛： 慢性頭痛の診療 ガイドライン 2013 講演：安藤直樹 座長：栗原まな	第 6 回小児免疫性 脳炎研究会 7:30～9:00		
9:00	長期計画委員会 主催セミナー 9:00～11:30 日本小児神経学会 が進むべき方向： 現在の課題と、こ れからの 10 年を 見据えて 座長：大野耕策 松石豊次郎	教育講演 7 9:00～10:00 小児神経科医が知っ ておくべき臨床研究 のデザインとデータ 処理 講演：川村 孝 座長：新島新一	教育講演 8 9:00～10:00 小児神経科医が知っ ておくべき遺伝学的 検査の現状と倫理社 会的諸問題 講演：山本俊至 座長：伏木信次	神経・筋疾患 5 9:00～10:00 (O-231～O-236) 座長：石川悠加 小篠史郎	てんかん・ けいれん 9 9:00～10:00 (O-248～O-253) 座長：森本昌史 鈴木保宏	注意欠如・ 多動性障害 9:00～10:00 (O-266～O-271) 座長：山下裕史朗 林 隆	不随意運動・基底核 9:00～10:00 (O-272～O-277) 座長：熊田聡子 新宅治夫
10:00		ディベート シンポジウム 10:00～12:00 小児急性脳症の脳 機能レスキュー治 療：脳低温療法を 考える 座長：水口 雅 山内秀雄	テーマ企画 シンポジウム 2 10:00～12:00 静岡県から てんかん医療を 考える 座長：久保田英幹 鶴井 聡	感染・免疫 2 10:00～11:00 (O-237～O-242) 座長：塩見正司 川脇 寿	てんかん・ けいれん 10 10:00～11:00 (O-254～O-259) 座長：花井敏男 田川哲三	シンポジウム 6 10:00～12:00 変貌する自閉症 スペクトラム障害 の医療：病態に 立脚した診断から 治療へ 座長：齋藤伸治 山形崇倫	形態・頭痛・ 脳外科領域 10:00～11:00 (O-278～O-282) 座長：伊東恭子 岩崎信明
11:00				感染・免疫・ 神経変性疾患 11:00～12:00 (O-243～O-247) 座長：山下純正 田角 勝	代謝性疾患 3 11:00～12:00 (O-260～O-265) 座長：伊藤哲哉 井田博幸		発達障害の療育・ 支援 11:00～12:00 (O-283～O-288) 座長：小沢 浩 石崎朝世
12:00		閉会挨拶 12:00～12:10					
13:00							
14:00		市民公開講座 13:00～16:00 支援が必要な子ど もたちへの対応を 考える—医療、教 育、社会に求めら れること 座長：平野浩一 小沢 浩		小児重症筋無力症 研究会 13:00～17:00			
15:00							
16:00							
17:00							



特別演題日程

S29 ~ S39

プログラム

S40 ~ S103

会長講演

- 5 月 29 日 (木) 8:40~9:10 第 2 会場
座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
グリコーゲン代謝—筋肉から脳へ
杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

基調講演

- 5 月 29 日 (木) 12:45~13:15 第 2 会場
座長 大野耕策 (山陰労災病院)
筋肉病学 わたしと患者をつなぐもの
埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

特別講演

- 5 月 29 日 (木) 13:15~14:15 第 2 会場
座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
インプリンティング疾患発症機序について
緒方 勤 (浜松医科大学小児科)

招待講演 1

- 5 月 29 日 (木) 14:15~15:15 第 2 会場
座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
How should we diagnose metabolic myopathy ?
John Vissing (Neuromuscular Research Unit, Department of Neurology, Rigshospitalet, University of Copenhagen, Denmark)

招待講演 2 (瀬川プログラム)

- 5 月 30 日 (金) 11:00~12:00 第 2 会場
座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)
Tourette Syndrome : Update
Mark Hallett (Human Motor Control Section, National Institute of Neurological Disorders and Stroke, Bethesda, USA)

特別教育講演

- 5 月 30 日 (金) 17:50~18:50 第 6 会場
座長 高嶋幸男 (柳川療育センター, 国際医療福祉大学大学院)
Sequence of Synaptogenesis in Developing Human Brain
Harvey B. Sarnat^{1,2,3}, Laura Flores-Sarnat^{1,3}
(Department of Paediatrics, University of Calgary and Alberta Children's Hospital, Calgary, Alberta, Canada¹
Pathology (Neuropathology), University of Calgary and Alberta Children's Hospital, Calgary, Alberta, Canada²
Clin. Neurosciences, University of Calgary and Alberta Children's Hospital, Calgary, Alberta, Canada³)

日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演

- 5 月 30 日 (金) 14:05~14:35 第 2 会場
座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)

教育講演 1

- 5 月 29 日 (木) 10:25~11:25 第 3 会場
座長 永井利三郎 (大阪大学大学院医学系研究科)
DSM-4 から DSM-5 へ: 解説と問題点
松本英夫 (東海大学医学部専門診療学系精神科学)

教育講演 2

- 5 月 29 日 (木) 10:25~11:25 第 6 会場
座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
ペルオキシソーム病のアップデート~基礎と臨床の融合
下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)

教育講演 3

- 5 月 29 日 (木) 15:25~16:25 第 6 会場
座長 岡 明 (東京大学医学部小児科)
福山型筋ジストロフィーの病態基盤と新たな治療法の開発
戸田達史 (神戸大学大学院医学研究科神経内科/分子脳科学)

教育講演 4

- 5 月 29 日 (木) 16:25~17:25 第 6 会場
 座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 脳形成異常の分子病態と臨床
 加藤光広 (山形大学医学部小児科)

教育講演 5

- 5 月 30 日 (金) 9:00~10:00 第 6 会場
 座長 杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)
 重症心身障害児 (者) 医療の魅力 (地域で重度の障害児を支える)
 三浦清邦 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座)

教育講演 6

- 5 月 30 日 (金) 10:00~11:00 第 6 会場
 座長 松石豊次郎 (久留米大学医学部小児科)
 次世代シーケンサーによる筋疾患遺伝子解析
 西野一三 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部)

教育講演 7

- 5 月 31 日 (土) 9:00~10:00 第 2 会場
 座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)
 小児神経科医が知っておくべき臨床研究のデザインとデータ処理
 川村 孝 (京都大学健康科学センター)

教育講演 8

- 5 月 31 日 (土) 9:00~10:00 第 3 会場
 座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
 小児神経科医が知っておくべき遺伝学的検査の現状と倫理社会的諸問題
 山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)

シンポジウム 1: iPS 細胞を用いた小児神経疾患の病態解明とその問題点

- 5 月 29 日 (木) 9:20~11:20 第 2 会場
 座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)
 岡野栄之 (慶應義塾大学医学部生理学)
 1) iPS 細胞を用いた小児神経疾患の病態解析
 岡野栄之 (慶應義塾大学医学部生理学)
 2) てんかんの病態研究とその問題点
 日暮憲道 (東京慈恵会医科大学小児科, 福岡大学てんかん分子病態研究所)
 3) 筋ジストロフィーの病態解明とその問題点
 張 璽 (台北医学大学, 京都大学小児科)
 4) 白質ジストロフィーの病態研究と問題点
 沼澤佑子 (慶應義塾大学医学部小児科)
 5) 自閉症疾患 (Rett 症候群) の病態解明とその問題点
 久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)

シンポジウム 2: 発達性読み書き障害 (Dyslexia) 診断と治療の進歩: 医療からのアプローチ

- 5 月 29 日 (木) 15:25~17:25 第 2 会場
 座長 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部)
 1) 先人の歩みから
 加我牧子 (東京都立東部療育センター小児科)
 2) 臨床診断の実際
 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
 3) 脳機能における特徴
 北 洋輔 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部,
 日本学術振興会特別研究員)
 4) 治療介入法の考え方
 関あゆみ (鳥取大学地域学部地域教育学科)

5) 取り巻く問題点 (併存症・二次障害)

林 隆¹, 山下稔哉^{1,2}, 木戸久美子^{1,3}

(医療法人テレサ会西川医院発達診療部発達障害研究センター¹, 家庭学習支援オフィス NOW², シェフィールドハラム大学³)

6) 今後の研究と診療の展望

小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部)

シンポジウム 3: 脳炎後てんかんの病態・治療を探る

5月30日(金) 9:00~11:00 第2会場

座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

小林勝弘 (岡山大学大学院発達神経病態学 (岡山大学病院小児神経科))

1) 免疫病態

高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 平松宏美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

2) 脳炎・脳炎後てんかんの脳波および画像を含む臨床経過

井上拓志 (岡山大学病院小児神経科)

3) 急性脳炎・脳症後てんかんの抗てんかん薬治療

浜野晋一郎¹, 菊池健二郎^{1,2} (埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²)

4) 脳炎脳症後てんかんの慢性期におけるステロイドパルス治療の経験

山口解冬, 高橋幸利, 吉富晋作, 池田浩子 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

5) 脳炎・脳症後のてんかんの外科治療

須貝研司¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 高橋章夫², 大槻泰介²

(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科²)

シンポジウム 4: 発達障害はいつ形成されるか? 先天性? 後天性? あるいは両方か

～発症および病態修飾のメカニズムについて～

5月30日(金) 9:00~11:00 第3会場

座長 久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)

福岡秀興 (早稲田大学総合研究機構研究院)

1) 発達障害にかかわる要因について: オーバービュー

久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)

2) 発達障害における遺伝性要因 (先天的素因) について

神保恵理子¹, 桃井真里子² (自治医科大学医学部小児科¹, 国際医療福祉大学²)

3) 環境要因の影響について

鷺見 聡 (名古屋市西部地域療育センター小児科)

4) 環境と遺伝の相互作用

杉江陽子 (浜松医科大学小児科, 葵町こどもクリニック)

5) 胎生期・新生児期の環境の及ぼす精神疾患及び発達障害の素因形成

福岡秀興 (早稲田大学総合研究機構研究院)

シンポジウム 5: 見逃してはならない治療法のある, あるいは今後期待できる小児神経疾患: 診断と治療の最前線

5月30日(金) 15:00~17:00 第2会場

座長 下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)

福田冬季子 (浜松医科大学小児科)

1) 結節性硬化症の中核神経症状と治療

水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)

2) 脆弱 X 症候群の診断と治療: update とレビュー

難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター, 鳥取大学医学部次世代高度医療推進センター)

3) 副腎白質ジストロフィー

下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)

4) Pompe 病の治療と autophagy

福田冬季子 (浜松医科大学小児科)

シンポジウム 6: 変貌する自閉症スペクトラム障害の医療: 病態に立脚した診断から治療へ

5月31日(土) 10:00~12:00 第11会場

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

山形崇倫 (自治医科大学小児科学)

1) ゲノムコピー数異常が自閉症スペクトラム障害の原因となる

山本俊至, 下島圭子 (東京女子医科大学統合医科学研究所)

- 2) 次世代シーケンサーを用いた自閉症スペクトラム障害に対する遺伝子解析のインパクト
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
- 3) 自閉症スペクトラム障害の評価：統一した評価法の必要性
山形崇倫, 門田行史 (自治医科大学小児科学)
- 4) 自閉症スペクトラム障害の薬物療法：科学的な薬物療法の提言
中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 5) 自閉症スペクトラム障害の病態関連遺伝子の機能解析
永田浩一¹, 浜田奈々子¹, 松本 歩², 山形崇倫²
(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部¹, 自治医科大学小児科学²)

テーマ企画シンポジウム 1：小児科分野別における小児神経科医に関連するトピックス

5月29日(木) 15:25~17:40 第3会場

座長 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

山口清次 (島根大学医学部小児科)

- 1) 小児内分泌分野：Allan-Herndon-Dudley 症候群の臨床症状と病態生理
難波範行 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)
- 2) 先天代謝異常分野：脂肪酸・ケトン体代謝と脳症
深尾敏幸, 堀 友博, 折居建治 (岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学)
- 3) 未熟児・新生児分野：極低出生体重 (VLBW) 児にみられる発達障害
平澤恭子 (東京女子医科大学小児科)
- 4) 小児血液分野：Childhood Cancer Survivors における中枢神経合併症とその基礎病態
末延聡一^{1,2}, 岡本知子^{1,2}, 清田晃生¹, 秋吉健介¹, 泉 達郎¹
(大分大学医学部小児科神経小児科¹, 大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業²)
- 5) 予防接種：HPV ワクチン後長期間体調不良について
佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

テーマ企画シンポジウム 2：静岡県からてんかん医療を考える

5月31日(土) 10:00~12:00 第3会場

座長 久保田英幹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

鶴井 聡 (聖隷沼津病院小児科)

- 1) てんかん患者のキャリアオーバー問題 こども病院の立場から
渡邊誠司, 奥村良法, 愛波秀男 (静岡県立こども病院神経科)
- 2) 静岡県におけるてんかんのキャリアオーバーについて一地域総合病院の立場から一
鶴井 聡 (聖隷沼津病院小児科)
- 3) 患者学習プログラム MOSES
西田拓司 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター精神科)
- 4) 社会啓発から見えてくるもの
榎日出夫, 山本貴道 (聖隷浜松病院てんかんセンター)
- 5) てんかん診療の地域連携の試み
久保田英幹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

ディベートシンポジウム：小児急性脳症の脳機能レスキュー治療：脳低温療法を考える

5月31日(土) 10:00~12:00 第2会場

座長 水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医学)

山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)

- 1) 新生児低酸素性虚血性脳症に対する脳低温療法の効果
茨 聡 (鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児科)
- 2) 前進か？ 後退か？ BabyCooling Japan 症例登録制度と関連啓発事業の集積による世界標準回帰への道のり
岩田欧介^{1,2}, 武内俊樹³, 岩田幸子¹, 鍋谷まこと⁴, 向井丈雄⁴, 柴崎 淳⁵, 津田兼之介¹, 徳久琢也⁶, 側島久典⁷, 田村正徳⁷
(久留米大学小児科学高次脳疾患研究所¹, 聖マリア病院小児科², 慶應義塾大学小児科³, 淀川キリスト教病院小児科⁴, 神奈川小児医療センター新生児科⁵, 鹿児島市立病院新生児科⁶, 埼玉医科大学総合医療センター小児科⁷)
- 3) ガイドラインに沿った新生児虚血性低酸素性脳症の脳低温療法
清水正樹 (埼玉県立小児医療センター)
- 4) 小児急性脳症に対する軽度脳低温療法プロトコルの展望と問題点
今高城治 (獨協医科大学医学部小児科)
- 5) 低体温療法に関する今後の課題と展望
後藤知英 (神奈川県立こども医療センター神経内科, 東京都立小児総合医療センター神経内科)

企画セミナー 1：ミトコンドリア病：A reappraisal

5 月 30 日（金）15:00～16:00 第 7 会場

座長 古賀靖敏（久留米大学医学部小児科）

後藤雄一（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部）

1) ミトコンドリア病治療研究の現況

古賀靖敏（久留米大学医学部小児科）

2) ミトコンドリア病に関わる基礎研究の進展

後藤雄一（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部）

企画セミナー 2：小児期の movement disorder：A reappraisal

5 月 30 日（金）16:05～17:05 第 7 会場

座長 熊田聡子（東京都立神経病院神経小児科）

宇川義一（福島県立医科大学医学部神経内科学講座）

1) 小児のジストニアに関する最近のトピックス

熊田聡子（東京都立神経病院神経小児科）

2) 不随意運動の見方、考え方

宇川義一（福島県立医科大学医学部神経内科学講座）

朝から頑張る症例検討会：あなたの診断が患者さんの未来をかえる

5 月 31 日（土）7:00～9:00 第 11 会場

座長 藤井克則（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

小坂 仁（自治医科大学小児科学）

1) 乳児期発症の最重度発達遅滞と難治なてんかん発作を示す女性例

秋山倫之（岡山大学病院小児神経科）

2) 歩行障害で発症し、視神経病変を認めた 6 歳女児例

平出拓也，石垣英俊，朝比奈美輝，松林朋子，福田冬季子（浜松医科大学小児科）

3) 左跛行から左下肢筋萎縮を呈した 3 歳女児例

内田智子（千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科）

4) 足・腰のしびれ・痛みを生じた 14 歳女児

露崎 悠^{1,2}，麻生誠二郎²

（神奈川県立こども医療センター神経内科¹，日本赤十字社医療センター小児科²）

今からでもきいてみよう 1

5 月 30 日（金）8:00～9:00 第 6 会場

座長 稲垣真澄（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部）

小児神経診療における発達検査の選び方とその解釈

関あゆみ（鳥取大学地域学部地域教育学科）

今からでもきいてみよう 2

5 月 30 日（金）8:00～9:00 第 7 会場

座長 酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科小児科学）

タンデムマスと GC/MS の実際と，結果の解釈：症例を中心に

長谷川有紀（島根大学医学部小児科）

今からでもきいてみよう 3

5 月 31 日（土）8:00～9:00 第 4 会場

座長 栗原まな（神奈川県総合リハビリテーション病院）

小児の頭痛：慢性頭痛の診療ガイドライン 2013

安藤直樹（名古屋市立大学医学部小児科）

スペシャルボックス 1：海外への研究留学：経験談を聞こう

5 月 30 日（金）15:00～16:00 第 6 会場

座長 福水道郎（東京都立府中療育センター）

加藤光広（山形大学医学部小児科）

1) 人生一度は島国日本を飛び出してみよう！～欧州編～

村松一洋（群馬大学大学院医学系研究科小児科）

2) 英国・米国見聞記

高橋和俊（おしま地域療育センター）

3) 米国での海外留学体験

城所博之（名古屋大学医学部小児科）

スペシャルボックス 2：小児神経における研究の進め方

5月30日（金）16:05～17:05 第6会場

座長 後藤雄一（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部）

齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）

- 1) 研究と研究費の微妙な関係：研究費があれば研究ができるのか？
齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）
- 2) 研究立案の基本と研究申請のコツ
後藤雄一（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部）
- 3) 小児神経領域における研究倫理
伊吹友秀（国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター）
- 4) Free discussion（なんでも聞こう）

ワークショップ：熱性けいれん診療ガイドライン策定：委員会案とパブリックコメント

5月30日（金）15:00～17:00 第3会場

座長 夏目 淳（名古屋大学医学部小児科）

浜野晋一郎（埼玉県立小児医療センター神経科）

- 1) 熱性けいれん診療ガイドライン策定：委員会案とパブリックコメント
杉江秀夫（自治医科大学小児科）
- 2) 診療ガイドラインの作成方法 エビデンスレベルからエビデンス総体の過渡期の対応
小島原典子（東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二）
- 3) 熱性けいれん診療ガイドライン策定について
夏目 淳（名古屋大学医学部小児科）
- 4) クリニカルエクステンション「初期対応」
田邊卓也（医療法人あゆみ会田辺こどもクリニック）
- 5) クリニカルエクステンション「熱性けいれん重積への対応、脳波検査」
夏目 淳（名古屋大学医学部小児科）
- 6) クリニカルエクステンション「ジアゼパム予防投与、抗てんかん薬、解熱剤、注意すべき薬剤」
久保田雅也¹、金村英秋²、三牧正和³
（国立成育医療研究センター神経内科¹、山梨大学小児科²、東京大学小児科³）
- 7) クリニカルエクステンション「予防接種」
伊予田邦昭（福山市こども発達支援センター）

共同研究支援委員会主催セミナー

第1部：申請課題発表「日本小児神経学会が支援する共同研究」

5月30日（金）8:00～10:00 第10会場

座長 佐々木征行（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

杉江秀夫（自治医科大学小児科）

- 1) 先天性 GPI 欠損症患者に関する調査研究
高橋幸利¹、村上良子²、木下タロウ²、九鬼一郎³
（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹、大阪大学微生物病研究所²、大阪市内立総合医療センター³）
- 2) ミトコンドリア脳筋症 MELAS の脳卒中発作に対するタウリン療法の開発
後藤雄一^{1,2,3}、砂田芳秀⁴、太田成男⁵
（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部¹、国立精神・神経医療研究センター病院²、国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター³、川崎医科大学神経内科⁴、日本医科大学細胞生物学⁵）
- 3) 発達障害児における少量 L-ドパ療法（LDT）の有効性に関する後方視的研究
星野恭子¹、安原博昭^{2,3}、石崎朝世^{2,4}、木村一恵^{2,5}、久保田雅也^{2,6}、根津敦夫^{2,7}、林 雅晴^{2,8}
（国立病院機構南和歌山医療センター小児科¹、少量 L-ドパ療法研究会²、安原こどもクリニック³、公益社団法人発達協会王子クリニック⁴、瀬川小児神経学クリニック⁵、成育医療センター⁶、横浜療育医療センター⁷、東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト・リーダー⁸）

第2部：エキスパートに聞く「てんかん重積症への対応」

座長 吉良龍太郎（福岡市立こども病院・感染症センター小児神経科）

杉江秀夫（自治医科大学小児科）

- 1) けいれん重積状態のマネージメントー救急診療科の立場からー
辻 聡¹、久保田雅也²、柏井洋文²
（国立成育医療研究センター救急診療科¹、国立成育医療研究センター神経内科²）
- 2) 成人神経科におけるてんかん重積治療の実際
重藤寛史（九州大学大学院医学研究院神経内科学）
- 3) てんかん重積状態の治療：フェノバルビタール、ホスフェニトイン注射液の登場でどのように変わったか？
須貝研司（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

東日本大震災支援委員会主催セミナー：被災地における発達課題をもつ子どもたち～気仙沼市での取り組みから～

5月30日（金）17:00～19:00 第13会場

座長 永井利三郎（大阪大学医学系研究科保健学専攻）

田中総一郎（東北大学大学院医学研究科発生・発達医学講座小児病態学分野）

- 1) 気仙沼市における支援活動の報告
永井利三郎（大阪大学医学系研究科保健学専攻）
- 2) 教育現場の課題をもつ子どもたちへの地域支援
佐藤牧子（宮城県立気仙沼支援学校）
- 3) 発達課題を持つ子どもを地域で支えるネットワーク
鈴木由佳理（気仙沼市本吉総合支所保健福祉課）
- 4) 被災地における養育者との関わりから
古川恵美（畿央大学教育学部）
- 5) 支援活動から得られた防災対策
田中総一郎（東北大学大学院小児科）

薬事委員会主催セミナー：てんかん発作静注治療薬と自己免疫性てんかんに対するタクロリムスをめぐって

5月30日（金）19:00～21:00 第3会場

座長 小国弘量（東京女子医科大学小児科）

林 雅晴（東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野）

- 1) てんかん重積症に対する早期介入治療薬剤の検討
林 北見（東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科）
- 2) Rasmussen 症候群に対するタクロリムスの有効性
高橋幸利¹，小国弘量²，富永康仁³，近土善行⁴
（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹，東京女子医科大学小児科²，大阪大学医学部小児科³，
国立精神・神経医療研究センター病院神経内科⁴）
- 3) レベチラセタム点滴静注用注射剤について
田中 岳，笠茂公弘
（ユーシービージャパン株式会社メディカルアフェアーズ本部 CNS メディカルサイエンス部）
- 4) 抗てんかん薬の承認審査の現状について
中村治雅（医薬品医療機器総合機構新薬審査第3部）

産科医療補償制度検討委員会主催セミナー：産科医療補償制度の診断書の書き方

5月30日（金）19:00～21:00 第4会場

座長 須貝研司（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

杉田克生（千葉大学教育学部基礎医科学）

- 1) 補償申請の現況，診断書を作成しやすくするための取り組み，および制度見直しの動向
上田 茂（公益財団法人日本医療機能評価機構）
- 2) 産科医療補償制度 当院での経験症例について
内田智子（千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科）
- 3) 初めて診断書を作成した診断医の経験と問題点
遠藤雄策（浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科）
- 4) 審査委員から見た，産科医療補償制度診断書記載のポイント
北住映二（心身障害児総合医療療育センター小児科）
- 5) 診断書作成時の問題症例・迷う項目の検討
産科医療補償制度検討委員会

社会活動委員会主催セミナー：医療的ケアの必要な重症児者への支援

5月30日（金）19:00～21:00 第5会場

座長 杉本健郎（すぎもとポーン・クリニック）

- 1) 医療的ケア児者のマッピング調査結果
杉本健郎（すぎもとポーン・クリニック）
- 2) 診療所での重症児者支援：医療型特定短期入所制度
小林拓也（能見台こどもクリニック）
- 3) 障害児在宅医療をお届けする出前講座
田中総一郎（東北大学大学院小児科）

医療安全委員会主催セミナー：「MRI 検査時の鎮静に関する共同提言」を理解する

5 月 30 日（金）19:00～20:30 第 10 会場

座長 山内秀雄（埼玉医科大学医学部小児科）

坂本博昭（大阪市立総合医療センター小児脳神経外科）

1) 日本小児神経学会 ML での意見のまとめ

山内秀雄（埼玉医科大学医学部小児科）

2) 日本小児科学会医療安全 WG の立場から

勝盛 宏（河北総合病院小児科）

3) 小児麻酔科医の立場から：小児と小児科医にストレスの少ない安全な MRI の環境のために、麻酔科医ができることは何だろうか

大嶽浩司（昭和大学医学部麻酔科）

4) 小児放射線科医の立場から：小児 MRI 検査の背景と小児神経の得意な放射線科医をもっと育てるために私たちのできること

相田典子（神奈川県立こども医療センター放射線科）

5) 法律家の立場から

中下裕子（コスモス法律事務所、弁護士）

長期計画委員会主催セミナー：日本小児神経学会が進むべき方向：現在の課題と、これからの 10 年を見据えて

5 月 31 日（土）9:00～11:30 第 1 会場

座長 大野耕策（山陰労災病院）

松石豊次郎（久留米大学医学部小児科）

1) 重症児の今後の対応

神山 潤（公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ浦安市川医療センター）

2) 子どものこころの診療医の専門医制と、小児神経科専門医との関わり

杉田克生（千葉大学教育学部基礎医科学）

3) 心理士国家資格化の動向および小児神経医療と心理学の関わり方

作田亮一（獨協医科大学越谷病院小児科）

4) 小児リハビリにおける他科との連携

栗原まな（神奈川県立総合リハビリテーション病院小児科）

5) てんかん診療の動向と今後の展望

須貝研司（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）

6) Neurodevelopmental Disorders (NDD) に関する教育と医療の連携のこれから

小野次朗（和歌山大学教育学部特別支援教育学教室）

2014 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator

5 月 30 日（金）14:35～14:45 第 2 会場

座長 藤井克則（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

Treatment response of children with idiopathic epilepsy

Sudhir Adhikari（Department of Pediatrics, Manipal College of Medical Sciences, Pokhara, Nepal）

The 2014 JSCN International Educational Fellowship（2014 年日本小児神経学会国際教育助成）

5 月 30 日（金）14:45～14:55 第 2 会場

座長 藤井克則（千葉大学大学院医学研究院小児病態学）

Role of intravenous magnesium sulphate in moderate to severe perinatal asphyxia: a randomized, placebo controlled trial

Gazi Mohammad Imranul Haque（Bangladesh Institute of Child Health Dhaka Shishu（Children）Hospital, Dhaka, Bangladesh）

実践教育セミナー 1：先天奇形症候群：基礎から臨床まで～どのようにアプローチするのか～

5 月 28 日（水）11:45～14:45 第 3 会場

座長 久保田健夫（山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座）

黒澤健司（神奈川県立こども医療センター遺伝科）

パネラー 吉橋博史（東京都立小児総合医療センター臨床遺伝科）

黒田友紀子（神奈川県立こども医療センター遺伝科）

コメンテーター 水野誠司（愛知県心身障害者コロニー中央病院）

1) 先天奇形症候群の基礎知識—診断アプローチの実際—

黒澤健司（神奈川県立こども医療センター遺伝科）

2) 小児神経領域における臨床遺伝的な考え方

吉橋博史（東京都立小児総合医療センター臨床遺伝科）

3) 新たに見出された先天奇形症候群

岡本伸彦（大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科）

- 4) 先天奇形症候群の基礎知識 次世代シーケンサー時代の奇形症候群研究
黒田友紀子^{1,2}, 大橋育子¹, 黒澤健司¹
(神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 東京大学医学部小児科²)
- 5) 奇形症候群のおさらい〜クイズを始めるにあたって〜
黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)

実践教育セミナー 2: 新生児脳波・aEEG 判読セミナー

- 5月28日(水) 11:45~14:45 第11会場
座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
- 1) 正期産児の脳波・aEEG: 正常と異常
深沢達也 (安城更生病院小児科)
 - 2) 早産児の脳波・aEEG: 正常と異常
奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
 - 3) 新生児発作の脳波・aEEG
城所博之 (名古屋大学医学部附属病院小児科)

実践教育セミナー 3: 小児科医のための神経画像 2014

- 5月28日(水) 15:00~18:00 第3会場
座長 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 1) 脳の発達と画像診断: 胎児期を含めた中枢神経先天奇形の MRI
宇都宮英綱
(ももち浜福岡山王病院放射線診断科, 国際医療福祉大学大学院放射線情報科学分野医用画像学領域)
 - 2) 新生児脳の画像診断
相田典子 (神奈川県立こども医療センター放射線科)
 - 3) MS, ADEM, CIS, NMO の画像診断
森 壱 (東京大学大学院医学系研究科放射線科)
 - 4) How to read/interpret neuroimaging?
高梨潤一¹, 大場 洋² (亀田メディカルセンター小児科¹, 帝京大学医学部放射線科²)

実践教育セミナー 4: 遺伝学実践教育セミナー: 遺伝学的検査結果を解釈する

- 5月28日(水) 15:00~18:00 第13会場
講師 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
山形崇倫 (自治医科大学小児科学)
山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)
酒井康成 (九州大学病院小児科)
和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

実践教育セミナー 5: 明日から役立つ小児神経生理学入門 EP/ERP 記録実演

- 5月28日(水) 15:00~18:00 第5会場
座長 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
榎日出夫 (聖隷浜松病院小児神経科)
- 1) 脳波入門 デジタル脳波を見ながら所見をつけよう
榎日出夫 (聖隷浜松病院小児神経科)
 - 2) 脳磁図でわかること
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
 - 3) 誘発電位 (Evoked Potentials) 入門
荒木 敦 (関西医科大学小児科)
 - 4) 事象関連電位 (ERP) 入門
淵上達夫 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)
 - 5) 誘発/事象関連電位記録実演と脳波周波数解析
加賀佳美^{1,2}, 相原正男³
(国立病院機構甲府病院小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³)

共催セミナー 1: 共催 グラクソ・スミスクライン株式会社

- 5月29日(木) 11:35~12:35 第2会場
座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
- 包括的てんかん診療における小児神経科医の役割
榎日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)

共催セミナー 2：共催 Meiji Seika ファルマ株式会社

5 月 29 日（木）11:35～12:35 第 3 会場

座長 小国弘量（東京女子医科大学小児科）

1) Dravet syndrome in 2014

Charlotte Dravet（Marseille-France）

2) Treatments of patients with Dravet syndrome

Catherine Chiron（Infantile Epilepsies and Brain Plasticity, INSERM, University Paris Descartes, CEA, Service de Neurologie et Metabolisme, Hôpital Necker）

共催セミナー 3：共催 ファイザー株式会社

5 月 29 日（木）11:35～12:35 第 5 会場

座長 大澤真木子（東京女子医科大学小児科）

小児てんかんにおける抗てんかん薬の使い方—新規抗てんかん薬を中心に—
桑原健太郎（広島市民病院小児科）

共催セミナー 4：共催 ヤンセンファーマ株式会社

5 月 29 日（木）11:35～12:35 第 6 会場

座長 谷池雅子（大阪大学連合小児発達学研究科小児発達神経学領域）

エビデンスに基づく注意欠陥多動性障害（ADHD）の治療戦略—薬剤導入による脳機能変化—
友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）

共催セミナー 5：共催 大塚製薬株式会社

5 月 29 日（木）11:35～12:35 第 7 会場

座長 児玉浩子（帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科）

薬剤性の高アンモニア血症に対する L-カルニチン療法の実践
太田正康（JA とりで総合医療センター小児科）

共催セミナー 6：共催 アルフレッサファーマ株式会社／ノーベルファーマ株式会社

5 月 29 日（木）11:35～12:35 第 8 会場

座長 山内秀雄（埼玉医科大学病院小児科）

小児期のおてんかん重症に対する治療戦略と治療薬物モニタリングの有用性
岩崎俊之（北里大学医学部小児科）

共催セミナー 7：共催 日本イーライリリー株式会社

5 月 30 日（金）12:15～13:15 第 2 会場

座長 飯田順三（奈良県立医科大学医学部看護学科）

注意欠陥多動性障害（ADHD）の脳機能学的検討

一機能的近赤外分光法（fNIRS）を用いた ADHD 治療薬の効果—

門田行史^{1,2}, 壇一平太³, 山形崇倫¹（自治医科大学小児科¹, 自治医科大学とちぎ子ども医療センター², 中央大学理工学部人間総合理工学科³）

共催セミナー 8：共催 ジェンザイム・ジャパン株式会社

5 月 30 日（金）12:15～13:15 第 3 会場

座長 福田冬季子（浜松医科大学小児科）

1) 治療可能なライソゾーム病の診断ポイント「ゴーシェ病」

成田 綾（鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科）

2) 治療可能なライソゾーム病の診断ポイント「ムコ多糖症」

小須賀基通（国立成育医療研究センター臨床検査部ライソゾーム病センター）

共催セミナー 9：共催 協和発酵キリン株式会社

5 月 30 日（金）12:15～13:15 第 4 会場

座長 高橋幸利（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター）

小児てんかん診療における最近の変化と変わらぬ課題

浜野晋一郎（埼玉県立小児医療センター神経科）

共催セミナー 10：共催 第一三共株式会社

5 月 30 日（金）12:15～13:15 第 5 会場

座長 山形崇倫（自治医科大学小児科学）

重度筋緊張亢進患者におけるバクロフェン髄腔内投与療法の実践

玉崎章子（鳥取大学医学部脳神経小児科）

共催セミナー 11：共催 大塚製薬株式会社／ユーシービージャパン株式会社

5 月 30 日（金）12:15～13:15 第 6 会場
 座長 山本 仁（聖マリアンナ医科大学小児科学）
 小児難治性てんかんの治療戦略
 今井克美（国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター）

共催セミナー 12：共催 エーザイ株式会社

5 月 30 日（金）12:15～13:15 第 7 会場
 座長 大澤真木子（東京女子医科大学）
 小児てんかんの治療指針
 吉永治美（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学講座（小児神経科））

共催セミナー 13：共催 ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー

5 月 30 日（金）19:00～20:00 第 7 会場
 座長 小沢 浩（島田療育センターはちおうじ）
 免疫能に配慮した重症心身障害児（者）の経腸栄養管理
 田中芳明（久留米大学医学部附属病院医療安全管理部）

市民公開講座：支援が必要な子どもたちへの対応を考えるー医療，教育，社会に求められること

5 月 31 日（土）13:00～16:00 第 2 会場
 座長 平野浩一（浜松市発達医療総合福祉センター）
 小沢 浩（島田療育センターはちおうじ）

1. はじめに
 杉江秀夫（自治医科大学小児科）
2. 医療
 - 1) 開業医が行う子育て支援と地域生活支援の取り組み
 金原洋治（かねはら小児科）
 - 2) 小児在宅医療：訪問看護ステーションによる地域ネットワーク活動
 梶原厚子（医療法人財団はるたか会非営利法人あおぞらネット）
3. 教育
 - 1) 学校教育における医療的ケアを必要とする子どもたちへの対応とその課題
 下川和洋（特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所）
 - 2) 今、学校でできること～医療・福祉・教育連携～
 河部多香子（浜松市立尾奈小学校）
4. 福祉
 重症心身障害児（者）の親子の自立について
 小林不二也（社会福祉法人インクルふじ）
5. 当事者から
 地域における親の会の役割～支援が必要な子ども達の声を届ける
 大石辰夫（特定非営利活動法人浜松地区肢体不自由児親の会）
6. 浜松発達医療福祉センターにおける医療・福祉・教育連携
 浜松市発達医療総合福祉センターにおける取り組み～支援が必要な子どもたちを支える
 遠藤雄策（浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科）
7. 防災
 東南海トラフに備える：東日本大震災の障がい児者支援活動から学ぶ
 田中総一郎（東北大学大学院小児科）

第 6 回小児免疫性脳炎研究会

5 月 31 日（土）7:30～9:00 第 5 会場

小児重症筋無力症研究会

5 月 31 日（土）13:00～17:00 第 4 会場

第 8 回子どもの眠り研究会

5 月 30 日（金）19:00～20:00 第 6 会場

プレコンgres 第 3 会場〔アクトシティ浜松 4F〕

11:45~14:45 実践教育セミナー 1 (S194)

先天奇形症候群：基礎から臨床まで～どのようにアプローチするのか～

- 座長 久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)
 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)
 パネラー 吉橋博史 (東京都立小児総合医療センター臨床遺伝科)
 黒田友紀子 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)
 コメンテーター 水野誠司 (愛知県心身障害者コロニー中央病院)

- 1) 先天奇形症候群の基礎知識—診断アプローチの実際—
黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)
- 2) 小児神経領域における臨床遺伝的な考え方
吉橋博史 (東京都立小児総合医療センター臨床遺伝科)
- 3) 新たに見出された先天奇形症候群
岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科)
- 4) 先天奇形症候群の基礎知識 次世代シーケンサー時代の奇形症候群研究
黒田友紀子^{1,2}, 大橋育子¹, 黒澤健司¹
(神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 東京大学医学部小児科²)
- 5) 奇形症候群のおさらい～クイズを始めるにあたって～
黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター遺伝科)

15:00~18:00 実践教育セミナー 3 (S199)

小児科医のための神経画像 2014

- 座長 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
 大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)

- 1) 脳の発達と画像診断：胎児期を含めた中枢神経先天奇形の MRI
宇都宮英綱
(ももち浜岡山王病院放射線診断科, 国際医療福祉大学大学院放射線情報科学分野医用画像学領域)
- 2) 新生児脳の画像診断
相田典子 (神奈川県立こども医療センター放射線科)
- 3) MS, ADEM, CIS, NMO の画像診断
森 壘 (東京大学大学院医学系研究科放射線科)
- 4) How to read/interpret neuroimaging ?
高梨潤一¹, 大場 洋² (亀田メディカルセンター小児科¹, 帝京大学医学部放射線科²)

プレコンgres 第 5 会場〔アクトシティ浜松 5F〕

15:00~18:00 実践教育セミナー 5 (S202)

明日から役立つ小児神経生理学入門 EP/ERP 記録実演

- 座長 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
 榎日出夫 (聖隷浜松病院小児神経科)

- 1) 脳波入門 デジタル脳波を見ながら所見をつけよう
榎日出夫 (聖隷浜松病院小児神経科)
- 2) 脳磁図でわかること
久保田雅也 (国立成育医療研究センター神経内科)
- 3) 誘発電位 (Evoked Potentials) 入門
荒木 敦 (関西医科大学小児科)
- 4) 事象関連電位 (ERP) 入門
瀧上達夫 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)
- 5) 誘発/事象関連電位記録実演と脳波周波数解析
加賀佳美^{1,2}, 相原正男³
(国立病院機構甲府病院小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³)

プレコンGRES 第 11 会場〔アクティシティ浜松 3F〕

11:45～14:45 実践教育セミナー 2 (S197)

新生児脳波・aEEG 判読セミナー

座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)

- 1) 正期産児の脳波・aEEG：正常と異常
深沢達也 (安城更生病院小児科)
- 2) 早産児の脳波・aEEG：正常と異常
奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
- 3) 新生児発作の脳波・aEEG
城所博之 (名古屋大学医学部附属病院小児科)

プレコンGRES 第 13 会場〔アクティシティ浜松 2F〕

15:00～18:00 実践教育セミナー 4 (S201)

遺伝学実践教育セミナー：遺伝学的検査結果を解釈する

講師 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
山形崇倫 (自治医科大学小児科学)
山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)
酒井康成 (九州大学病院小児科)
和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)

第 1 日目 第 2 会場〔アクトシティ浜松 中ホール〕

- 8:30~8:40 開会式
- 8:40~9:10 会長講演 (S107)
 グリコーゲン代謝ー筋肉から脳へ
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 講演 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)
- 9:20~11:20 シンポジウム 1 (S121)
 iPS 細胞を用いた小児神経疾患の病態解明とその問題点
 座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)
 岡野栄之 (慶應義塾大学医学部生理学)
- 1) iPS 細胞を用いた小児神経疾患の病態解析
 岡野栄之 (慶應義塾大学医学部生理学)
 - 2) てんかんの病態研究とその問題点
 日暮憲道 (東京慈恵会医科大学小児科, 福岡大学てんかん分子病態研究所)
 - 3) 筋ジストロフィーの病態解明とその問題点
 張 璽 (台北医学大学, 京都大学小児科)
 - 4) 白質ジストロフィーの病態研究と問題点
 沼澤佑子 (慶應義塾大学医学部小児科)
 - 5) 自閉症疾患 (Rett 症候群) の病態解明とその問題点
 久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)
- 11:35~12:35 共催セミナー 1: 共催 グラクソ・スミスクライン株式会社 (S205)
 包括的てんかん診療における小児神経科医の役割
 座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 講演 榎日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター小児神経科)
- 12:45~13:15 基調講演 (S108)
 筋肉病学 わたしと患者をつなぐもの
 座長 大野耕策 (山陰労災病院)
 講演 埜中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 13:15~14:15 特別講演 (S109)
 インプリンティング疾患発症機序について
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
 講演 緒方 勤 (浜松医科大学小児科)
- 14:15~15:15 招待講演 1 (S110)
 How should we diagnose metabolic myopathy ?
 座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
 講演 John Vissing (Neuromuscular Research Unit, Department of Neurology, Rigshospitalet, University of Copenhagen, Denmark)
- 15:25~17:25 シンポジウム 2 (S125)
 発達性読み書き障害 (Dyslexia) 診断と治療の進歩: 医療からのアプローチ
 座長 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部)
- 1) 先人の歩みから
 加我牧子 (東京都立東部療育センター小児科)
 - 2) 臨床診断の実際
 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)

- 3) 脳機能における特徴
北 洋輔
(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部, 日本学術振興会特別研究員)
- 4) 治療介入法の考え方
関あゆみ (鳥取大学地域学部地域教育学科)
- 5) 取り巻く問題点 (併存症・二次障害)
林 隆¹, 山下稔哉^{1,2}, 木戸久美子^{1,3}
(医療法人テレサ会西川医院発達診療部発達障害研究センター¹, 家庭学習支援オフィス NOW², シェフィールドハラム大学³)
- 6) 今後の研究と診療の展望
小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部)

第 1 日目 第 3 会場 (アクティシティ浜松 4F)

10:25~11:25 教育講演 1 (S113)
DSM-4 から DSM-5 へ: 解説と問題点

座長 永井利三郎 (大阪大学大学院医学系研究科)
講演 松本英夫 (東海大学医学部専門診療学系精神科学)

11:35~12:35 共催セミナー 2: 共催 Meiji Seika ファルマ株式会社 (S205)
座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)

- 1) Dravet syndrome in 2014
Charlotte Dravet
(Marseille-France)
- 2) Treatments of patients with Dravet syndrome
Catherine Chiron
(Infantile Epilepsies and Brain Plasticity, INSERM, University Paris Descartes, CEA, Service de Neurologie et Metabolisme, Hôpital Necker)

15:25~17:40 テーマ企画シンポジウム 1: 小児科分野別における小児神経科医に関連するトピックス (S141)
座長 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)
山口清次 (島根大学医学部小児科)

- 1) 小児内分泌分野: Allan-Herndon-Dudley 症候群の臨床症状と病態生理
難波範行 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)
- 2) 先天代謝異常分野: 脂肪酸・ケトン体代謝と脳症
深尾敏幸, 堀 友博, 折居建治 (岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学)
- 3) 未熟児・新生児分野: 極低出生体重 (VLBW) 児にみられる発達障害
平澤恭子 (東京女子医科大学小児科)
- 4) 小児血液分野: Childhood Cancer Survivors における中枢神経合併症とその基礎病態
末延聡一^{1,2}, 岡本知子^{1,2}, 清田晃生¹, 秋吉健介¹, 泉 達郎¹
(大分大学医学部小児科神経小児科¹, 大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業²)
- 5) 予防接種: HPV ワクチン後長期間体調不良について
佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

第 1 日目 第 4 会場 (アクティシティ浜松 4F)

9:20~10:20 一般演題 (English Session) 1 (S223)
座長 Hirokazu Oguni (Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)

Masayuki Sasaki (The Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan)

E-001 The trajectories of General movements in infants with periventricular leukomalasia

○Tomoki Maeda, Kazuhito Sekiguchi, Tatsuro Izumi

Department of Pediatrics and Child Neurology, Oita University, Oita, Japan

E-002 WDR45 mutation causes static encephalopathy of childhood with neurodegeneration in adulthood (SENDA)

○Kazuhiro Muramatsu¹, Satoko Kumada³, Kenji Sugai⁴, Emi Kasai-Yoshida³, Noriko Sawaura¹,
Hiroya Nishida⁵, Ai Hoshino⁵, Fukiko Ryujin⁶, Seiichirou Yoshioka⁶, Mitsuhiro Kato⁷,
Hirokazu Arakawa^{1,7}, Hiroto Saito², Naomichi Matsumoto²

Department of Pediatrics, Gunma University Graduate School of Medicine, Gunma, Japan¹, Department of
Human Genetics, Graduate School of Medicine, Yokohama City University, Yokohama, Japan², Department
of Neuropediatrics, Tokyo Metropolitan Neurological Hospital, Tokyo, Japan³, Department of Child
Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁴, Department of Pediatrics, National
Rehabilitation Center for Children with Disabilities, Tokyo, Japan⁵, Department of Pediatrics, Shiga
University of Medical Science, Shiga, Japan⁶, Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of
Medicine, Yamagata, Japan⁷

E-003 Whole exome sequencing reveals molecular basis of childhood cerebellar atrophy

○Hitoshi Osaka^{1,2}, Yu Tsuyusaka¹, Mizue Iai², Sumimasa Yamashita², Nobuyuki Shimoza³,
Yoshikatsu Eto⁴, Hiroto Saito⁵

Department of Pediatrics, Jichi Medical School, Shimotsuke, Japan¹, Division of Neurology, Kanagawa
Childrens Medical Center, Yokohama, Japan², Division of Genomics Research, Life Science Research
Center, Gifu University, Gifu, Japan³, Advanced Clinical Research Center & Asian LSD Center, Institute of
Neurological disorders, Kawasaki, Japan⁴, Department of Human Genetics, Graduate School of Medicine,
Yokohama City University, Yokohama, Japan⁵

E-004 CD40LG and SIL1 mutations associated with neurodegeneration and hypogammaglobulinemia

○Setsuko Hasegawa, Masatoshi Takagi, Yuji Sugawara, Kohsuke Imai, Tomohiro Morio, Shuki Mizutani
Department of Pediatrics and Developmental Biology, Tokyo, Japan

E-005 Increase of microglia in the autopsy brains in xeroderma pigmentosum group A and Cockayne syndrome

○Masaharu Hayashi, Hiroshi Sakuma

Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical
Science, Tokyo, Japan

10:25~11:25 一般演題 (口演) 新生児 (S237)

座長 大野雅樹 (京都女子大学発達教育学部児童学科)

早川文雄 (岡崎市民病院小児科)

O-001 早産児脳波におけるブラッシュの出現量と修正 18ヵ月の発達指数との関連

○加藤 徹¹, 細川洋輔¹, 辻 健史¹, 早川文雄¹, 久保田哲夫², 城所博之³, 夏目 淳³, 奥村彰久⁴
岡崎市民病院小児科¹, 安城更生病院小児科², 名古屋大学小児科³, 順天堂大学小児科⁴

O-002 早産児における予定日前後に撮像した T1 強調像冠状断像で検出される白質病変と脳波所見の検討

○深沢達也¹, 久保田哲夫¹, 根来民子^{1,2}
安城更生病院小児科¹, 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科²

O-003 持続的脳機能モニタリングにより新生児低体温療法中の重症感染症が早期発見された 1 例

○松井順子, 武内俊樹, 高橋孝雄
慶應義塾大学医学部小児科

O-004 脳低温療法適応外と考えたが画像異常を認めた症例の検討

○久保田哲夫¹, 田中雅大¹, 深沢達也¹, 根来民子^{1,2}
安城更生病院小児科¹, 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科²

O-005 幹細胞静脈内投与後の体内分布；新生児低酸素性虚血性脳症マウスと脳梗塞カニクイザルモデルでの検討

○辻 雅弘
国立循環器病研究センター再生医療部

O-006 超早産児の高次脳機能障害に結びつくメカニズムの解明；虚血性脳傷害モデルマウスを用いた解析【第 4 報】

○出口貴美子^{1,2}, 久保健一郎², 永井 拓³, Wei Shan³, 山田清文³, 仲嶋一範², 井上 健⁴
出口小児科医院¹, 慶應義塾大学医学部解剖², 国立精神・神経医療研究センター, 神経研究所, 疾病研究第 2 部³, 名古屋大学医学研究科医療薬学・附属病院薬剤部⁴

- 15:25～16:25 一般演題 (口演) 脳性まひ・重症心身障害 1 (S239)
- 座長 横地健治 (聖隷三方原病院小児神経科)
森本武彦 (愛媛県立子ども療育センター)
- O-007 脳性麻痺となった late preterm 児の検討
○小寺澤敬子, 岡田由香, 宮田広善
姫路市総合福祉通園センター
- O-008 脳室内出血後の早産脳性麻痺児における小脳萎縮・水頭症の合併と長期予後との関連
○北井征宏, 大村馨代, 平井聡里, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科
- O-009 早産の脳性麻痺児における小脳萎縮の基準に関する検討
○荒井 洋, 平井聡里, 大村馨代, 北井征宏
森之宮病院小児神経科
- O-010 早産脳性麻痺児の出生年次別, 在胎週数別病型分布および背景病変に関する後方視的検討
○大村馨代, 北井征宏, 平井聡里, 荒井 洋
森之宮病院小児神経科
- O-011 痙直型脳性麻痺に対する Squatting Posture の効果
○花岡 繁, 木村夫美恵
東京都立北療育医療センター城南分園
- O-012 重度脳性麻痺児における脛骨長を用いた身長推定方法の検討
○木原健二^{1,2}, 河崎洋子³, 八木麻理子³, 今西宏之³, 宇宿智裕³, 水戸 敬³, 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域¹, にこにこハウス医療福祉センターリハビリテーション科², にこにこハウス医療福祉センター小児科³
- 16:25～17:25 一般演題 (口演) 脳性まひ・重症心身障害 2 (S241)
- 座長 麻生幸三郎 (愛知県心身障害者コロニーこぼと学園)
北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
- O-013 当院における喉頭気管分離術症例の検討
○藤岡智仁, 中野広輔, 眞庭 聡
松山赤十字病院小児科
- O-014 声門上閉鎖術の術後に経口摂取を再開できた重症心身障害者 1 例: 治療前後 VF 検査の検討
○早川美佳¹, 三枝英人², 大島早希子¹, 有賀賢典¹, 岩村美佳¹, 今井祐之¹, 落合幸勝¹
東京都立北療育医療センター小児科¹, 東京都立北療育医療センター耳鼻科²
- O-015 重症心身障害児における誤嚥の診断: VF 検査所見と血清 KL-6 値の相関について
○若本裕之¹, 佐野のぞみ², 矢野喜昭³, 桑原こずえ¹, 森本武彦¹
愛媛県立子ども療育センター小児神経科¹, 南九州病院小児科², 愛媛医療センター小児科³
- O-016 経鼻胃管の長期留置による右鎖骨下動脈-食道瘻が疑われた 1 例
○佐伯有祐, 大野光洋, 前垣義弘
鳥取大学医学部脳神経小児科
- O-017 重症心身障害児の嚥下機能低下と看取り-経管栄養導入の是非について-
○中村幸介^{1,2}, 加賀佳美¹, 小野智佳子¹, 神谷裕子¹, 石井佐綾香¹, 金村英秋², 相原正男³
国立病院機構甲府病院小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³
- O-018 当院職員の「小児緩和ケア」についての意識調査-特に小児神経医師・看護師について
○富田 直
東京都立小児総合医療センター神経内科, 東京都立小児総合医療センター子ども家族支援部門

第 1 日目 第 5 会場 (アクロシティ浜松 5F)

- 9:20~10:20 一般演題 (English Session) 2 (S224)
 座長 Akira Oka (The University of Tokyo, Department of Pediatrics, Tokyo, Japan)
 Hiroshi Sakuma (Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of medical Science, Tokyo, Japan)
- E-006 **Xq22 deletions involving PLP1 cause severe delay and behavioral abnormalities in females**
 ○Keiko Shimojima¹, Shino Shimada^{1,2}, Chikako Arakawa³, Toshiyuki Yamamoto¹
 Tokyo Women's Medical University Institute for Integrated Medical Sciences, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan², Department of Pediatrics, Nihon University, Tokyo, Japan³
- E-007 **Topiramate monotherapy and its efficacy to the infantile spasms in 2 infants with Aicardi syndrome**
 ○Tomoyuki Yamaguchi, Hiroaki Miyahara, Shin-ichi Uchiyama, Tatsuro Izumi
 Department of Pediatric and Child Neurology, Oita University School of Medicine, Oita, Japan
- E-008 **De novo mutations in GNAO1 cause epileptic encephalopathy and involuntary movement**
 ○Kazuyuki Nakamura^{1,2}, Mitsuhiro Kato¹, Hideki Hoshino³, Hiroshi Terashima³, Hitoshi Osaka⁴, Shinichi Nakamura⁵, Jun Tohyama⁶, Takashi Shiikara⁷, Masaya Kubota³, Kiyoshi Hayasaka¹, Hirotomo Saitsu²
 Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan¹, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan², Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan³, Division of Neurology, Clinical Research Institute, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan⁴, Department of Pediatrics, Nagano Red Cross Hospital, Nagano, Japan⁵, Department of Pediatrics, Epilepsy Center, Nishi-Niigata Chuo National Hospital, Niigata, Japan⁶, Department of Neurology, Gunma Children's Medical Center, Gunma, Japan⁷
- E-009 **A Recurrent KCNT1 Mutation in Two Patients with Malignant Migrating Partial Seizures in Infancy**
 ○Akihisa Okumura¹, Atsuchi Ishii², Mutsuki Shioda³, Hiroyuki Kidokoro⁴, Masako Sakauchi³, Shino Shimada³, Toshiaki Shimizu¹, Makiko Osawa³, Shinichi Hirose², Toshiyuki Yamamoto⁵
 Department of Pediatrics, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan², Department of Pediatrics, Tokyo Womens Medical University, Tokyo, Japan³, Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan⁴, Tokyo Womens Medical University Institute for Integrated Medical Science, Tokyo, Japan⁵
- E-010 **Phenotype of infantile epilepsy with a PRRT2 Mutation**
 ○Ayuko Igarashi¹, Akihisa Okumura¹, Shinpei Abe¹, Katsuhiro Kobayashi², Iori Ohmori³, Atsushi Ishii⁴, Shinichi Hirose⁴, Tomonari Awaya⁵, Toshiyuki Yamamoto⁶, Toshiaki Shimizu¹
 Department of Pediatrics, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan¹, Department of Child Neurology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan², Department of Physiology, Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University, Okayama, Japan³, Department of Pediatrics, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan⁴, Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan⁵, Tokyo Womens Medical University Institute for Integrated Medical Sciences, Tokyo, Japan⁶
- E-011 **Effect of CYP2C19 polymorphisms on stiripentol administration in cases of Dravet syndrome**
 ○Takeshi Kouga^{1,2}, Mariko Takagi³, Rie Anzai³, Mutsumi Sato³, Mitsuko Okuda³, Kyoko Takano³, Mizue Iai³, Sumimasa Yamashita³, Hitoshi Osaka^{2,3}
 Kanagawa Prefectural Institute of Public Health, Japan¹, Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan², Division of Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan³
- 10:25~11:25 一般演題 (口演) 神経・筋疾患 1 (S243)
 座長 斎藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
 西尾久英 (神戸大学大学院医学研究科疫学分野)
- O-019 **遺伝性圧脆弱性ニューロパチーの姉弟例**
 ○藤田賢司^{1,2}, 瀬戸俊之^{1,3}, 山下加奈子¹, 服部妙香¹, 匹田典克¹, 新宅治夫¹
 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 医療法人宝生会 PL 病院小児科², 市立柏原病院小児科³

O-020 脊髄性筋萎縮症に対する TRH 療法及び臨床評価法の検討

○加藤善一郎¹, 笹井英雄¹, 久保田一生¹, 川本美奈子¹, 伊藤裕子¹, 川本典生¹, 大西秀典¹, 深尾敏幸¹, 服部 良², 清水紀仁², 四井康喬², 加藤忠幸², 青木隆明³, 秋山治彦³, 宮本 敬⁴
 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学¹, 岐阜大学医学部附属病院リハビリテーション部², 岐阜大学大学院医学系研究科整形外科³, 岐阜大学大学院医学系研究科脊椎骨関節再建外科学⁴

O-021 脊髄性筋萎縮症 3 型における骨格筋画像, 末梢神経伝導検査の検討

○仲村貞郎, 石山昭彦, 小牧宏文, 齋藤貴志, 斎藤義朗, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

O-022 Na チャネル異常による筋疾患の臨床多様性

○柴田 敬¹, 吉永治美¹, 秋山倫一¹, 岡 牧郎¹, 小林勝弘¹, 村上暢子², 迫田俊一³
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学¹, 日本鋼管福山病院小児科², 鹿児島大学病院神経内科³

O-023 ORAI1 遺伝子変異が Tubular aggregate myopathy を引き起こす

○遠藤ゆかり^{1,2}, 野口 悟², 原 雄二³, 林由起子^{2,4}, 村上信行⁵, 木津りか⁶, 番場正博⁷, 埜中征哉², 西野一三^{1,2}
 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター臨床開発部¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部², 京都大学大学院工学研究科³, 東京医科大学神経生理学講座⁴, 獨協医科大学越谷病院小児科⁵, 横須賀共済病院小児科⁶, 川崎市民病院小児科⁷

O-024 小児期発症 Rippling muscle disease の 2 家系

○石黒久美子¹, 石垣景子¹, 村上てるみ¹, 佐藤孝俊¹, 梶野幸子¹, 福與なおみ², 林由起子^{3,4}, 大澤真木子¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学医学部小児科¹, 東北大学医学部小児科², 東京医科大学神経生理学³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁴

11:35~12:35 共催セミナー 3: 共催 ファイザー株式会社 (S206)

小児てんかんにおける抗てんかん薬の使い方—新規抗てんかん薬を中心に—

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 講演 桑原健太郎 (広島市民病院小児科)

15:25~16:25 一般演題 (口演) 遺伝 2 (S245)

座長 久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)
 竹内義博 (滋賀医科大学小児科)

O-025 PIEZO2 変異を呈した遠位関節拘縮症 type 5 の 1 家系

○大久保真理子, 斎藤義朗, 小嶋瑛美子, 小一原玲子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 小牧宏文, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

O-026 演題取り下げ**O-027 COL4A1 および COL4A2 遺伝子変異による脳形成異常の 2 例**

○内野俊平¹, 才津浩智², 笠井恵美¹, 熊田聡子¹, 小出彩香³, 白井育子¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹
 東京都立神経病院神経小児科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学教室², 東京都立小児総合医療センター神経内科³

O-028 Infantile Neuroaxonal Dystrophy 様の脳 MRI 所見を示した SLC9A6 変異を有する一例

○山本亜矢子^{1,2}, 和田敬仁^{2,3}, 新保裕子², 松本直通⁴, 小坂 仁^{2,5}
 大和市立病院小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 京都大学大学院医学研究科医療倫理学/遺伝医療学³, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁴, 自治医科大学小児科学講座⁵

O-029 West 症候群を発症した Potocki-Shaffer 症候群の一例

○高橋孝治¹, 保立麻美子¹, 馬場信平¹, 中島啓介¹, 鹿島田彩子¹, 菅原祐之¹, 加藤光広², 才津浩智³
 東京医科歯科大学小児科¹, 山形大学医学部小児科², 横浜市立大学医学部医学科医学研究科医科学専攻遺伝学教室³

O-030 Gorlin 症候群における PTCH2 遺伝子変異の同定 一本邦第 1 例報告—

○池原 甫¹, 藤井克則¹, 大橋博文², 水落弘美¹, 塩浜 直¹, 内川英紀¹, 宮下俊之³
 千葉大学大学院医学研究院小児科¹, 埼玉県立小児医療センター遺伝科², 北里大学医学部分子遺伝学³

- 16:25~17:25 一般演題 (口演) 神経・筋疾患 2 (S247)
- 座長 木村重美 (熊本大学大学院生命科学研究部小児発達学)
石川幸辰 (国立病院機構八雲病院小児科)
- O-031 デュシェンヌ型筋ジストロフィーにおける心拍変動の特性 (第一報)
○服部文子, 堀いくみ, 根岸 豊, 安藤直樹, 伊藤哲哉, 齋藤伸治
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野
- O-032 左室内径短縮率を用いたデュシェンヌ型筋ジストロフィー 143 例における心機能の経時的変化
○李 知子¹, 楠 典子¹, 八木麻理子², 竹島泰弘¹, 松尾雅文³, 飯島一誠¹
神戸大学大学院医学研究科小児科学¹, にこにこハウス医療福祉センター小児科², 神戸学院大学総合リハビリテーション学部³
- O-033 Duchenne 型筋ジストロフィー患者における, 体重変化と安静時エネルギー消費量の変化の関連
○馬場信平¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 鷹羽智子², 今泉博文², 阿部裕二², 小林麻里子², 熊澤勇介², 佐々木征行¹
国立精神神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神神経医療研究センター病院栄養管理室²
- O-034 長期臥床の Duchenne 型筋ジストロフィー患者における骨強度評価の試み
○苛原 香, 鈴木理恵, 向田壮一, 白石一浩
国立病院機構宇多野病院小児科
- O-035 生体電気インピーダンス法による筋ジストロフィー患者の骨格筋評価方法の開発
○内山朋香¹, 久留 聡², 村上てるみ³, 石垣景子³, 佐藤孝俊³, 服部文子⁴, 中山貴博⁵
タニタ体重科学研究所¹, 国立病院機構鈴鹿病院神経内科², 東京女子医科大学小児科³, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野⁴, 横浜労災病院神経内科⁵
- O-036 福山型先天性筋ジストロフィー患者 (FCMD) における生体電気インピーダンス法による骨格筋評価
○村上てるみ¹, 内山朋香², 久留 聡³, 中山貴博⁴, 佐藤孝俊¹, 大澤真木子¹, 永田 智¹, 石垣景子¹
東京女子医科大学小児科¹, 株式会社タニタ体重科学研究所², 独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院神経内科³, 横浜労災病院神経内科⁴

第 1 日目 第 6 会場 [オークラクトシティホテル浜松 3F]

- 9:20~10:20 一般演題 (English Session) 3 (S226)
- 座長 Hideo Yamanouchi (Department of Pediatrics, Saitama Medical University, Saitama, Japan)
Tatsuro Izumi (Department of Pediatrics and Child Neurology, Oita University School of Medicine, Oita, Japan)
- E-012 Hippocampal synaptic plasticity after development in a rat model of cryptogenic infantile spasms
○Megumi Tsuji
Laboratory of Neurophysiology, Department of Neuroscience, Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan
- E-013 Magnetoencephalography relating with volume of focal cortical dysplasia
○Midori Nakajima, Kazuo Okanari, Satoru Sakuma, Ayako Ochi, Hiroshi Otsubo
Division of Neurology, Department of Pediatrics, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada
- E-014 MEG spike sources reflecting extensive epileptic network in tuberous sclerosis complex
○Tohru Okanishi^{1,2}, Ayako Ochi¹, Hiroshi Otsubo¹
Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada¹, Seirei-Hamamatsu General Hospital, Hamamatsu, Japan²
- E-015 Characteristics of heart rate variability in children with postictal generalized EEG suppression
○Kazuo Okanari, Tohru Okanishi, Satoru Sakuma, Midori Nakajima, Ayako Ochi, Hiroshi Otsubo
Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada
- E-016 Characteristics of oligodendroglia-like cells in pediatric intractable focal epilepsy
○Satoru Sakuma^{1,2}, Midori Nakajima¹, Kazuo Okanari¹, Tohru Okanishi¹, Ayako Ochi¹, Hiroshi Otsubo¹
Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada¹, Department of Pediatrics Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan²
- E-017 High mobility group box 1 enhances hyperthermia-induced seizures in developing rats
○Masanori Ito¹, Mitsumasa Fukuda¹, Yoshiaki Yano^{1,3}, Yuka Suzuki¹, Takehiko Morimoto²
Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Ehime, Japan¹, Ehime Rehabilitation Center for Children, Ehime, Japan², National Hospital Organization Ehime Medical Center, Ehime, Japan³

- 10:25～11:25 教育講演 2 (S114)
 ペルオキシソーム病のアップデート～基礎と臨床の融合
 座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
 講演 下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)
- 11:35～12:35 共催セミナー 4: 共催 ヤンセンファーマ株式会社 (S207)
 エビデンスに基づく注意欠陥多動性障害 (ADHD) の治療戦略～薬剤導入による脳機能変化～
 座長 谷池雅子 (大阪大学連合小児発達学研究所小児発達神経学領域)
 講演 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
- 15:25～16:25 教育講演 3 (S115)
 福山型筋ジストロフィーの病態基盤と新たな治療法の開発
 座長 岡 明 (東京大学医学部小児科)
 講演 戸田達史 (神戸大学大学院医学研究科神経内科／分子脳科学)
- 16:25～17:25 教育講演 4 (S116)
 脳形成異常の分子病態と臨床
 座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 講演 加藤光広 (山形大学医学部小児科)

第 1 日目 第 7 会場 [オークラクトシティホテル浜松 3F]

- 9:20～10:20 一般演題 (English Session) 4 (S228)
 座長 Masashi Mizuguchi (Department of Developmental Medical Sciences, the University of Tokyo, Tokyo, Japan)
 Mitsuhiro Kato (Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan)
- E-018 Efficacy of bromide for severe epileptic encephalopathies in early infancy
 ○Kenji Sugai¹, Eiji Nakagawa¹, Takashi Saito¹, Yoshiaki Saito¹, Akihiko Ishiyama¹, Hirofumi Komaki¹, Masayuki Sasaki¹, Taisuke Otsuki²
 Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Epilepsy Center, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan²
- E-019 Under-treated anxiety disorders in children with epilepsy : Cognitive-behavioral intervention
 ○Mayu Fujikawa, Yosuke Kakisaka, Nobukazu Nakasato
 Department of Epileptology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan
- E-020 Cardiac MRI to diagnose pediatric cardiomyopathy in inborn error of metabolism patients. Case report
 ○Satoru Iwashima, Takamichi Ishikawa, Takuya Hiraide, Hidetoshi Ishigaki, Miki Asahina, Tomoko Matubayashi, Tokiko Fukuda
 Department of pediatrics, Hamamatsu university school of medicine, Shizuoka, Japan
- E-021 The use of susceptibility-weighted imaging for epileptic focus localization : A case report
 ○Hiroki Iwasaki¹, Yukihiro Fujita²
 Department of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Hiroo General Hospital, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics and Child Health, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan²
- E-022 MERS with EBV-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis
 ○Kenji Inoue, Yoshihisa Higuchi, Nobusuke Kimura, Naoko Nishimura, Makiko Nakamoto, Tsuyoshi Imai, Tsuneo Hirota
 Department of Pediatrics, Otsu Red Cross Hospital

10:25~11:25 一般演題 (口演) 遺伝 1 (S249)

座長 新井田要 (金沢医科大学総合医学研究所先端医療研究領域遺伝子疾患研究分野)
是松聖悟 (大分大学医学部地域医療・小児科分野)

O-037 GPI アンカー型タンパク質の構造異常を原因とする先天性 GPI 欠損症
—PGAP1 欠損症と PGAP3 欠損症—

○村上良子, 木下タロウ

大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野, 大阪大学免疫学フロンティア研究センター

O-038 MCT8 変異による甲状腺ホルモン輸送障害の 1 家系

○上田理登¹, 玉崎章子¹, 松村 渉², 西村洋子¹, 難波範行³, 前垣義弘¹

鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取県立厚生病院小児科², 大阪大学医学部小児科³

O-039 FOXG1 ハブ不全を認めた congenital Rett 症候群の一男児例

○中田昌利¹, 熊倉 啓¹, 高折 徹¹, 中井理恵¹, 岡嶋一樹², 高橋 悟², 秦 大資¹

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院小児科¹, 旭川医科大学小児科²

O-040 重度精神遅滞, 難治性てんかんの臨床像を示し, PIGO 遺伝子変異が同定された 1 例

○安西里恵¹, 佐藤睦美¹, 高木真理子¹, 奥田美津子¹, 露崎 悠¹, 高野亨子^{1,4}, 井合瑞江¹,

中村和幸^{2,3}, 才津浩智², 小坂 仁^{1,5}, 山下純正¹

神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学², 山形大学医学部小児科³,

信州大学医学部遺伝医学⁴, 自治医科大学医学部小児科⁵

O-041 HEPACAM を含む 11q23.3-24.2 の微細欠失により発症した Megalencephalic leukoencephalopathy with subcortical cyst (MLC)

○島田姿野^{1,2}, 久保田雅也³, 下島圭子², 永田 智¹, 山本俊至²

東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所², 国立成育医療研究センター神経内科³

11:35~12:35 共催セミナー 5: 共催 大塚製薬株式会社 (S207)

薬剤性の高アンモニア血症に対する L-カルニチン療法の実際

座長 児玉浩子 (帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科)

講演 太田正康 (JA とりで総合医療センター小児科)

13:25~14:25 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 1 (S250)

座長 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

平林伸一 (長野県立こども病院神経小児科)

O-042 重症熱性けいれん概念を用いた急性脳症後向きコホート研究 第 1 報

重症熱性けいれん概念導入前後での神経学的予後の変化

○永瀬裕朗, 田中 司, 西山将広, 藤田杏子, 丸山あずさ

兵庫県立こども病院脳神経内科

O-043 重症熱性けいれん概念を用いた急性脳症後向きコホート研究 第 2 報

発症 6 時間以内の AST は劇症型急性脳症, 重度後遺症と関連する

○田中 司, 西山将広, 藤田杏子, 丸山あずさ, 永瀬裕朗

兵庫県立こども病院脳神経内科

O-044 二相性痙攣と遅発性拡散能低下を呈する急性脳症における血清と髄液のビジニン類似蛋白 (VILIP-1) 濃度についての検討

○梶本まどか¹, 長谷川俊史¹, 井上裕文¹, 松重武志¹, 若林みどり¹, 百中 宏¹, 伊住浩史²,

市山高志²

山口大学大学院医学系研究科小児科¹, 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科²

O-045 遅発性拡散能低下を呈する急性脳症における血清プロカルシトニン値の検討

○東 慶輝¹, 辻 健史², 久保田哲夫³, 伊藤祐史¹, 小川千香子¹, 城所博之¹, 石原尚子¹, 根来民子⁴,

渡邊一功⁵, 夏目 淳¹

名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 日本福祉大学子ども発達学部⁴, 愛知淑徳大学健康医療科学部⁵

O-046 けいれん重積型急性脳症におけるナトリウムチャンネル SCN1A および SCN2A 変異解析

○齋藤真木子¹, 石井敦士², 井原由紀子², 星野 愛¹, 寺嶋 宙³, 久保田雅也³, 山中 岳⁴,

河島尚志⁴, 菊池健二郎⁵, 雨宮 馨⁶, 亀井 淳⁷, 廣瀬伸一², 水口 雅¹

東京大学大学院発達医科学¹, 福岡大学医学部小児科², 国立成育医療研究センター神経内科³, 東京医科大学小児科⁴, 埼玉県立小児医療センター神経科⁵, 都立総合小児医療センター神経内科⁶,

岩手医科大学小児科⁷

O-047 重度後遺症を伴ったけいれん重積型急性脳症 5 例の脳症関連遺伝子の解析

○山中 岳¹, 竹下美佳¹, 小穴信吾¹, 石田 悠¹, 森地振一郎¹, 宮島 祐¹, 齋藤真木子², 水口 雅², 廣瀬伸一³, 河島尚志¹

東京医科大学病院小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学教室², 福岡大学医学部小児科³

14:25~15:25 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 2 (S252)

座長 高橋 悟 (旭川医科大学小児科)

千代延友裕 (京都府立医科大学小児科)

O-048 新生児単純ヘルペス脳炎における脳病変の局在

○城所博之¹, 奥村彰久², 辻 健史³, 久保田哲夫⁴, 安藤直樹⁵, 伊藤祐史¹, 小川千香子¹, 山本啓之¹, 石原尚子¹, 加藤 徹³, 早川文雄³, 齋藤伸治⁵, 夏目 淳¹

名古屋大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部小児科², 岡崎市民病院小児科³, 安城更生病院小児科⁴, 名古屋市立大学医学部小児科⁵

O-049 MR spectroscopy 評価を行った HHV-6 感染による MERS type 2 の 1 例

○草野智佳子¹, 松本 浩¹, 座波清誉¹, 中村康子¹, 高梨潤一²

防衛医科大学校病院小児科¹, 亀田メディカルセンター小児科²

O-050 病初期に後頭部皮質優位に病変を呈し, その後 Bright Tree Appearance を示した 3 症例

○大野敦子¹, 鈴木基正¹, 糸見和也¹, 辻 健史², 久保田哲夫³, 奥村彰久⁴, 安藤直樹⁵, 齋藤伸治⁵, 夏目 淳⁶

あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 順天堂大学医学部小児科⁴, 名古屋市立大学医学部小児科⁵, 名古屋大学医学部小児科⁶

O-051 非定型川崎病に続発した急性脳症の 1 例

○柴田玲子¹, 服部文子², 安藤直樹², 安藤恒三郎³

名古屋第二赤十字病院小児科¹, 名古屋市立大学小児科², 日本赤十字豊田看護大学³

O-052 消化管穿孔に急性脳症を合併した 2 例

○高須倫彦¹, 積田綾子¹, 中澤友幸¹, 岡崎任晴², 大日方薫¹

順天堂大学医学部附属浦安病院小児科¹, 順天堂大学医学部附属浦安病院小児外科²

O-053 連続脳波モニタリングを施行した脳炎脳症の検討

○柏木 充¹, 田辺卓也², 大場千鶴¹, 吉川聡介³, 宮本良平⁴, 島川修一⁵, 東川幸嗣⁶, 若宮英司⁷, 玉井 浩⁵

市立枚方市民病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経内科², 大阪労災病院小児科³, 茨木済生会病院小児科⁴, 大阪医科大学小児科⁵, 清恵会病院小児科⁶, 藍野大学医療保健学部看護学科⁷

15:25~16:25 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 3 (S254)

座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)

市山高志 (鼓ヶ浦こども医療福祉センター)

O-054 急性脳炎・脳症の発作に対するホスフェニトインの有効性

○中澤美賀^{1,2}, 奥村彰久², 赤坂真奈美³, 長谷川毅⁴, 鈴木智典⁵, 嶋 泰樹^{2,6}, 高梨潤一⁷, 山本敦子⁸, 石堂雄毅⁹, 菊池健二郎¹⁰, 新島新一¹, 清水俊明²

順天堂大学練馬病院小児科¹, 順天堂大学医学部小児科², 岩手医科大学医学部小児科³, 草加市立病院小児科⁴, 川口市立医療センター小児科⁵, 長野県立こども病院小児神経科⁶, 亀田メディカルセンター⁷, 土浦協同病院小児科⁸, 聖マリア病院小児科⁹, 埼玉小児医療センター神経科¹⁰

O-055 急性壊死性脳症における遺伝的素因—HLA タイピング及びサイトカイン遺伝子多型解析—第 2 報

○星野 愛¹, 齋藤真木子¹, 久保田雅也², 高梨潤一³, 豊島光雄⁴, 宮本晶恵⁵, 奥村彰久⁶, 水口 雅¹

東京大学大学院医学系研究科発達医科学教室¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 亀田メディカルセンター小児科³, 鹿児島大学医学部小児科⁴, 旭川肢体不自由児総合療育センター小児科⁵, 順天堂大学医学部小児科⁶

O-056 抗神経抗体が同定されたマイコプラズマ感染後大脳基底核脳炎の 1 例

○高野亨子^{1,2}, 佐藤睦美¹, 高木真理子¹, 安西里恵¹, 奥田美津子¹, 露崎 悠¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 小坂 仁^{1,3}, 佐久間啓⁴, 林 雅晴⁴

神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座², 自治医科大学小児科³, 公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生分野⁴

- O-057 免疫学的解析から推定される基底核脳炎の多様性 (第一報)**
 ○中原絵理^{1,2}, 佐久間啓¹, 林 雅晴¹, 鈴木智典³, 清水俊明², 奥村彰久²
 公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野¹, 順天堂大学医学部小児科², 東京医科歯科大学発生発達病態学³
- O-058 視神経・脊髄症状を伴わない抗アクアポリン 4 抗体陽性女児例**
 ○鈴木 智^{1,2}, 沼田有里佳¹, 植松 貢², 福與なおみ², 呉 繁夫²
 石巻赤十字病院小児科¹, 東北大学医学部小児科²
- O-059 ステロイドパルス療法の反復が有効であった抗 NMDA 受容体抗体陽性辺縁系脳炎の 11 歳男児例**
 ○草開祥平¹, 渡辺祐紀¹, 種市尋宙¹, 田中朋美¹, 田仲千秋¹, 宮 一志¹, 森 寿², 足立雄一¹
 富山大学医学部小児科¹, 富山大学大学院医学薬学研究部分子神経科学講座²

16:25~17:25 一般演題 (口演) 感染・免疫 1 (S256)

- 座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院・感染症センター小児神経科)
 細矢光亮 (福島県立医科大学小児科)
- O-060 免疫グロブリンの追加投与が有効であった急性散在性脳脊髄炎の乳児**
 ○松岡剛司, 比屋根真彦, 大府正治
 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科
- O-061 急性散在性脳脊髄炎における頭部および脊髄病変の検討**
 ○大場温子¹, 浜野晋一郎¹, 平田佑子¹, 熊谷勇治¹, 菊池健二郎¹, 田中 学¹, 南谷幹之²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部²
- O-062 眼部帯状疱疹後に発症したステロイド抵抗性視神経炎を伴う多発性硬化症の女児例**
 ○柴 直子¹, 山内翔子², 本林光雄¹, 新美妙美¹, 西村貴文¹, 稲葉雄二¹
 信州大学医学部小児科¹, 長野厚生連北信総合病院²
- O-063 脳腫瘍との鑑別に生検を実施した tumefactive demyelination の 2 例**
 ○川村健太郎¹, 二階堂弘輝¹, 館 延忠², 堤 裕幸¹, 三國信啓³
 札幌医科大学医学部小児科¹, 札幌医科大学保健医療学部², 札幌医科大学医学部脳神経外科学講座³
- O-064 小児多発性硬化症における治療抵抗性の検討**
 ○鳥巢浩幸^{1,2,3}, 愛波秀男³, 市山高志³, 岸 崇之³, 木村重美³, 久保田雅也³, 高梨潤一³,
 高橋幸利³, 玉井 浩³, 夏目 淳³, 浜野晋一郎³, 平林伸一³, 前垣義弘³, 水口 雅³, 原 寿郎^{1,3}
 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野¹, 福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野², 日本小児免疫性脳炎研究グループ³
- O-065 小児多発性硬化症における高次脳機能障害の検討**
 ○温井めぐみ, 川脇 壽, 福岡正隆, 服部有香, 辻ひとみ, 堀野朝子, 九鬼一郎, 岡崎 伸, 岡田眞子,
 富和清隆
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科

第 1 日目 第 8 会場 [オークラアクトシティホテル浜松 4F]

9:20~10:20 一般演題 (English Session) 5 (S230)

- 座長 Mitsuru Kawai (Higashisaitama National Hospital, Saitama, Japan)
 Tokiko Fukuda (Pediatrics, Hamamatsu medical University, Shizuoka, Japan)
- E-023 Clinical Features and Surroundings of Patients with Congenital Myotonic Dystrophy**
 ○Miyuki Toyono¹, Ikuhiro Inami¹, Aya Hirayama¹, Tamami Yano², Yukio Sawaishi¹
 Akita Prefectural Center on Development and Disability, Department of Pediatrics, Akita, Japan¹, Akita University Graduate School of Medicine, Akita Japan²
- E-024 Anti Fli-1 antibody as a novel therapeutic strategy for Duchenne muscular dystrophy (DMD)**
 ○Yuko Motohashi
 Department of Neurology, University of Minnesota Medical School, Minneapolis, MN, USA, Stem Cell Institute, Paul and Sheila Wellstone Muscular Dystrophy Center
- E-025 Morphological differences among cells of the BBB and implications for two mitochondrial diseases**
 ○Mihoko Matsuzaki^{1,2}, Rieko Takahashi¹, Satoru Nagata¹
 Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan¹, Nakagawa-No-Sato, Hospital for the Disabled, Saitama, Japan²

E-026 Oxidative stress-induced phospho-JNK1 inhibits hedgehog signaling and osteoblast differentiation

○Tadashi Shiohama, Katsunori Fujii, Hideki Uchikawa, Hiromi Mizuochi

Department of Pediatrics, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba, Japan

E-027 Hedgehog signaling is enhanced by nutritional deprivation in human fibroblasts of Gorlin syndrome

○Hiromi Mizuochi, Hideki Uchikawa, Tadashi Shiohama, Katsunori Fujii

Department of Pediatrics, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba, Japan

E-028 A Case of Young Adult with Infantile-onset Lhermitte-Duclos Disease

○Asami Ito, Toshiki Takenouchi, Takayuki Mitsunashi, Takao Takahashi

Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan

10:25~11:25 一般演題(口演) てんかん・けいれん 1……………(S258)

座長 後藤知英(神奈川県立こども医療センター神経内科)

前垣義弘(鳥取大学医学部脳神経小児科)

O-066 てんかんを合併した結節性硬化症(5例)に対するエベロリムスの効果○豊嶋大作¹, 森貞直哉¹, 中川 卓¹, 足立昌夫², 竹島泰弘¹, 高田 哲^{1,3}, 飯島一誠¹神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 加古川西市民病院小児科², 神戸大学大学院保健学研究科³**O-067 結節性硬化症の Everolimus 治療の経験**○下野九理子^{1,2,3}, 岸本加奈子^{2,3}, 谷河純平^{2,3}, 山崎早苗^{2,3}, 中野さやか^{2,3}, 岩谷祥子^{2,3},北岡太一², 窪田拓生², 富永康仁^{1,2,3}, 青天目信^{2,3}, 沖永剛志⁴, 永井利三郎⁵, 大蘭恵一^{2,3}大阪大学大学院連合小児発達学研究科¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科², 大阪大学医学部付属病院てんかんセンター³, ペルランド病院小児科⁴, 大阪大学大学院医学系研究科保健学科⁵**O-068 Everolimus 開始後てんかん発作が消失している結節性硬化症の一例**

○西里ちづる, 上野弘恵, 渡邊 聖, 島津智之

国立病院機構熊本再春荘病院小児科

O-069 難治性てんかんを呈する結節性硬化症に対するてんかん手術例の検討○飯村康司¹, 菅野秀宣¹, 中島 円¹, 肥後拓磨¹, 奥村彰久², 安部信平²順天堂大学脳神経外科¹, 順天堂大学小児科²**O-070 大脳局在異常をもつ難治てんかん症例における脳梁離断術後の側方化と発作予後**○小一原玲子¹, 須貝研司¹, 大槻泰介², 高橋章夫², 齋藤貴志¹, 齋藤義朗¹, 中川栄二¹, 小牧宏文¹,石山昭彦¹, 佐々木征行¹国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科²**O-071 迷走神経刺激療法はどの発作に効果があるのか**

○藤本礼尚, 岡西 徹, 横田卓也, 榎日出夫, 山本貴通

聖隷浜松病院てんかんセンター

11:35~12:35 共催セミナー6:共催 アルフレッサファーマ株式会社/ノーベルファーマ株式会社……………(S208)**小児期のてんかん重積に対する治療戦略と治療薬物モニタリングの有用性**

座長 山内秀雄(埼玉医科大学病院小児科)

講演 岩崎俊之(北里大学医学部小児科)

13:25~14:25 一般演題(口演) てんかん・けいれん 2……………(S260)

座長 吉永治美(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)

林 北見(東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科)

O-072 周産期脳障害を成因とする West 症候群の臨床的特徴

○平澤恭子, 竹下暁子, 吉川陽子, 平野嘉子, 中務秀嗣, 塩田陸記, 伊藤 康, 小国弘量, 永田 智

東京女子医科大学医学部小児科

O-073 脳室周囲白質軟化症に基づく West 症候群の長期予後

○福田邦明

麻田総合病院神経小児科

O-074 3 T-MRI で微細な皮質形成異常が確認された West 症候群における MRI, FDG-PET 所見○坂口陽子¹, 小川千香子¹, 伊藤祐史¹, 山本啓之¹, 竹内智哉¹, 横井摂理¹, 細川洋輔², 辻 健史²,城所博之¹, 東 慶輝¹, 石原尚子¹, 三浦清邦¹, 根来民子¹, 渡邊一功³, 夏目 淳¹名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 愛知淑徳大学健康医療科学部³

O-075 KCNT1 遺伝子の新生変異が同定された West 症候群の女児例

○井上貴仁¹, 石井敦士², 鶴澤礼実³, 中村紀子¹, 金海武志¹, 才津浩智⁴, 加藤光広⁵, 廣瀬伸一², 小川 厚¹

福岡大学筑紫病院小児科¹, 福岡大学医学部小児科², 高木病院小児科³, 横浜市立大学医学部遺伝学⁴, 山形大学医学部小児科⁵

O-076 West 症候群に対する γ グロブリン療法前後の血清・髄液サイトカイン変化

○松浦隆樹^{1,2}, 浜野晋一郎², 平田佑子^{1,2}, 熊谷勇治², 大場温子², 菊池健二郎², 田中 学², 南谷幹之³, 井田博幸¹

東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³

O-077 West 症候群に対する新規抗てんかん薬の効果の検討

○服部有香, 川脇 壽, 福岡正隆, 辻ひとみ, 堀野朝子, 温井めぐみ, 九鬼一郎, 岡崎 伸
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科

14:25~15:25 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 3…………… (S262)

座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
福田光成 (愛媛大学医学部附属病院小児科)

O-078 新生児期にミオクロニー発作で発症した先天性 GPI 欠損症の同胞 3 例

○最上友紀子¹, 利川寛実¹, 木水友一¹, 木村貞美¹, 池田 妙¹, 柳原恵子¹, 鈴木保宏¹, 岡本伸彦¹, 村上良子², 木下タロウ²

大阪府立母子保健総合医療センター¹, 大阪大学微生物研究所²

O-079 眼球運動異常, 小脳萎縮を認めた先天性 GPI 欠損症 (PIGN 遺伝子異常) の同胞例

○谷河純平¹, 鈴木保宏⁴, 岡本信彦⁵, 才津浩智⁸, 村上良子⁷, 岡村隆行⁶, 池田 妙⁴, 最上友紀子⁴, 柳原恵子⁴, 青木目信^{1,3}, 下野九理子^{1,2,3}, 木下タロウ⁷, 大蘭恵一^{1,3}

大阪大学大学院医学研究科小児科¹, 大阪大学連合小児発達学研究所², 大阪大学附属病院てんかんセンター³, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科⁴, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁵, 市立堺病院小児科⁶, 大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野⁷, 横浜市立大学医学部遺伝学⁸

O-080 IQSEC2 遺伝子変異を認めた髄鞘化障害のある幼児期発症難治性てんかんの一例

○佐藤 亮¹, 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 才津浩智², 萩野谷和裕¹

宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学²

O-081 14 番染色体 p11.2q32.3 に切断点を有する環状染色体例のてんかん発作型の検討

○吉富晋作¹, 山口解冬¹, 渡辺陽和¹, 東本和紀¹, 那須裕郷¹, 植田佑樹¹, 大谷英之¹, 池田浩子¹, 重松秀夫¹, 今井克美¹, 高橋幸利¹, 井上有史¹, 深沢達也²

静岡てんかん神経医療センター小児科¹, 安城更生病院小児科²

O-082 Infantile spasms を呈した Pallister-Killian 症候群の 2 例

○小林朋子^{1,2}, 植松 貢², 中山東城², 菊池敦生², 遠藤若葉², 佐藤寛記², 佐藤優子², 福與なおみ², 久保田由紀², 川目 裕¹, 呉 繁夫²

東北大学東北メディカル・メガバンク機構人材育成部門遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野¹, 東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野²

O-083 c.14576G>A ホモ接合型の遺伝子多型を認めたもやもや病の姉弟例

○井上 聡¹, 長村敏生¹, 田川晃司², 久保 裕¹, 大前禎毅¹

京都第二赤十字病院小児科¹, 滋賀医科大学小児科²

15:25~16:25 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 4…………… (S264)

座長 久保田英幹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター神経科)
小林勝弘 (岡山大学大学院医歯薬総合研究科発達神経病態学分野 (岡山大学病院小児神経科))

O-084 限局性皮質形成異常によるてんかん患者の発達・知的予後～知能の特徴～

○木村暢佑^{1,2}, 高橋幸利², 重松秀夫², 今井克美², 池田浩子², 大谷英之², 高山留美子², 最上友紀子², 馬場好一², 松田一己², 鳥取高安², 白井直敬², 井上有史²

大津赤十字病院小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²

- O-085 限局性皮質形成異常によるてんかん患者の発作頻度の特徴について**
 ○跡部真人¹, 須貝研司¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 高橋章夫², 大槻泰介², 伊藤雅之³, 柿田明美⁴
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部³, 新潟大学脳研究所病理部⁴
- O-086 抗てんかん薬で発作消失していたが焦点切除を行った左内側側頭葉てんかんの 1 例**
 ○石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 福田智文¹, 千手絢子¹, 塩田直樹², 馬場啓至³, 楠原浩一¹
 産業医科大学医学部小児科¹, 宇都宮産株式会社健康管理センター², 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科³
- O-087 先天性サイトメガロウイルス感染症による皮質形成異常を有するウエスト症候群にピガバトリンが有効であった一例**
 ○佐藤仁志¹, 高 儀容¹, 秋田千里¹, 玉貫啓太¹, 高橋依子², 中村常之¹, 犀川 太¹
 金沢医科大学医学部小児科¹, 金沢医科大学医学部眼科²
- O-088 Landau-Kleffner 症候群を呈した脳室周囲白質軟化症の 1 例**
 ○吉田 登, 安部信平, 池野 充, 五十嵐鮎子, 中原絵里, 田中恭子, 奥村彰久, 清水俊明
 順天堂大学医学部小児科
- O-089 実験的多小脳回症におけるけいれん閾値の低下と介在神経細胞障害**
 ○高野知行, 西倉紀子, 吉岡誠一郎, 阪上由子, 澤井ちひろ, 竹内義博
 滋賀医科大学医学部小児科

16:25~17:25 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 5…………… (S266)

- 座長 夏目 淳 (名古屋大学医学部小児科)
 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
- O-090 熱性けいれんが将来の記憶・学習機能に与える影響の細胞生物学的基盤の解明**
 ○小山隆太, 田尾賢太郎, 市川淳也, 松木則夫, 池谷裕二
 東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学
- O-091 急性脳症後遺症として笑い発作を認めた難治性てんかんの 1 例**
 ○阿部裕一¹, 野田あみず², 颯佐かおり¹, 山内秀雄¹
 埼玉医科大学小児科¹, さいたま市民医療センター小児科²
- O-092 スチリベントール投与にて良好なてんかん発作コントロールが可能であった染色体 2 番長腕部分欠失の 1 例**
 ○石原尚子, 竹内智哉, 小川千香子, 伊藤祐史, 東 慶輝, 城所博之, 三浦清邦, 根来民子, 渡邊一功, 夏目 淳
 名古屋大学医学部小児科
- O-093 Stiripentol の遊離血中濃度と併用薬剤や CYP2C19 変異との関連の検討**
 ○那須裕郷¹, 高橋幸利¹, 高橋良平², 山本吉章¹, 吉富晋作¹, 渡邊陽和¹, 山口解冬¹, 大谷英之¹, 池田浩子¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 井上有史¹
 静岡てんかん・神経医療センター¹, 埼玉県立小児医療センター薬剤部²
- O-094 急性脳症をきたした Dravet 症候群の 3 例**
 ○高折 徹, 熊倉 啓, 中田昌利, 中井理恵
 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院小児科
- O-095 N-desmethyloclobazam 濃度高値により日常生活に支障をきたす眠気を呈した 1 例**
 ○久保田淳¹, 松浦隆樹¹, 浜野晋一郎², 井田博幸¹
 東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

第 1 日目 第 9 会場 [オークラクトシティホテル浜松 4F]

- 9:20~10:20 一般演題 (English Session) 6…………… (S232)
- 座長 Teruyuki Tanaka (Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan)
 Akemi Tomoda (Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan)
- E-029 L1cam is crucial for radial migration during murine corticogenesis**
 ○Madoka Tonosaki, Kyoko Itoh, Shinji Fushiki
 Department of Pathology and Applied Neurobiology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan

- E-030 Differences in neurofunctional effects between atomoxetine and methylphenidate in ADHD**
 ○Masako Nagashima¹, Yukifumi Monden¹, Ipeita Dan², Hideo Shimoizumi⁴, Eijyu Watanabe³,
 Takanori Yamagata¹
 Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Applied Cognitive Neuroscience
 Laboratory, Faculty of Science and Technology, Chuo University, Tokyo, Japan², Department of
 Neurosurgery, Jichi Medical University, Tochigi, Japan³, Rehabilitation Center, International University of
 Health and Welfare, Tochigi, Japan⁴
- E-031 Daily alteration of melatonin and oxidative stress markers in developmental disorders**
 ○Rie Miyata¹, Naoyuki Tanuma², Masaharu Hayashi³, Jun Kohyama⁴
 The Department of Pediatrics, Tokyo-kita Social Insurance Hospital, Tokyo, Japan¹, Department of
 Pediatrics, Tokyo Metropolitan Fuchu Medical Center for the Disabled, Tokyo, Japan², Department of Brain
 Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan³,
 Department of Pediatrics, Tokyo Bay Urayasu Ichikawa Medical center, Urayasu, Japan⁴
- E-032 Urinary secretion of melatonin in severe motor and intellectual disabilities**
 ○Yumi Okoshi¹, Masaharu Hayashi², Rie Miyata², Naoyuki Tanuma¹
 The Department of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Fuchu Medical Center for the Disabled, Tokyo, Japan¹,
 The Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical
 Science, Tokyo, Japan²
- E-033 Biomarker analysis in children with traumatic brain injury**
 ○Naoyuki Tanuma^{1,2}, Rie Miyata², Masaharu Hayashi²
 Department of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Fuchu Medical Center for the Disabled, Tokyo, Japan¹,
 Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical
 Science, Tokyo, Japan²
- E-034 Usefulness of Children Behavior Checklist (CBCL) in Indonesian children**
 ○Hartini Sri^{1,2}, Elisabeth Herini³, Hapsara Sunartini³, Satoshi Takada¹
 Graduate School of Health Sciences, Kobe University, Kobe, Japan¹, Nursing Department, Faculty of
 Medicine, Universitas Gadjah Mada, Yogyakarta, Indonesia², Department of Child Neurology, Faculty of
 Medicine, Universitas Gadjah Mada, Yogyakarta, Indonesia³
- 10:25~11:25 一般演題 (口演) 画像 (S268)**
 座長 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
 大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- O-096 テント上正中中部嚢胞を合併した裂脳症の 1 例**
 ○宮城佳史, 宮本 健
 浜松医療センター小児科
- O-097 潜因性 West 症候群の発症時における拡散テンソル画像の解析**
 ○小川千香子¹, 深沢達也², 城所博之¹, 石原尚子¹, 東 慶輝¹, 横井摂理¹, 山本啓之¹, 竹内智哉¹,
 久保田哲夫², 安藤直樹³, 三浦清邦¹, 根来民子⁴, 渡邊一功⁵, 夏目 淳¹
 名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 安城更生病院小児科², 名古屋市立大学大学院医学研究科
 新生児・小児医学分野³, 日本福祉大学子ども発達学部⁴, 愛知淑徳大学健康医療科学部⁵
- O-098 West 症候群の ACTH 療法前後における¹²³I-iodomazenil SPECT の変化について**
 ○池本 智¹, 浜野晋一郎², 平田佑子^{1,2}, 鈴木ことこ¹, 大場温子², 松浦隆樹¹, 菊池健二郎^{1,2},
 井田博幸¹
 東京慈恵会医科大学小児科学講座¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²
- O-099 限局性の脳皮質病変を示した自己免疫性辺縁系脳炎の 1 例**
 ○谷口祐子¹, 池田尚広¹, 宮内彰彦¹, 石井朋之¹, 長嶋雅子¹, 門田行史¹, 小坂 仁¹, 杉江秀夫¹,
 高橋幸利², 山形崇倫¹
 自治医科大学小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²
- O-100 小児交互性片麻痺における初発症状としての異常眼球運動の特徴**
 ○元木崇裕¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹,
 石井敦士², 廣瀬伸一²
 国立精神神経医療研究センター病院小児神経科¹, 福岡大学医学部小児科²
- O-101 新生児型非ケトン性グリシン脳症の 1 例**
 ○中井理恵, 熊倉 啓
 田附興風会北野病院小児科

- 13:25~14:25 一般演題 (口演) 代謝性疾患 1 (S270)
- 座長 呉 繁夫 (東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野)
酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)
- O-102 SLC19A3 遺伝子異常が明らかとなった新生児期発症リー脳症の兄弟例
○白井育子¹, 熊田聡子¹, 小林朋佳², 富田 直³, 内野俊平¹, 八谷靖夫¹, 三山佐保子³, 栗原栄二¹
東京都立神経病院神経小児科¹, 社会保険中央病院小児科², 東京都立小児総合医療センター神経内科³
- O-103 サプレッションバーストを伴うてんかん性脳症を呈した Leigh 脳症の 1 剖検例
○座波清誉^{1,2}, 松本 浩², 中村康子², 伊藤雅之³, 大竹 明⁴, 村山 圭⁵
自衛隊福岡病院小児科¹, 防衛医科大学校病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター疾病研究第二部³, 埼玉医科大学小児科⁴, 千葉県こども病院代謝科⁵
- O-104 ミトコンドリア病へのビルビン酸療法の有効性: 寝たきり患者での評価
○藤井達哉, 野崎章仁, 林 安里, 熊田知浩, 日衛嶋郁子, 森未央子, 柴田 実
滋賀県立小児保健医療センター小児科
- O-105 当院におけるミトコンドリア病に対するビルビン酸ナトリウム療法の経過
○根岸 豊, 堀いくみ, 服部文子, 安藤直樹, 伊藤哲哉, 齋藤伸治
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野
- O-106 慢性進行性外眼筋麻痺, Kearns-Sayre 症候群に対するビルビン酸ナトリウム療法の経験
○小林良行, 藤井裕士, 石川暢恒
広島大学病院小児科
- O-107 ミトコンドリア病 3 例に対するビルビン酸療法の短期効果
○田島大輔, 松尾宗明, 一ノ瀬文男
佐賀大学医学部小児科
- 14:25~15:25 一般演題 (口演) 代謝性疾患 2 (S272)
- 座長 田中あけみ (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)
清水敦一 (東邦大学医療センター大橋病院小児科)
- O-108 ミオクロニー重積状態に対して levetiracetam が有効であったムコ多糖症 3 A 型の一症例
○大城あずさ, 玉城邦人
琉球大学医学部小児科
- O-109 ムコ多糖症 II 型重症型の中核神経障害に対する効果と造血幹細胞移植のタイミングについて
○田中あけみ¹, 濱崎考史¹, 奥山虎之², 鈴木康之³, 酒井規夫⁴, 小須賀基道², 新實理子⁴, 石毛美香⁵, 麦島秀雄⁵
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 国立成育医療研究センター², 岐阜大学医学教育開発研究センター³, 大阪大学大学院医学研究科小児科学⁴, 日本医科大学小児科⁵
- O-110 Iduronate 2-sulfatase knock-out mouse の神経細胞障害とオートファジー
○田中あけみ
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学
- O-111 全ゲノムエクソン配列解析が診断に有用であった未診断若年型 GM1 ガングリオシドーシス
○武内俊樹¹, 小崎健次郎², 高橋孝雄¹
慶應義塾大学医学部小児科学教室¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター²
- O-112 GM1-ガングリオシドーシスに対するシャペロン効果の機能解析
○難波栄二^{1,2}, 檜垣克美¹, 足立香織¹, 大野耕策³, 鈴木義之⁴
鳥取大学生命機能研究支援センター¹, 鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター², 山陰労災病院³, 東京都医学総合研究所⁴
- O-113 エクソーム解析により確定診断したムコリポドーシス IV 型の 1 例: 臨床経過と病理所見
○西條晴美¹, 江添隆範¹, 才津浩智², 林 雅晴³, 倉田清子¹
東京都立東大和療育センター小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学², 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野³
- 15:25~16:25 一般演題 (口演) 自閉症スペクトラム障害 1 (S274)
- 座長 難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子診療科)
永田浩一 (愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部)
- O-114 SHANK3 遺伝子変異を同定した Rett 症候群
○原 宗嗣^{1,2}, 山下裕史朗², 松石豊次郎²
聖マリア病院母子総合医療センター新生児科¹, 久留米大学医学部小児科²

- O-115 自閉症スペクトラム, 注意欠陥多動性障害の脳波に基づく薬物治療の検討**
 ○中川栄二^{1,2}, 仲村貞郎¹, 安村 明², 稲垣真澄²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部²
- O-116 抗プリン受容体拮抗薬による自閉症の新たな治療—自閉症モデルマウスを用いた知見**
 ○中山智博^{1,2}, 岩崎信明¹
 茨城県立医療大学付属病院小児科¹, カリフォルニア大学サンディエゴ校ミトコンドリアおよび代謝病センター²
- O-117 広汎性発達障害 (PDD) 14 才男児にみられた鏡像運動の病態について**
 ○久保田雅也, 柏井洋文, 寺嶋 宙, 柴田明子, 山本真梨子, 渡辺 優
 国立成育医療研究センター神経内科
- O-118 自閉性障害原因遺伝子変異と小胞体ストレスの関与**
 ○小島華林¹, 神保恵理子¹, 松本 歩¹, 楊 志亮¹, 山形崇倫¹, 桃井 隆², 桃井真里子^{1,3}
 自治医科大学医学部小児科¹, 国際医療福祉大学基礎医学研究センター², 国際医療福祉大学³
- O-119 メラトニン小児使用例に関する全国二次調査**
 ○福水道郎^{1,7}, 林 雅晴^{2,7}, 宮島 祐^{3,7}, 石崎朝世^{4,7}, 田中 肇^{5,7}, 神山 潤^{6,7}
 府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所², 東京医科大学小児科³, 発達協会王子クリニック⁴, 旭川肢体不自由児総合療育センター小児科⁵, 東京ベイ・浦安市川医療センター小児科⁶, 小児・メラトニンコンソーシアム⁷

16:25~17:25 一般演題 (口演) 腫瘍・血管障害…………… (S276)

- 座長 伊予田邦昭 (福山こども発達支援センター)
 栗原まな (神奈川県総合リハビリテーション病院小児科)
- O-120 緩徐に進行する歩行障害を契機に診断に至った神経芽腫の 1 例**
 ○岡本賢治¹, 潮見祐樹¹, 松下浩子¹, 岡野創造¹, 黒田啓史¹, 家原知子²
 京都市立病院小児科¹, 京都府立医科大学小児科²
- O-121 Ganglioneuroblastoma・Ganglioneuroma による Opsoclonus myoclonus ataxia syndrome の 3 例**
 ○辻ひとみ¹, 川脇 壽¹, 服部有香¹, 堀野朝子¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 富和清隆², 松阪康弘³, 坂本博昭³
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 東大寺福祉療育病院小児科², 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児脳神経外科³
- O-122 小児期神経上皮系腫瘍における髄液 midkine 濃度**
 ○秋吉健介, 岡本知子, 末延聡一, 泉 達郎
 大分大学医学部小児科
- O-123 小児期発症した特発性脳梗塞 2 例**
 ○横山淳一
 東海大学医学部付属大磯病院小児科
- O-124 小児脳血管障害の長期予後**
 ○栗原まな, 吉橋 学, 藤田弘之, 飯野千恵子, 小萩沢利孝
 神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科
- O-125 脳腫瘍後の神経障害に対するリハビリテーション**
 ○栗原まな, 吉橋 学, 藤田弘之, 飯野千恵子, 小萩沢利孝
 神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科

第 1 日目 第 10 会場 [オークラクトシティホテル浜松 3F]

10:25~11:25 一般演題 (口演) 奇形・染色体異常 1…………… (S278)

- 座長 山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)
 和田敬仁 (京都大学医学研究科医療倫理学・遺伝医療学分野)
- O-126 メビウス症候群の臨床的特徴と予後**
 ○松井 潔^{1,2}, 田上幸治¹, 柴崎 淳², 山下純正³, 黒澤健司⁴, 黒田友紀子⁴, 山本敦子¹, 大橋育子⁴
 神奈川県立こども医療センター総合診療科¹, 神奈川県立こども医療センター新生児科², 神奈川県立こども医療センター神経内科³, 神奈川県立こども医療センター遺伝科⁴

O-127 Macrocephaly-capillary malformation の 3 例

○小笠原真志¹, 福村 忍¹, 高山留美子¹, 渡邊年秀¹, 香取さやか¹, 續 晶子¹, 須藤 章²
 北海道立子ども総合医療・療育センター¹, 市立札幌病院²

O-128 環状 X 染色体を伴う Turner 症候群の 1 例 知的障害発症機序について

○朝比奈美輝¹, 平出拓也¹, 石垣英俊¹, 松林朋子¹, 福田冬季子¹, 鶴井 聡², 緒方 勤¹
 浜松医科大学小児科¹, 聖隷沼津病院小児科²

O-129 X 染色体短腕に 2 つの重複を有した一例

○後藤昌英¹, 松本 歩¹, 神保恵理子¹, 森 雅人^{1,2}, 山形崇倫¹
 自治医科大学小児科¹, 松戸市立病院小児科²

O-130 SPTAN1 変異を認め、低髄鞘化、頭頂後頭部の嚢胞化を認めた 1 例

○乾 健彦¹, 佐藤 亮¹, 遠藤若葉¹, 才津浩智², 萩野谷和裕¹
 拓桃医療療育センター小児科¹, 横浜市立大学遺伝学²

O-131 重症 Angelman 症候群 2 例における欠失範囲と重症度の検討

○高橋勇弥^{1,3}, 斎藤義朗¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹,
 宮本雄策², 山本 仁², 山本俊至³
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科², 東京女子医科大学統合医科学研究科³

15:25~16:25 一般演題 (口演) 奇形・染色体異常 2..... (S280)

座長 岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科)

西村 陽 (京都府立医科大学大学院医学研究科小児発達医学, 京都第一赤十字病院
 新生児科)

O-132 Sotos 症候群のてんかん発作の検討

○鈴木基正¹, 大野敦子¹, 水野誠司², 糸見和也¹
 あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科²

O-133 当院における 18 トリソミー児の新生児期発症てんかんに関する検討

○田中雅大¹, 深沢達也¹, 久保田哲夫¹, 根来民子^{1,2}
 安城更生病院小児科¹, 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科²

O-134 生後 1 か月時にシリーズ性の epileptic spasm を来した Dandy-Walker 症候群の女児例

○白井謙太郎¹, 白久博史¹, 南風原明子¹, 山本敦子¹, 渡辺章充¹, 林 雅晴²
 土浦協同病院小児科¹, 東京都医学研脳発達・神経再生²

O-135 息止め発作に対して大孔減圧術が無効で気管切開を要したキアリ 2 型男児例の長期経過

○安西有紀, 大矢達男
 済生会横浜市東部病院重症心身障害児者施設サルビア

O-136 ダウン症児の早期療育の効果 いざり移動率の軽減について

○齋藤和代¹, 渡邊幸恵²
 横浜市総合リハビリテーションセンター発達神経内科¹, 横浜市戸塚地域療育センター²

O-137 塩酸ドネペジルが著効した急激退行のダウン症候群の 14 歳女児例

○多田春香, 老谷嘉樹, 鈴木恵子, 上田 哲, 梅津亮二, 加藤文代, 飯村淳子, 杉原茂孝
 東京女子医科大学東医療センター小児科

16:25~17:25 一般演題 (口演) 発達障害検査..... (S282)

座長 作田亮一 (獨協医科大学越谷病院小児科・子どものこころ診療センター)

横山浩之 (山形大学医学部看護学科臨床看護学講座)

O-138 極低出生体重児における共同注意行動の発達とその評価法の検討—チェックリストを用いたビデオ映像の観察による評価—

○山岡紀子^{1,2}, 川崎絵里香^{2,3}, 中塚志麻¹, 滝口哲也⁴, 中井 靖⁵, 高田 哲¹
 神戸大学大学院保健学研究科¹, 神戸常盤大学短期大学部², 神戸常盤大学保健科学部³, 神戸大学
 都市安全研究センター⁴, 川崎医療短期大学医療保育科⁵

O-139 デジタル健診課題を用いた乳幼児期における知覚認知機能の評価とその発達の变化についての検討

○小西行彦^{1,2}, 西田智子², 日下 隆¹, 伊藤 進¹
 香川大学医学部小児科¹, 香川大学教育学部特別支援教育²

O-140 視空間認知障害の神経心理学的検査法における小児標準データの作成を目指して

○中村みほ¹, 村松友佳子^{1,2}, 平井真洋³, 倉橋直子^{1,4}
 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所機能発達学部¹, 名古屋大学医学部小児科², 自治医科大学
 学先端医療技術開発センター³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁴

- O-141 包括的領域別読み能力検査 (CARD) の妥当性 第 1 報 一下位検査とデコーディングとの関連一**
 ○奥村智人¹, 川崎聡大², 中西 誠³, 三浦朋子⁴, 水田めくみ¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 宇野正章⁴, 若宮英司⁵, 玉井 浩^{1,6}
 大阪医科大学 LD センター¹, 富山大学人間発達科学部², 関西大学大学院心理学研究科³, パームこどもクリニック⁴, 藍野大学医療保健学部⁵, 大阪医科大学小児科⁶
- O-142 包括的領域別読み能力検査 (CARD) の妥当性 第 2 報 一下位検査と語彙力との関連一**
 ○水田めくみ¹, 奥村智人¹, 川崎聡大², 中西 誠³, 三浦朋子⁴, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 宇野正章⁴, 若宮英司⁵, 玉井 浩^{1,6}
 大阪医科大学 LD センター¹, 富山大学人間発達科学部², 関西大学大学院心理学研究科³, パームこどもクリニック⁴, 藍野大学医療保健学部⁵, 大阪医科大学小児科学教室⁶
- O-143 包括的領域別読み能力検査 (CARD) の妥当性 第 3 報 一認知機能ならびに各言語ドメインによる学習到達度の共分散構造の検討一**
 ○川崎聡大¹, 奥村智人², 中西 誠^{2,3}, 荻布優子⁴, 水田めくみ², 若宮英司⁵, 玉井 浩^{2,6}
 富山大学人間発達科学部発達教育学科¹, 大阪医科大学 LD センター², 関西大学大学院心理学研究科³, 北海道大学大学院教育学院⁴, 藍野大学医療保健学部⁵, 大阪医科大学小児科⁶

第1日目 ポスター会場〔アクティシティ浜松〕

- 17:25~17:50 **奇形・染色体 1** (S335)
 座長 梶井直文(江別市立病院)
- P-001 **Galloway-Mowat 症候群の3例**
 ○山本敦子¹, 白久博史¹, 白井謙太郎¹, 南風原明子¹, 渡辺章充¹, 高橋孝治², 鹿島田彩子², 菅原祐之²
 土浦協同病院小児科¹, 東京医科歯科大学小児科²
- P-002 **Hirschsprung 病類縁疾患と巣状糸球体硬化症をもつ表出性言語障害の6歳女児の1例**
 ○舞鶴賀奈子, 松本貴子, 毎原敏郎
 兵庫県立塚口病院小児科
- P-003 **18トリソミーにおけるてんかん性無呼吸の臨床的特徴**
 ○竹中 暁¹, 佐藤敦志^{4,5}, 有賀裕道¹, 柿本 優¹, 生井良幸¹, 高橋長久², 太田さやか², 水野葉子², 下田木の実², 岩崎博之², 三牧正和², 岡 明², 水口 雅³
 太田総合病院附属太田西ノ内病院小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科小児科², 東京大学大学院医学系研究科発達医科学³, NTT 東日本関東病院小児科⁴, 東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト⁵
- P-004 **Enlarged parietal foramina の1例**
 ○小橋孝介^{1,2}, 津留智彦², 森 雅人², 奥村恵子²
 鴨川市立国保病院小児科¹, 国保松戸市立病院小児医療センター小児科²
- P-005 **Goldenhar 症候群を合併した Pontine Tegmental Cap Dysplasia の1例**
 ○原口康平, チョンビンフィー, 松倉 幹, 緒方玲奈, 吉良龍太郎
 福岡市立こども病院小児神経科
- 17:50~18:15 **奇形・染色体 2** (S336)
 座長 柳川敏彦(和歌山県立医科大学保健看護学部保健看護学科)
- P-006 **大脳白質病変を伴った Jacobsen 症候群の1例**
 ○河野 修, 坂井佐千子, 植竹公明
 帯広厚生病院小児科
- P-007 **Gómez-López-Hernández 症候群の一例**
 ○小林 悠, 川島英志, 眞柄慎一, 赤坂紀幸, 遠山 潤
 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科
- P-008 **線状皮脂腺母斑症候群に West 症候群を合併し、水頭症をきたしシャント造設に至った1症例**
 ○高橋長久¹, 太田さやか¹, 水野葉子¹, 下田木の実¹, 岩崎博之¹, 三牧正和¹, 水口 雅², 岡 明¹
 東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学教室²
- P-009 **16q12.2-21 微細欠失により精神運動発達遅滞・焦点性てんかん・特徴的所見を示した1男児例**
 ○山崎佐和子¹, 池野観寿¹, 遠山 潤², 下島圭子³, 山本俊至³
 新潟市民病院小児科¹, 西新潟中央病院小児科², 東京女子医科大学統合医科学研究所³
- P-010 **Rett 症候群との鑑別を要した Pitt-Hopkins 症候群の女児例**
 ○本島敏乃¹, 大橋博文², 藤井克則³
 本島総合病院小児科¹, 県立埼玉小児医療センター遺伝科², 千葉大学大学院大学医学研究院小児病態学³
- 18:15~18:35 **奇形・染色体 3** (S338)
 座長 荻野竜也(中国学園大学子ども学部子ども学科)
- P-011 **Weaver 症候群の女児例に対する EZH2 シークエンスおよびマイクロアレイ CGH 解析**
 ○酒井康成¹, 井原健二^{1,2}, 石崎義人¹, 實藤雅文², 松下悠紀², 原 寿郎²
 九州大学病院・小児科¹, 九州大学大学院医学研究院成長発達医学²
- P-012 **10番染色体短腕部分欠失の2症例**
 ○太田さやか¹, 水野葉子¹, 下田木の実¹, 高橋長久¹, 岩崎博之¹, 三牧正和¹, 岡 明¹, 水口 雅²
 東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学医学部発達医科学²
- P-013 **橋小脳低形成を伴った性分化異常症の1例**
 ○緒方朋実, 村松一洋, 澤浦法子, 迫 恭子, 牧岡西紀, 富田(釜菴)桂子, 本島敏乃, 荒川浩一
 群馬大学大学院医学系研究科小児科

- P-014 急性壊死性脳症を発症した Microcephalic Osteodysplastic Primordial Dwarfism I 型 (MOPD1) の 1 例**
 ○富樫紀子, 及川善嗣, 渡邊周永
 宮城県立こども病院神経科

18:35~19:00 末梢神経 (S339)

- 座長 大谷宜伸 (熊本市子ども発達支援センター)**
- P-015 SH3TC2 遺伝子の新規変異を認めた Charcot-Marie-Tooth 病 4C 型の 1 女児例**
 ○市川和志, 沼沢慶太
 小田原市立病院小児科
- P-016 病日 2 で人工呼吸管理を要した小児劇症型 Guillain-Barré 症候群の 1 例**
 ○竹下健一¹, 高木敦子¹, 水落弘美¹, 内川英紀¹, 三澤園子², 池田憲二³, 藤井克則¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 千葉大学大学院医学研究院神経内科学², さんむ医療センター小児科³
- P-017 Fisher 症候群における内眼筋麻痺の検討**
 ○飯田由紀子¹, 水落弘美², 内川英紀², 藤井克則²
 千葉東病院小児科¹, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学²
- P-018 運動機能評価による治療効果判定が有効であった慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIPD) の 9 歳男児例**
 ○渡邊 聖¹, 西里ちづる¹, 島津智之¹, 上野弘恵¹, 小牧宏文²
 国立病院機構熊本再春荘病院¹, 国立精神・神経医療研究センター²
- P-019 再発を繰り返す慢性炎症性脱髄性多発神経炎に対して FK506 が有効であった 1 女児例**
 ○栗屋智就, 井手見名子, 齊藤景子, 吉田健司, 加藤竹雄
 京都大学医学部附属病院小児科

17:25~17:50 注意欠如・多動性障害 1 (S341)

- 座長 真田 敏 (岡山大学大学院教育学研究科発達支援学)**
- P-020 注意欠陥/多動性障害と広汎性発達障害の子どもにみられる行動や情緒の特徴：年齢による検討**
 ○諸岡輝子¹, 加戸陽子², 竹内章人³, 花房 香³, 岡 牧郎³, 荻野竜也⁴, 吉永治美³, 小林勝弘³
 岡山大学病院医療技術部検査部門¹, 関西大学文学部心理学専修², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学³, 中国学園大学子ども学部子ども学科⁴
- P-021 ATMT を用いた ADHD 児における視空間性ワーキングメモリの定量評価**
 ○安村 明¹, 小久保奈緒美¹, 高橋純一¹, 福田亜矢子¹, 仲村貞郎², 中川栄二², 稲垣真澄¹
 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²
- P-022 注意欠陥/多動性障害における反応特性の発達的変化の検討**
 ○津島靖子¹, 真田 敏², 柳原正文², 大野 繁³, 岡 牧郎⁴, 荻野竜也⁵
 広島国際大学総合リハビリテーション学部¹, 岡山大学大学院教育学研究科発達支援学², 大野はぐくみクリニック³, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学⁴, 中国学園大学子ども学部子ども学科⁵
- P-023 AD/HD 児における語の流暢性課題遂行中の前頭前野ヘモグロビン濃度の発達変化**
 ○反頭智子^{1,2}, 加賀佳美¹, 石井佐綾香¹, 青柳閣郎¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男³
 山梨大学医学部小児科¹, 独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³
- P-024 注意欠陥/多動性障害 (AD/HD) 児における apolipoprotein E (apo E) isoform の関与について**
 ○東川幸嗣, 堀内 剛, 田中啓子
 清恵会病院小児科

17:50~18:15 注意欠如・多動性障害 2 (S343)

- 座長 岩崎裕治 (東京都立東部療育センター)**
- P-025 ADHD/ADD 児のワーキングメモリに対するトレーニングソフトを用いた支援の有効性の検討**
 ○本田真美^{1,2}, 市橋いずみ^{1,3}, 橋本圭司², 橋本素子¹, 根本芳子^{1,3}, 山本明子¹, 稲見 誠^{1,3}
 ニコこどもクリニック¹, 国立成育医療研究センター², いなみ小児科³
- P-026 ADHD 治療に対する「子どもの日常生活チェックリスト (Questionnaire Children with Difficulties: QCD)」の反応性の検討**
 ○後藤太郎¹, 多喜田保志², 今川英之¹
 日本イーライリリー株式会社医学科学本部¹, 日本イーライリリー株式会社研究開発本部²

P-027 WISC-III を用いた ADHD の薬物治療効果の検討

○河野美奈, 赤池洋人, 加藤 敦, 近藤英輔
川崎医科大学小児科

P-028 アトモキセチン長期継続 (1 年以上) 例の臨床的検討

○遠藤雄策¹, 平野浩一¹, 鈴木輝彦²

浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科¹, 国立病院機構天竜病院小児科²

P-029 日本人健康成人におけるアトモキセチン内用液の薬物動態プロファイル, 安全性及び飲みやすさに関する評価

○中野真子^{1,2}, 里井洋一¹, Jennifer Witcher², 後藤太郎¹

日本イーライリリー株式会社¹, Eli Lilly and Company, Indianapolis, United States²

18:15~18:45 発達障害検査・精神障害 (S344)

座長 口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津小児科)

P-030 Word Fluency Test および Trail Making Test の発達変化に関する検討

○中野広輔¹, 荻野竜也², 渡邊聖子³, 岡 牧郎⁴, 大塚頌子⁵

松山赤十字病院小児科¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科², 長崎大学病院小児科³, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)⁴, 旭川荘療育・医療センター⁵

P-031 発達障害をともなう子どもにおける実行機能と知能検査成績との関連

○加戸陽子¹, 眞田 敏², 荻野竜也³, 大野 繁⁴, 渡邊聖子⁵, 中野広輔⁶, 諸岡輝子⁷, 岡 牧郎⁷, 小林勝弘⁷

関西大学文学部心理学専修¹, 岡山大学教育学研究科発達支援学専攻², 中国学園大学子ども学部子ども学科³, 大野はぐくみクリニック⁴, 長崎大学病院小児科⁵, 松山赤十字病院小児科⁶, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学⁷

P-032 小児摂食障害の近赤外線分光法を用いた自己顔視覚刺激に対する反応の検討: ボディーイメージの障害との関連について

○井上 建^{1,2}, 作田由衣子³, 島村圭一^{1,2}, 市川寛子^{3,7}, 小林 恵^{4,7}, 大谷良子², 山口真美⁵, 金沢 創⁶, 作田亮一²

獨協医科大学越谷病院小児科¹, 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター², 中央大学研究開発機構³, 生理学研究所統合生理研究系感覚運動調節部門⁴, 中央大学文学部⁵, 日本女子大学人間社会学部心理学科⁶, 日本学術振興会⁷

P-033 思春期発症の摂食障害重症例への早期中心静脈栄養療法の検討

○田村 彰, 南 弘一, 津田祐子

和歌山県立医科大学小児科

P-034 福祉・行政との連携により解決したゴミ屋敷に住んでいた不登校の一例

○小沢 浩¹, 野村芳子¹, 雨宮 馨¹, 相崎貢一¹, 小沢愉理¹, 井上祐紀²

島田療育センターはちおうじ神経小児科¹, 島田療育センターはちおうじ児童精神科²

P-035 独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院における被災地支援の取り組み

○岩垂喜貴

独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科

18:45~19:00 虐待 (S346)

座長 丸山幸一 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科)

P-036 経管栄養の中止を希望された両親に対し, 医療ネグレクトと判断された生命予後不良と考えられる染色体異常症の 1 例

○山田桂太郎¹, 水野誠司², 大萱俊介¹, 倉橋直子¹, 梅村紋子¹, 丸山幸一¹

愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科²

P-037 虐待による頭部外傷で, 皮質白質剪断を生じた新生児 2 例

○井田久仁子¹, 村松一洋², 澤浦法子², 河野美幸², 荒川浩一²

群馬県済生会前橋病院¹, 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野²

P-038 眼底出血の重症度と神経学的予後との関連

○渡邊健二, 中川俊輔, 四俣一幸

鹿児島市立病院小児科

17:25~17:45 発達障害 1 (S347)

座長 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)

P-039 足底装具を処方した歩行障害児の年齢に伴う歩容の検討

○山内裕子^{1,2}, 本田真美¹, 饗場真紀子³, 橋本主司¹国立成育医療研究センター発達評価センター¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 国立成育医療研究センター総合診療部³

P-040 発達障害の同胞例における非線形解析を用いた脳波研究

○川谷正男¹, 高橋哲也², 巨田元礼¹, 米谷 博¹, 大嶋勇成¹, 友田明美³, 平谷美智夫⁴福井大学医学部小児科¹, 福井大学医学部神経科精神科², 福井大学子どものこころの発達研究センター³, 平谷こども発達クリニック⁴

P-041 高次脳機能障害の可能性を考えて経過観察を行った幼児 3 例

○大見 剛, 平安京美, 大城 聡, 仲田行克

沖縄整肢療護園小児科

P-042 知的障害者スポーツ選手登録目的で当院にて知能検査を行った症例の検討

○山本寿子^{1,2,3}, 宮本雄策^{1,2}, 足立美穂^{1,2}, 生駒雅昭^{1,2}, 稲垣真澄³, 山本 仁²川崎市立多摩病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科², 国立精神神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部³

17:45~18:10 発達障害 2 (S349)

座長 奈良隆寛 (宮城県立こども病院リハビリテーション科)

P-043 子どもの日常生活チェックリスト (QCD) の発達障害児全般の診療応用に関する検討

○荒木章子, 岡山亜貴恵, 山本志保, 高橋 悟, 東 寛

旭川医科大学医学部小児科

P-044 発達障害児の就学後の適応に関する検討

○後藤晴美, 後藤珠子, 藤野玲子

さいたま市総合療育センターひまわり学園小児科

P-045 読字困難と考えられた児に対する読字指導効果の検討

○絹笠英世¹, 中山絵美子², 飯島奈生子², 篠崎聖子², 米津圭佑²筑波学園病院小児科¹, 筑波学園病院リハビリテーション科²

P-046 教育学部に勤務する医師の行っている障害児・者支援の内容とその満足度

○郷間英世

京都教育大学教育学部発達障害学科

P-047 パソコン・携帯電話利用の実態調査

○杉浦信子¹, 小沢 浩², 相崎貢一², 雨宮 馨², 井上祐紀¹, 小沢愉理², 野村芳子², 木実谷哲史³島田療育センターはちおうじ児童精神科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 島田療育センター小児科³

18:10~18:30 筋 1 (S350)

座長 宍倉啓子 (「訪問の家」朋診療所)

P-048 皮質形成異常を有し肥大型心筋症を続発した致死性重症型先天性ミオパチーの孤発女児例

○久松聖人^{1,2}, 今高城治², 斎藤祥子^{1,2}, 渡部功之^{1,2}, 鈴木 宏^{1,2}, 桑島成子³, 村上信行⁴,西野一三⁵, 埜中征哉⁵, 有阪 治²獨協医科大学総合周産期母子医療センター新生児部門¹, 獨協医科大学医学部小児科², 獨協医科大学医学部放射線科³, 獨協医科大学越谷病院小児科⁴, 国立精神神経医療研究センター⁵

P-049 ネマリンミオパチーにおける下肢骨格筋画像の筋選択性の特徴

○大久保真理子¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 林由起子²,西野一三³, 佐々木征行¹国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 東京医科大学神経生理学講座², 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部³

P-050 肥大型心筋症を合併した ACTA1 遺伝子変異をもつネマリンミオパチーの一例

○小出彩香¹, 小牧宏文², 西野一三³, 林由起子^{3,4}, 久保田雅也⁵東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 国立精神・神経医療センター病院小児神経科², 国立精神・神経医療センター神経研究所疾病研究第一部³, 東京医科大学神経生理学⁴, 国立成育医療センター神経内科⁵

- P-051 独歩を獲得した乳児重症型ミオチューブラーミオパチーの四肢骨格筋 MRI 所見**
 ○七字美延^{1,2}, 石垣景子¹, 村上てるみ¹, 佐藤孝俊¹, 梶野幸子¹, 大澤真木子¹, 永田 智¹, 齋藤加代子^{1,2}
 東京女子医科大学病院小児科¹, 東京女子医科大学病院附属遺伝子医療センター²

18:30~18:55 筋 2 (S352)

- 座長 常石秀市 (医療福祉センターきすな小児科)
- P-052 中心被蓋路病変を呈した中心核ミオパチーの 4 歳男児例**
 ○内川英紀¹, 小牧宏文², 高木敦子¹, 水落弘美¹, 須山麻衣子¹, 藤井克則¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 国立精神神経医療研究センター²
- P-053 Ryanodine receptor1 遺伝子の新規変異 p.Gly1496Alafs による中心核ミオパチーの 1 家族例**
 ○里 龍晴¹, 原口康平¹, 林田拓也¹, 森内浩幸¹, 林由起子^{2,3}, 西野一三²
 長崎大学病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部², 東京医科大学神経生理学講座³
- P-054 日常的に筋力低下を認める Andersen-Tawil 症候群の家族例**
 ○新井ひでえ^{1,2}, 青天目信³, 小牧宏文⁴, 西野一三⁵, 大矢 寧⁶, 迫田俊一⁷
 国立病院機構千葉医療センター小児科¹, 千葉県こども病院神経内科², 大阪大学医学部小児科³, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁴, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁵, 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科⁶, 鹿児島大学病院神経内科⁷
- P-055 カルバマゼピンが奏功した先天性ミオトニアの一例**
 ○山内翔子¹, 稲葉雄二¹, 本林光雄¹, 新美妙美¹, 柴 直子¹, 西村貴文¹, 福山哲広²
 信州大学医学部附属病院小児科¹, 長野県立こども病院神経小児科²
- P-056 次世代シーケンサーを用いたターゲット遺伝子解析により RAPSN 遺伝子に複合ヘテロ変異を同定した先天性筋無力症候群の 1 例**
 ○北村裕梨^{1,2,3}, 古庄知己⁴, 小林桂子⁵, 西野一三⁶, 埜中征哉⁶, 小島依子⁶, 齋藤加代子^{1,2}
 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 東京女子医科大学大学院先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野², 東京女子医科大学先端生命医科学研究所グローバルシーオーイー³, 信州大学医学部附属病院遺伝子診療部⁴, 信濃医療福祉センター小児科⁵, 国立精神神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁶

17:25~17:50 てんかん・けいれん 1 (S353)

- 座長 秋山倫之 (岡山大学病院小児神経科)
- P-057 レベチラセタムを投与した 4p-症候群の 3 症例**
 ○菅原祐之¹, 保立麻美子¹, 高橋孝治¹, 鹿島田彩子¹, 金子節子¹, 馬場信平¹, 森山剣光¹, 中島啓介¹, 荒木 聡²
 東京医科歯科大学医学部小児科¹, 都立駒込病院小児科²
- P-058 てんかん性スパズムを呈しケトン食療法を施行した 18 トリソミーの 6 歳女児例**
 ○鹿島田彩子¹, 高橋孝治¹, 保立麻美子¹, 金子節子¹, 鈴木智典², 平柳直人², 下平雅之², 菅原祐之¹
 東京医科歯科大学医学部附属病院小児科¹, 川口市立医療センター²
- P-059 環状 20 番染色体てんかん症候群の小児例でみられた発作症状の臨床脳波学的検討**
 ○池田浩子¹, 今井克美¹, 池田 仁¹, 植田佑樹¹, 大谷英之¹, 重松秀夫¹, 東本和紀¹, 那須裕郷¹, 山口解冬¹, 吉富晋作¹, 渡邊陽和¹, 高橋幸利¹, 井上有史¹, 池上真理子²
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 東海大学八王子病院小児科²
- P-060 ダウン症候群に合併したてんかんの検討**
 ○木村貞美¹, 利川寛実¹, 木水友一¹, 池田 妙¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子¹, 岡本伸彦², 鈴木保宏¹
 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科²
- P-061 ACTH 療法が精神運動発達の促進に有効であった Aicardi 症候群 2 例の検討**
 ○西川愛子, 伊藤 進, 平野嘉子, 小国弘量, 永田 智
 東京女子医科大学小児科

17:50~18:15 てんかん・けいれん 2 (S355)

- 座長 糸見和也 (あいち小児保健医療総合センター神経科)
- P-062 SCN1A の変異を認めたてんかん性脳症の 1 男児例**
 ○竹下美佳¹, 山中 岳¹, 森地振一郎¹, 石田 悠¹, 小穴信吾¹, 宮島 祐¹, 河島尚志¹, 才津浩智², 加藤光広³
 東京医科大学小児科¹, 横浜市立大学遺伝学², 山形大学医学部小児科³

- P-063** **GLUT1 欠損症と考えられていたがエクソーム解析により乳児悪性焦点移動性部分発作と診断された一例**
 ○緒方怜奈¹, 松倉 幹¹, 原口康平¹, チョンピンフィー¹, 吉良龍太郎¹, 渡邊順子², 才津浩智³
 福岡市立こども病院小児神経科¹, 久留米大学医学部小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- P-064** **当院における痙攣重積症例の検討**
 ○二川弘司, 新井法子, 中島園子, 玉木久光, 伊藤昌弘
 東京都立墨東病院小児科
- P-065** **DZP 坐薬使用により入院後の痙攣再発が予防できるかについての検討**
 ○近藤英輔, 赤池洋人, 堀谷美奈, 加藤 敦
 川崎医科大学小児科
- P-066** **救急痙攣患者における抗ヒスタミン薬内服頻度の経年的検討**
 ○牧田英士, 杉山洋平, 羽鳥誉之, 市橋 光
 自治医科大学附属さいたま医療センター小児科

18:15~18:40 **てんかん・けいれん 3** (S357)
 座長 今村 淳 (岐阜県総合医療センター小児科)

- P-067** **Febrile myoclonus の 1 例**
 ○橋本修二¹, 足利朋子^{1,2}, 山本寿子^{2,3}, 足立美穂^{2,3}, 新井奈津子², 宮本雄策^{2,3}, 宇田川紀子², 村上浩史², 瀧 正志^{1,2}, 山本 仁²
 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学病院小児科², 川崎市立多摩病院小児科³
- P-068** **軽症胃腸炎関連痙攣と代謝因子の解析**
 ○白戸由理^{1,2}, 原田聡子¹, 山浦美季¹, 平井 希¹, 渡邊肇子¹, 武藤順子¹, 林 北見^{1,2}
 東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科²
- P-069** **小児初回無熱性発作と再発発作との臨床像の比較**
 ○井上道雄, 佐竹恵理子, 高見勇一
 姫路赤十字病院小児科
- P-070** **当院で経験したてんかん性無呼吸の検討**
 ○小俣 卓, 塩浜 直, 牟田香織, 児玉一男
 千葉県こども病院神経科
- P-071** **初診時に良性乳児痙攣が疑われた 35 症例の予後**
 ○佐竹恵理子, 井上道雄, 高見勇一
 姫路赤十字病院小児科

18:40~19:05 **てんかん・けいれん 4** (S358)
 座長 椎原 隆 (群馬県立小児医療センター神経内科)

- P-072** **乳幼児部分てんかんの発作時脳波**
 ○松本貴子, 舞鶴賀奈子, 大星大観, 毎原敏郎
 兵庫県立塚口病院小児科
- P-073** **中心・側頭部に棘波をもつ良性小児てんかんにおける dipole spikes と総発作回数の検討**
 ○岡崎哲也^{1,2}, 川上康彦^{1,2}, 藤田武久¹, 藤野 修¹, 伊藤保彦¹
 日本医科大学小児科¹, 日本医科大学多摩永山病院小児科²
- P-074** **West 症候群の病因別治療成績の後方視的検討**
 ○青天目信^{1,2}, 岸本加奈子^{1,2}, 谷河純平^{1,2}, 山崎早苗^{1,2}, 新寶理子^{1,2}, 中野さやか^{1,2}, 岩谷祥子^{1,2}, 富永康仁^{1,2,3}, 下野九理子^{1,2,3}, 沖永剛志^{1,2,4}, 酒井規夫¹, 永井利三郎^{2,5}, 大藺恵一^{1,2}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究所³, ベルランド総合病院小児科⁴, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁵
- P-075** **West 症候群における治療と神経予後**
 ○島崎真希子¹, 宮田世羽¹, 小松祐美子¹, 中村由紀子¹, 中野瑛子², 松岡雄一郎², 岡 明³
 杏林大学医学部付属病院小児科¹, 稲城市立病院小児科², 東京大学医学部小児科³
- P-076** **1 歳以降に Epileptic spasms を発症した症例の治療経過**
 ○福井美保¹, 島川修一¹, 田辺卓也², 柏木 充³, 野村昇平¹, 峰 淳史⁴, 玉井 浩¹
 大阪医科大学小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経内科², 市立枚方市民病院小児科³, 兵庫医科大学小児科⁴

17:25~17:50 てんかん・けいれん 5 (S360)

座長 沖 潤一 (旭川厚生病院小児科)

P-077 Late-onset epileptic spasm の臨床経過と長期予後の検討

○岩谷祥子^{1,4}, 中野さやか^{1,4}, 岸本加奈子^{1,4}, 谷河純平^{1,4}, 山崎早苗^{1,4}, 富永康仁^{1,2,4}, 青天目信^{1,4}, 下野九理子^{1,2,4}, 沖永剛志^{1,4,5}, 永井利三郎^{1,3,4}, 大藺恵一^{1,4}大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科³, 大阪大学附属病院てんかんセンター⁴, ベルランド病院小児科⁵

P-078 ACTH 療法中の West 症候群患者における心臓超音波検査による心機能の検討

○生田陽二¹, 三浦 大², 後藤知英^{1,3}, 荒井洋実¹, 坂口友理¹, 富田 直¹, 三山佐保子¹東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター循環器科², 神奈川県立こども医療センター神経内科³

P-079 West 症候群の ACTH 療法中に心臓腫瘍の増大をきたした結節性硬化症の一例

○中村涼子, 安永由紀恵, 渡辺恭子

国立病院機構小倉医療センター小児科

P-080 部分発作における topiramate によるけいれん発作の頻度減少と血中濃度の相関

○土岐 平^{1,2}, 岩崎俊之¹, 野々田豊¹北里大学医学部小児科¹, 社会保険相模野病院²

P-081 けいれん発作群発に Levetiracetam が著効したミトコンドリア異常症の 1 女児例

○升田真依, 須山麻衣子, 高木敦子, 水落弘美, 内川英紀, 藤井克則

千葉大学大学院医学研究院小児病態学

17:50~18:15 脳炎・脳症 1 (S362)

座長 松林朋子 (浜松医科大学小児科)

P-082 エンテロウイルス 71 脳幹脳炎に罹患した新生児の発達経過

○白久博史, 白井謙太郎, 南風原明子, 山本敦子, 渡辺章充

総合病院土浦協同病院小児科

P-083 ムンプスウイルス感染に合併した急性脳症の 2 例

○遠藤あゆみ, 洲上達夫, 伊藤公嗣, 木村かほり, 桃木恵美子, 河村由生, 石井和嘉子, 荒川千賀子,

小平隆太郎, 藤田之彦, 高橋昌里

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

P-084 重度の後遺症を残したムンプス脳症の一例

○長濱明日香, 岩松浩子

大分県立病院小児科

P-085 ロタウイルス関連の急性脳症を発症した Bartter 症候群の一例

○児玉一男^{1,2}, 牟田香織¹, 塩濱 直¹, 小俣 卓¹, 中野栄治², 久野正貴²千葉県こども病院神経内科¹, 千葉県こども病院腎臓科²

P-086 可逆性脳梁膨大部病変を伴う軽症脳炎・脳症 (MERS) に小脳炎を合併し, 小脳症状が遷延した 1 例

○石渡久子¹, 神山 潤¹, 中島啓介^{1,2}, 奥村彰久^{1,3}東京ベイ・浦安市川医療センター小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野², 順天堂大学医学部小児科³

18:15~18:40 脳炎・脳症 2 (S363)

座長 舟塚 真 (東京女子医科大学小児科)

P-087 発病初期に可逆性脳梁膨大部病変を認めた頻回難治部分発作重責型急性脳炎 (AERRPS) の一例

○松村 渉¹, 上田理誉², 玉崎章子², 前垣義弘²鳥取県立厚生病院小児科¹, 鳥取大学脳神経小児科²

P-088 多様な臨床症状を呈した可逆性脳梁膨大部病変を認めた 2 症例

○畑中マリ¹, 柏木 充², 田辺卓也³, 玉井 浩⁴洛和会音羽病院小児科¹, 市立枚方市民病院小児科², 田辺こどもクリニック³, 大阪医科大学附属病院小児科⁴

P-089 異なる原因により発症した MERS の 3 姉妹例

○保科隆男, 藤田賢司, 今村卓司

PL 病院小児科

P-090 有熱時けいれん重積 22 例における発作後の紡錘波の検討—二相性脳症発症予測の観点から—

○松村美咲¹, 美根 潤¹, 堀江昭好¹, 岸 和子¹, 山口清次¹, 横山桃子², 小山千草³
鳥根大学医学部小児科¹, 大田市立病院小児科², 益田赤十字病院小児科³

P-091 急性脳症と熱性けいれん重積の鑑別における脳波 power spectrum 解析

○大栗聖由¹, 福田千佐子², 豊島光雄³, 瀬島 齊⁴, 鳥巢浩幸⁵, 李 守永⁶, 前垣義弘¹
鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座², 鹿児島大学医学部小児科³, 松江赤十字病院小児科⁴, 九州歯科大学⁵, 九州大学病院小児科⁶

18:40~19:05 脳炎・脳症 3..... (S365)

座長 亀井 淳 (岩手医科大学小児科)

P-092 当院における AESD 発症予防療法としての早期ビタミン B1/B6 および L カルニチン投与の効果

○柏井洋文¹, 山本真梨子¹, 渡邊 優, 柴田明子, 寺嶋 宙, 久保田雅也
国立成育医療研究センター神経内科

P-093 タクロリムスが痙攣コントロールに有効である難治頻回部分発作重積型急性脳炎の一例

○佐藤優子¹, 植松 貢¹, 沼田有里佳¹, 菊池敦生¹, 中山東城¹, 柿坂庸介¹, 小林朋子¹, 福與なおみ¹, 萩野谷和裕², 呉 繁夫¹
東北大学病院小児科¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児神経科²

P-094 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎 7 例の臨床的検討

○西倉紀子¹, 森宗孝夫¹, 吉岡誠一郎¹, 高野知行¹, 竹内義博¹, 高橋幸利²
滋賀医科大学小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²

P-095 RS ウイルス感染関連 NMDA 型 GluR 抗体陽性辺縁系脳炎の 1 例

○森山剣光^{1,2}, 杉原 進¹, 渡辺美緒¹, 椎原 隆¹, 高橋幸利²
群馬県立小児医療センター神経内科¹, 静岡てんかん・神経医療センター小児科²

P-096 複雑部分発作を頻回に認めた抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例

○白神浩史¹, 竹内章人¹, 田中恵子²
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター¹, 金沢医科大学神経内科²

17:25~17:50 画像 1..... (S367)

座長 森 雅人 (松戸市立病院小児医療センター小児科)

P-097 Septo-optic dysplasia における中枢病変の多様性

○塩浜 直¹, 高木敦子², 内川英紀², 牟田香織¹, 小俣 卓¹, 須山麻衣子², 藤井克則²
千葉県こども病院神経内科¹, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学²

P-098 MRI 上緩徐な髄鞘化の進行を認めた未報告 PLP1 遺伝子変異を伴う軽症 Pelizaeus-Merzbacher 病の一例

○椎原 隆¹, 渡辺美緒¹, 森山剣光¹, 鮫島希代子², 植松 貢³
群馬県立小児医療センター神経内科¹, 群馬県立小児医療センター遺伝科², 東北大学医学部小児科³

P-099 非造影灌流画像, ASL で最も鋭敏にとらえた MELAS の脳卒中様発作の一例

○奥田美津子¹, 佐藤睦美¹, 安西里恵¹, 高木真理子¹, 露崎 悠¹, 高野亨子^{1,2}, 井合瑞江¹, 小坂 仁^{1,3}, 山下純正¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座², 自治医科大学小児科学講座³

P-100 経時的に脳 MRI を記録した新生児期発症ミトコンドリア呼吸鎖異常症の 1 例

○石田 悠, 志村 優, 竹下美佳, 森地振一郎, 小穴信吾, 山中 岳, 宮島 祐, 河島尚志
東京医科大学小児科

P-101 小児期より特徴的な鉄沈着所見を呈する脳内鉄沈着神経変性症の 1 男児例

○遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 佐藤 亮¹, 涌澤圭介³, 田中総一郎^{1,2}, 萩野谷和裕^{1,2}
宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学医学部小児科², 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター³

17:50~18:20 画像 2..... (S368)

座長 斎藤義朗 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

P-102 頭部 MRI ASL (arterial spin labeling) 画像にて脳血流分布異常を認めた有熱時けいれん重積の 1 例

○平野恵子¹, 渡邊誠司²
磐田市立総合病院小児科¹, 静岡県立こども病院神経科²

- P-103 血漿交換療法を施行した多相性散在性脳脊髄炎(MDEM)が疑われる1例**
 ○江崎麻衣子¹, 瀬戸俊之^{1,2}, 藤田賢司^{1,3}, 山下加奈子¹, 服部妙香¹, 匹田典克¹, 新宅治夫¹
 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 市立柏原病院小児科², 医療法人宝生会 PL 病院小児科³
- P-104 二相性脳症における高いb値での拡散強調画像の臨床的意義**
 ○板村真司, 玉崎章子, 前垣義弘
 鳥取大学医学部脳神経小児科
- P-105 中枢神経症状を伴う川崎病の頭部MRIの検討**
 ○荻田佳織¹, 正田敏之¹, 佐々木大輔², 青柳勇人², 金子衣野¹, 仲本なつ恵³, 大場 洋⁴, 小林茂俊¹, 柳川幸重¹, 菊地 陽¹
 帝京大学医学部小児科¹, 帯広協会病院小児科², 目白大学保健医療学部³, 帝京大学医学部放射線科⁴
- P-106 3D FIESTA 法が診断に有用だった毛様類粘液性星細胞腫の1例**
 ○須山麻衣子¹, 高木敦子¹, 内川英紀¹, 落合秀匡¹, 横田 元³, 伊東大祐², 小林正芳², 村井尚之², 藤井克則¹
 千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 千葉大学大学院医学研究院脳神経外科学², 千葉大学大学院医学研究院画像診断・放射線腫瘍学³
- P-107 MMNI 標準脳と小児標準脳を用いた機能的MRI画像解析の比較**
 ○内山仁志¹, 谷中久和^{2,3}, 関あゆみ^{2,3}, 新井田孝裕¹, 小枝達也^{2,3}
 国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学¹, 鳥取大学地域学部地域教育学科², 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部³
- 18:20~18:55 神経変性疾患 (S370)**
 座長 岸 高正(広島記念病院小児科)
- P-108 中枢性睡眠時無呼吸を伴いNPPVを導入したRett症候群の1例**
 ○大野光洋^{1,2}, 玉崎章子¹, 上田理誉¹, 西村洋子¹, 前垣義弘¹, 戸川雅美²
 鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取県立中央病院²
- P-109 長期にわたり経過観察中のvanishing white matter diseaseの一例**
 ○八谷靖夫¹, 星野 愛², 神田祥子³, 内野俊平¹, 白井育子¹, 熊田聡子¹, 栗原榮二¹, 山本俊至⁴
 東京都立神経病院神経小児科¹, 東京大学大学院医学研究科発達医学², 青梅市立総合病院小児科³, 東京女子医科大学国際統合医学インスティテュート⁴
- P-110 TORCH症候群に酷似したAicardi-Goutieres症候群の1新生児例**
 ○井上大嗣¹, 里 龍晴¹, 山下未央¹, 西口奈菜子¹, 森内浩幸¹, 安藤直樹²
 長崎大学病院小児科¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野²
- P-111 毛細血管拡張性運動失調症の神経症状に対する少量ベタメタゾン療法~第2報~**
 ○長谷川節子¹, 熊田聡子², 高木正稔¹, 白井育子², 高橋孝治¹, 野村敏大¹, 鹿島田彩子¹, 長谷川毅³, 細川卓利⁴, 植松 貢⁵, 富士根明雄⁶, 菅原祐之¹, 林 雅晴⁷
 東京医科歯科大学小児科¹, 東京都立神経病院神経小児科², 草加市立病院小児科³, 高知大学小児科⁴, 東北大学小児科⁵, 福井県立こども医療センター⁶, 東京都医学総合研究所こどもの脳⁷
- P-112 発作性運動誘発性ジスキネジア(PKD)治療中の15歳男児に発症した若年一側上肢筋萎縮症(平山病)の1例**
 ○西口 亮, 里 龍晴, 西口奈菜子, 山下未央, 森内浩幸
 長崎大学病院小児科
- P-113 診断に苦慮しエクソーム解析で診断しえたGiant axonal neuropathy (GAN)の1例**
 ○多田弘子¹, 高梨潤一², 平野嘉子³, 穴倉啓子^{3,4}, 才津浩智⁵
 千葉県済生会習志野病院小児科¹, 亀田メディカルセンター小児科², 東京女子医科大学小児科³, 朋診療所⁴, 横浜市立大学医学部遺伝学⁵
- P-114 REEP1遺伝子に新規遺伝子変異をみとめた遺伝性痙性対麻痺の一例**
 ○折居建治^{1,2}, 森本将敬^{1,2}, 大西秀典², 加藤善一郎², 深尾敏幸^{1,2}
 岐阜大学医学部附属病院新生児集中治療部¹, 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学²

17:25~17:50 代謝性疾患 1..... (S373)

座長 乾 幸治 (いぬいこどもクリニック)

P-115 グルコーストランスポーター 1 欠損症候群 4 例に対する TRH 療法の検討

○伊藤 康, 小国弘量, 塩田睦記, 平野嘉子, 中務秀嗣, 吉川陽子, 竹下暁子, 平澤恭子, 永田 智
東京女子医科大学医学部小児科

P-116 発作性の眠気が主症状であったグルコーストランスポーター 1 異常症の 1 例

○福山哲広¹, 嶋 泰樹¹, 武居裕子¹, 奥野慈雨¹, 笛木 昇², 平林伸一¹, 新寶理子³, 下野九理子³
長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立こども病院リハビリテーション科², 大阪大学大学院連
合小児発達学研究所³

P-117 頻回の頭痛・嘔吐発作で発症し, MELAS が疑われた 9 歳女児例

○吉田 圭, 遠藤あゆみ, 伊藤公嗣, 中島園子, 桃木恵美子, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 測上達夫,
藤田之彦, 高橋昌里

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

P-118 演題取り下げ

P-119 ミトコンドリア呼吸鎖異常症の診断における Blue-Native 電気泳動 (BN-PAGE)

○水野葉子¹, 三牧正和¹, 太田さやか¹, 下田木の実¹, 高橋長久¹, 岩崎博之¹, 斉藤真木子²,
岡 明¹, 水口 雅², 後藤雄一³

東京大学医学部小児科¹, 東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医科学講座², 国立精神・神経
医療研究センター神経研究所³

17:50~18:15 代謝性疾患 2..... (S374)

座長 松尾宗明 (佐賀大学医学部小児科)

P-120 大脳皮質病変を呈した Leigh 脳症の 4 歳女児例

○樋渡えりか¹, 菊池健二郎¹, 平田佑子¹, 大場温子¹, 熊谷勇治¹, 田中 学¹, 南谷幹之²,
浜野晋一郎¹

埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部²

P-121 幼児期から筋力低下を繰り返し 6 歳時に Leigh 脳症を発症したビタミン B1 反応性ピルビン酸脱水素酵素複合体異常症の 1 例

○中川俊輔¹, 内藤悦雄²

鹿児島市立病院小児科¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科²

P-122 Pyruvate dehydrogenase complex (PDHC) 欠損症にカルニチン静脈内投与が有効であった 1 例

○松井 潤, 吉田 忍, 西澤嘉四朗

近江八幡市立総合医療センター小児科

P-123 落花生の補食の有効性を検討したピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症の一例

○山本真梨子¹, 柴田明子¹, 渡邊 優¹, 寺嶋 宙¹, 柏井洋文¹, 久保田雅也¹, 山本 仁²
国立成育医療研究センター神経内科¹, 聖マリアンナ医科大学病院²

P-124 ピボキシル基含有抗菌薬による 2 次性カルニチン欠乏症の 1 例

○林田拓也¹, 里 龍晴², 森内浩幸²

佐世保市立佐世保総合病院小児科¹, 長崎大学病院小児科²

18:15~18:40 代謝性疾患 3..... (S376)

座長 三牧正和 (東京大学医学部小児科)

P-125 ムコ多糖症 IIIA 型 (Sanfilippo 症候群 A 型) の 1 例

○小谷治子¹, 細川卓利^{2,3}, 藤枝幹也³, 佐々木征行⁴, 奥山虎之⁵

高知県立療育福祉センター小児科¹, 細木病院小児科², 高知大学医学部小児科³, 国立精神・神経医
療研究センター病院小児神経科⁴, 国立成育医療研究センターライソゾーム病センター⁵

P-126 Niemann-Pick 病 C 型におけるカタプレキシー症状とオレキシン測定

○久保田弘樹¹, 今西 彩², 佐川洋平², 矢野珠巨¹, 神林 崇², 高橋 勉¹, 清水徹男²
秋田大学大学院医学系研究科小児科¹, 秋田大学大学院医学系研究科精神科²

P-127 Niemann-Pick 病 C 型に対するミグlustat の治療効果に関する検討

○衛藤 薫¹, 伊藤 康¹, 大澤真木子¹, 永田 智¹, 衛藤義勝²

東京女子医大小児科¹, 財団法人脳神経疾患研究所付属先端医療研究センター遺伝病治療研究所²

P-128 ミグlustat療法を行った Niemann-Pick 病 C 型の早期乳児型の 1 例

○田口真輝¹, 榊原崇文¹, 西山敦子², 成田 綾³, 大野耕策⁴, 松尾宗明⁵, 嶋 緑倫¹
 奈良県立医科大学小児科¹, 奈良県立三室病院小児科², 鳥取大学医学部脳神経小児科³, 山陰労災
 病院⁴, 佐賀大学医学部小児科⁵

P-129 乳児期に発症し, 2 歳以降も発達停止・退行がみられない Krabbe 病の 2 例

○奥村恵子^{1,2}, 森 雅人², 津留智彦²
 名戸ヶ谷あびこ病院小児科¹, 国保松戸市立病院²

18:40~19:00 代謝性疾患 4..... (S378)

座長 村上信行 (獨協医科大学越谷病院小児科)

P-130 副腎白質ジストロフィーの臨床経過: 各症状の出現時期の検討

○牟田香織¹, 小保 卓¹, 塩浜 直¹, 村山 圭², 下澤伸行³
 千葉県こども病院神経科¹, 千葉県こども病院代謝科², 岐阜大学生命科学総合研究支援センター³

P-131 乳児期早期に診断した乳児型 Refsum 病の 1 例

○松倉 幹¹, チョンビンフィー¹, 原口康平¹, 緒方怜奈¹, スビヤントケイジ², 下澤伸行³,
 吉良龍太郎¹
 福岡市立こども病院小児神経科¹, 福岡東医療センター², 岐阜大学生命科学総合研究支援センター
 ゲノム研究分野³

P-132 てんかんキャリアオーバー患者における成人発症 2 型シトルリン血症 (CTLN2) の 1 例

○鈴木恵子¹, 瀬戸口良哉¹, 星加将吾¹, 老谷嘉樹¹, 新井麻子¹, 上田 哲¹, 梅津亮二¹, 杉原茂孝¹,
 呉 繁夫²
 東京女子医科大学東医療センター小児科¹, 東北大学大学院小児病態学分野²

P-133 Allan-Herndon-Dudley Syndrome (AHDS) の神経学的特徴

○山崎早苗^{1,4}, 青天目信^{1,4}, 岸本加奈子^{1,4}, 新寶理子^{1,4}, 中野さやか^{1,4}, 岩谷祥子^{1,4}, 富永康仁^{1,2,4},
 下野九理子^{1,2,4}, 難波範行¹, 荒井 洋⁵, 酒井則夫¹, 永井利三郎^{1,3,4}, 大藺恵一^{1,4}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院医
 学系研究科保健学専攻生命育成看護科³, 大阪大学てんかんセンター⁴, 森ノ宮病院小児神経科⁵

第 2 日目 第 2 会場 [アクトシティ浜松 中ホール]

- 9:00~11:00 シンポジウム 3 (S129)
 脳炎後てんかんの病態・治療を探る
 座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 小林勝弘 (岡山大学大学院発達神経病態学 (岡山大学病院小児神経科))
 1) 免疫病態
 高橋幸利, 西村成子, 高尾恵美子, 笠井理沙, 平松宏美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 2) 脳炎・脳炎後てんかんの脳波および画像を含む臨床経過
 井上拓志 (岡山大学病院小児神経科)
 3) 急性脳炎・脳症後てんかんの抗てんかん薬治療
 浜野晋一郎¹, 菊池健二郎^{1,2} (埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²)
 4) 脳炎脳症後てんかんの慢性期におけるステロイドパルス治療の経験
 山口解冬, 高橋幸利, 吉富晋作, 池田浩子 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 5) 脳炎・脳症後のてんかんの外科治療
 須貝研司¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 高橋章夫², 大槻泰介²
 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科²)
- 11:00~12:00 招待講演 2 (瀬川プログラム) (S111)
 Tourette Syndrome : Update
 座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)
 講演 Mark Hallett (Human Motor Control Section, National Institute of Neurological Disorders and Stroke, Bethesda, USA)
- 12:15~13:15 共催セミナー 7 : 共催 日本イーライリリー株式会社 (S208)
 注意欠陥多動性障害 (ADHD) の脳機能学的検討—機能的近赤外分光法 (fNIRS) を用いた ADHD 治療薬の効果—
 座長 飯田順三 (奈良県立医科大学医学部看護学科)
 講演 門田行史^{1,2}, 檀一平太³, 山形宗倫¹
 (自治医科大学小児科¹, 自治医科大学とちぎ子ども医療センター², 中央大学理工学部人間総合理工学³)
- 13:20~14:05 会員総会
- 14:05~14:35 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・受賞者ミニ講演
 座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
- 14:35~14:45 2014 JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator (S192)
 Treatment response of children with idiopathic epilepsy
 座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 講演 Sudhir Adhikari (Department of Pediatrics, Manipal College of Medical Sciences, Pokhara, Nepal)
- 14:45~14:55 The 2014 JSCN International Educational Fellowship (2014 年日本小児神経学会国際教育助成) (S193)
 Role of intravenous magnesium sulphate in moderate to severe perinatal asphyxia: a randomized, placebo controlled trial
 座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 講演 Gazi Mohammad Imranul Haque (Bangladesh Institute of Child Health Dhaka Shishu (Children) Hospital, Dhaka, Bangladesh)
- 15:00~17:00 シンポジウム 5 (S135)
 見逃してはならない治療法のある, あるいは今後期待できる小児神経疾患: 診断と治療の最前線
 座長 下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)
 福田冬季子 (浜松医科大学小児科)

- 1) 結節性硬化症の中樞神経症状と治療
水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
- 2) 脆弱 X 症候群の診断と治療: update とレビュー
難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター, 鳥取大学医学部次世代高度医療推進センター)
- 3) 副腎白質ジストロフィー
下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)
- 4) Pompe 病の治療と autophagy
福田冬季子 (浜松医科大学小児科)

第 2 日目 第 3 会場 [アクティシティ浜松 4F]

9:00~11:00 シンポジウム 4 (S132)

発達障害はいつ形成されるか? 先天性? 後天性? あるいは両方か
~発症および病態修飾のメカニズムについて~

座長 久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)
福岡秀興 (早稲田大学総合研究機構研究院)

- 1) 発達障害にかかわる要因について: オーバービュー
久保田健夫 (山梨大学大学院医学工学総合研究部環境遺伝医学講座)
- 2) 発達障害における遺伝性要因 (先天的素因) について
神保恵理子¹, 桃井真里子² (自治医科大学医学部小児科¹, 国際医療福祉大学²)
- 3) 環境要因の影響について
鷺見 聡 (名古屋市西部地域療育センター小児科)
- 4) 環境と遺伝の相互作用
杉江陽子 (浜松医科大学小児科, 葵町こどもクリニック)
- 5) 胎生期・新生児期の環境の及ぼす精神疾患及び発達障害の素因形成
福岡秀興 (早稲田大学総合研究機構研究院)

12:15~13:15 共催セミナー 8: 共催 ジェンザイム・ジャパン株式会社 (S209)

座長 福田冬季子 (浜松医科大学小児科)

- 1) 治療可能なライソゾーム病の診断ポイント「ゴーシェ病」
成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)
- 2) 治療可能なライソゾーム病の診断ポイント「ムコ多糖症」
小須賀基通 (国立成育医療研究センター臨床検査部ライソゾーム病センター)

15:00~17:00 ワークショップ (S166)

熱性けいれん診療ガイドライン策定: 委員会案とパブリックコメント

座長 夏目 淳 (名古屋大学医学部小児科)
浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

- 1) 熱性けいれん診療ガイドライン策定: 委員会案とパブリックコメント
杉江秀夫 (自治医科大学小児科)
- 2) 診療ガイドラインの作成方法 エビデンスレベルからエビデンス総体の過渡期の対応
小島原典子 (東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二)
- 3) 熱性けいれん診療ガイドライン策定について
夏目 淳 (名古屋大学医学部小児科)
- 4) クリニカルクエスチョン「初期対応」
田邊卓也 (医療法人あゆみ会田辺こどもクリニック)
- 5) クリニカルクエスチョン「熱性けいれん重積への対応, 脳波検査」
夏目 淳 (名古屋大学医学部小児科)
- 6) クリニカルクエスチョン「ジアゼパム予防投与, 抗てんかん薬, 解熱剤, 注意すべき薬剤」
久保田雅也¹, 金村英秋², 三牧正和³
(国立成育医療研究センター神経内科¹, 山梨大学小児科², 東京大学小児科³)
- 7) クリニカルクエスチョン「予防接種」
伊予田邦昭 (福山市こども発達支援センター)

- 19:00~21:00 薬事委員会主催セミナー：てんかん発作静注治療薬と自己免疫性てんかんに対する
タクロリムスをめぐって (S177)
- 座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)
- 1) てんかん重積症に対する早期介入治療薬剤の検討
林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科)
 - 2) Rasmussen 症候群に対するタクロリムスの有効性
高橋幸利¹, 小国弘量², 富永康仁³, 近土善行⁴
(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 東京女子医科大学小児科², 大阪大学医学部小児科³,
国立精神・神経医療研究センター病院神経内科⁴)
 - 3) レベチラセタム点滴静注用注射剤について
田中 岳, 笠茂公弘
(ユーシービージャパン株式会社メディカルアフェアーズ本部 CNS メディカルサイエンス部)
 - 4) 抗てんかん薬の承認審査の現状について
中村治雅 (医薬品医療機器総合機構新薬審査第 3 部)

第 2 日目 第 4 会場 [アクトシティ浜松 4F]

- 9:00~10:00 一般演題 (口演) 神経・筋疾患 3 (S284)
- 座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
沢石由記夫 (秋田県立医療療育センター小児科)
- O-144 福山型先天性筋ジストロフィー患者における腎機能障害の検討
○石垣景子¹, 村上てるみ¹, 佐藤孝俊¹, 舟塚 真¹, 石黒久美子¹, 加藤郁子¹, 塩田睦記¹,
石塚喜世伸², 斎藤加代子³, 大澤真木子¹, 永田 智¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学医学部腎臓小児科², 東京女子医科大学遺伝子
医療センター³
- O-145 福山型先天性筋ジストロフィーに合併したけいれんに対するレベチラセタムの有効性
○佐藤孝俊¹, 石垣景子¹, 伊藤 進¹, 村上てるみ¹, 小国弘量¹, 斎藤加代子^{1,2}, 大澤真木子¹,
永田 智¹
東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学遺伝子医療センター²
- O-146 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの睡眠呼吸障害への介入における睡眠ポリグラフの変化
○石川悠加¹, 石川幸辰¹, 青柳智幸²
国立病院機構八雲病院小児科¹, 国立病院機構八雲病院検査科²
- O-147 Duchenne 型筋ジストロフィーに対するステロイド治療の側弯への影響
○久保田一生, 石山昭彦, 小牧宏文, 斎藤貴志, 斎藤義朗, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-148 Duchenne 型筋ジストロフィーに対するシルデナフィル投与の試み
○齊藤利雄¹, 田浦映恵², 岩田裕美子³, 井下兼一郎³, 宗重絵美³, 川村佳祐³, 松村 剛⁴, 藤村晴俊⁴,
佐古田三郎⁴
国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科¹, 国立病院機構大阪南医療センター臨床研究部²,
国立病院機構刀根山病院リハビリテーション科³, 国立病院機構刀根山病院神経内科⁴
- O-149 筋ジストロフィーの筋力低下に対する副甲状腺ホルモン治療
○木村重美
熊本大学大学院医学部小児発達学
- 10:00~11:00 一般演題 (口演) 神経・筋疾患 4 (S286)
- 座長 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)
竹島泰弘 (神戸大学大学院医学研究科小児科学分野こども急性疾患学部門)
- O-150 CINRG デュシェンヌ型筋ジストロフィー自然歴調査における心機能変化と診断治療の現状
○清水玲子^{1,3}, Christopher Spurney², Lauren. P Hache², Hanna Kolski⁴, Heather Gordish-Dressman²,
Paula R Clemens^{3,5}
国立精神神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセンター¹, Children's National
Medical Center, Washington, DC, U.S.A², University of Pittsburgh, Pittsburgh, U.S.A³, Glenrose Rehabili-
tation Hospital, University of Alberta, Edmonton, Canada⁴, Neurology Service, Department of Veterans
Affairs Medical Center, Pittsburgh, U.S.A⁵

- O-151 デュシェンヌ型筋ジストロフィー診療ガイドラインの作成**
 ○松村 剛¹, 小牧宏文², 川井 充³, ガイドライン編集委員会⁴
 独立行政法人国立病院機構刀根山病院神経内科¹, 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
 病院小児神経科², 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院神経内科³, Duchenne 型筋ジストロフィー
 診療ガイドライン編集委員会⁴
- O-152 2歳未満でデュシェンヌ型筋ジストロフィーと確定診断された患者家族の現状**
 ○竹内美実, 小牧宏文
 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-153 デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者家族の医療やケアの現状—全国アンケート調査より—**
 ○竹内美実, 小牧宏文
 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科
- O-154 ジストロフィノパチーにおけるけいれん合併の頻度と特徴**
 ○竹下絵里¹, 小牧宏文¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 南 成祐²
 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査
 部²
- O-155 DMD/BMD 患児における社会的認知に関する研究**
 ○松井美也子¹, 藤野陽生¹, 前田直子¹, 船越愛絵¹, 上野紘子¹, 阪上由衣¹, 齊藤利雄², 松村 剛²,
 井村 修¹
 大阪大学大学院人間科学研究科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科²

12:15~13:15 共催セミナー 9: 共催 協和発酵キリン株式会社 (S210)

小児てんかん診療における最近の変化と変わらぬ課題

- 座長 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 講演 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

15:00~16:00 一般演題 (口演) 脳性まひ・重症心身障害 3 (S288)

- 座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター)
 三浦清邦 (名古屋大学障害児医療学寄附講座小児神経科)
- O-156 重症心身障害児・者における低 Na 血症の要因についての検討**
 ○八木麻理子, 今宿智裕, 西村美緒, 水戸 敬, 河崎洋子
 にこにこハウス医療福祉センター
- O-157 重症心身障害児の痙攣に対して ITB 療法 (バクロフェン髄注療法) を施行した 3 例
 —テスト髄注の重要性について—**
 ○渡邊年秀¹, 皆川公夫^{1,2}
 北海道立子ども総合医療療育センター小児神経科¹, 緑ヶ丘療育園²
- O-158 脳性麻痺への Onabotulinumtoxin A 治療の多様性**
 ○根津敦夫, 青山晴彦, 唐澤久美子, 金子かおり, 筑丸ゆり, 黒澤真紀子, 増田由香, 北形 仁
 横浜療育医療センター神経小児科
- O-159 けいれん重積型急性脳症の慢性期神経後遺症に対する TRH 療法**
 ○中務秀嗣, 伊藤 康, 塩田睦記, 平野嘉子, 吉川陽子, 竹下暁子, 平澤恭子, 小国弘量, 永田 智
 東京女子医科大学医学部小児科
- O-160 蘇生後脳症児の脂質異常症に対する成長ホルモン補充療法の試み**
 ○田邊文子¹, 呉 博子¹, 杉浦千登勢¹, 汐田まどか¹, 前垣義弘²
 鳥取県立総合療育センター小児科¹, 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科²
- O-161 重症心身障害てんかん患者におけるフェニトイン減量中止の試み**
 ○後藤一也, 今井一秀
 国立病院機構西別府病院小児科

16:00~17:00 一般演題 (口演) 脳性まひ・重症心身障害 4 (S290)

- 座長 東條 恵 (新潟県はまぐみ小児療育センター)
 萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター小児科)
- O-162 カルニチン投与中, バルプロ酸による Fanconi 症候群を発症した重症心身障害児・者の 2 例**
 ○小野浩明
 県立広島病院小児科

- O-163 後天性脳障害による高次脳機能障害の小児 8 例における半側空間無視の臨床的特徴
○杉浦千登勢, 田邊文子, 呉 博子, 汐田まどか
鳥取県立総合療育センター小児科
- O-164 一般病院小児科での障害児に対する補装具作成の現状
○森田昌男
千葉県勤労者医療協会船橋二和病院
- O-165 小児在宅医療における主治医との連携
○小林拓也
能見台こどもクリニック
- O-166 在宅重症心身障害児(者)に対する連携手帳(「和(なごみ)手帳」)の有用性と介護負担に影響を与える因子についての検討
○余谷暢之¹, 岩崎裕治², 福水道郎², 田沼直之², 富田 直², 曾根 翠², 小沢 浩², 深津 修²
国立成育医療研究センター総合診療部¹, 多摩療育ネットワーク²
- O-167 小児期発症し成人期にさしかかった神経疾患患者の移行について—第 1 報外来・在宅患者の現状—
○柳原恵子, 利川寛美, 木水友一, 木村貞美, 池田 妙, 最上友紀子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター

19:00~21:00 産科医療補償制度検討委員会主催セミナー……………(S180)
産科医療補償制度の診断書の書き方

座長 須貝研司(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
杉田克生(千葉大学教育学部基礎医科学)

- 1) 補償申請の現況, 診断書を作成しやすくするための取り組み, および制度見直しの動向
上田 茂(公益財団法人日本医療機能評価機構)
- 2) 産科医療補償制度 当院での経験症例について
内田智子(千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科)
- 3) 初めて診断書を作成した診断医の経験と問題点
遠藤雄策(浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科)
- 4) 審査委員から見た, 産科医療補償制度診断書記載のポイント
北住映二(心身障害児総合医療療育センター小児科)
- 5) 診断書作成時の問題症例・迷う項目の検討
産科医療保障制度検討委員会

第 2 日目 第 5 会場 [アクトシティ浜松 5F]

9:00~10:00 一般演題(口演) てんかん・けいれん 6……………(S292)
座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科)
高野知行(滋賀医科大学小児科)

- O-168 Lennox-Gastaut 症候群における Rufinamide の短期有効性・安全性についての検討
○高山留美子¹, 福村 忍¹, 皆川公夫^{1,2}, 渡邊年秀¹
北海道立子ども総合医療・療育センター¹, 緑ヶ丘療育園²
- O-169 レノックスガストー症候群およびその辺縁群に対するルフィナミドの使用経験
○岡崎 伸, 九鬼一郎, 川脇 壽, 服部有香, 辻ひとみ, 堀野朝子, 温井めぐみ
大阪市立総合医療センター小児神経内科
- O-170 難治てんかんにおけるルフィナミドの有効性について
○遠藤文香, 吉永治美, 井上拓志, 林裕美子, 花岡義行, 小林由典, 小林勝弘
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学(小児神経科)
- O-171 当院における Rufinamide の使用経験
○川島英志, 遠山 潤, 赤坂紀幸, 小林 悠, 眞柄慎一, 増田 浩, 白水洋史, 笹川陸男
国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター神経小児科
- O-172 徐波睡眠期に広汎性持続性棘徐波を示す小児てんかん患者に対するレベチラセタムの併用効果
○伊予田邦昭¹, 小川和則², 桑原健太郎³, 三宅 進⁴
福山こども発達支援センター¹, 広島市民病院神経小児科², 日本医科大学小児科³, 重症心身障害者施設ときわ⁴
- O-173 小児てんかんに対する柴胡加竜骨牡蛎湯の有効性についての検討 その 2
○栗原栄二
東京都立神経病院神経小児科

- 10:00~11:00 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 7…………… (S294)
- 座長 榎日出夫 (聖隷浜松病院小児神経科)
久保田雅也 (国立成育医療研究センター病院内科系専門診療部神経内科)
- O-174 小児期発症てんかんにおける Levetiracetam の有効性と副作用：併用薬剤との関係
○平田佑子^{1,3}, 浜野晋一郎¹, 松浦隆樹³, 菊池健二郎^{1,3}, 南谷幹之², 田中 学¹, 大場温子¹, 熊谷勇治¹
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部², 東京慈恵会医科大学小児科³
- O-175 てんかん患者における Levetiracetam の安全性と患者背景の検討
○藤井明子^{1,2}, 松尾光弘^{1,2}, 森内浩幸²
長崎県立こども医療福祉センター小児科¹, 長崎大学小児科²
- O-176 若年ミオクロニーてんかんに対するレベチラセタム単剤治療の効果
○高見勇一, 井上道雄, 佐竹恵理子
姫路赤十字病院小児科
- O-177 難治性患者に対する Levetiracetam と Lamotrigine の併用療法に関する検討
○沢石由記夫, 豊野美幸
秋田県立医療療育センター小児科
- O-178 レベチラセタムおよびラモトリギンのてんかん治療に対する有効性の比較検討
○中野和俊
なかの小児科クリニック, 東京女子医科大学病院小児科, 伊勢崎佐波医師会病院小児科
- O-179 ラモトリギンおよびレベチラセタムによる発作消失例の背景因子の検討
○石川暢恒, 小林良行, 藤井裕士
広島大学病院小児科
- 11:00~12:00 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 8…………… (S296)
- 座長 木村一恵 (瀬川小児神経学クリニック)
加賀佳美 (国立病院機構甲府病院小児科)
- O-180 症候と発作時脳波に基づくてんかん性スパズムの病態考察
○本田涼子^{1,2}, 斎藤義朗², 齋藤貴志², 中川栄二², 須貝研司², 佐々木征行², 奥村彰久³
国立病院機構長崎医療センター小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科², 順天堂大学医学部小児科³
- O-181 閉眼と光刺激で誘発される頻回複雑部分発作を呈した三歳男児
○下田木の実¹, 水野葉子¹, 太田さやか¹, 高橋長久¹, 岩崎博之¹, 三牧正和¹, 水口 雅², 岡 明¹
東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医科学講座²
- O-182 複雑部分発作が先行しカルバマゼピン投与により脳波所見が悪化した前頭葉欠神てんかんの 1 例
○岸 高正¹, 藤井裕士², 小林良行², 石川暢恒²
国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科¹, 広島大学病院小児科²
- O-183 傾斜磁場トポグラフィーを用いた遅発性小児後頭葉てんかん (Gastaut 型) の脳磁図解析
○眞柄慎一¹, 白水洋史², 川島英志¹, 小林 悠¹, 赤坂紀幸¹, 遠山 潤¹
国立病院機構西新潟中央病院小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科²
- O-184 海馬パルブアルブミン抑制性神経細胞における Nav1.1 発現低下がけいれん発作を生じる
○荻原郁夫, 眞崎恵美, 山川和弘
理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム
- O-185 Rasmussen 症候群のステロイドパルス療法の検討
○渡辺陽和, 高橋幸利, 東本和紀, 吉富晋作, 山口解冬, 植田佑樹, 那須裕郷, 大谷英之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センターてんかん科
- 12:15~13:15 共催セミナー 10：共催 第一三共株式会社…………… (S210)
- 重度筋緊張亢進患者におけるバクロフェン髄腔内投与療法の実際
- 座長 山形崇倫 (自治医科大学小児科学)
講演 玉崎章子 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

- 15:00～16:00 一般演題 (口演) 学習障害・行動異常・虐待…………… (S298)**
 座長 小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学)
 杉江陽子 (浜松医科大学小児科)
- O-186 視覚記憶課題と読字、書字、計算、および学習関連認知課題の相関性の検討**
 ○若宮英司¹, 中西 誠², 奥村智人³, 栗本奈緒子³, 水田めくみ³, 竹下 盛³, 三浦朋子⁴, 畑中まり⁵, 玉井 浩^{3,5}
 藍野大学医療保健学部看護学科¹, 関西大学大学院心理学研究科², 大阪医科大学 LD センター³, パームこどもクリニック⁴, 大阪医科大学小児科⁵
- O-187 Adult Developmental Coordination Disorders/Dyspraxia Checklist 日本語版の作成と日本文化への適応**
 ○中井昭夫^{1,2}, 三橋美典³, Kirby Amanda⁴
 兵庫県立リハビリテーション中央病院¹, 子どもの睡眠と発達医療センター², 福井大学教育地域科学部³, The Dyscovery Centre, University of Wales, Newport, UK⁴
- O-188 知的障害のある児者における自傷行動への対処方法の検討**
 ○木村育美, 安藤亜希, 山口直人, 西田裕哉, 大日向純子, 長瀬美香, 石川直子, 北 道子, 中谷勝利, 米山 明, 北住映二
 心身障害児総合医療療育センター小児科
- O-189 てんかんをもつ子どものための QOL 測定尺度 QOLCE 日本語版の開発**
 ○守口絵里^{1,2}, 永井利三郎², 伊藤美樹子³
 明治国際医療大学看護学部看護学科小児看護学講座¹, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座², 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座³
- O-190 親への虐待通告担当医とフォロー担当医の役割分担：当院での試み**
 ○鶴澤礼実, 林 仁美, 中村紀子, 金海武志, 井上貴仁, 小川 厚
 福岡大学筑紫病院小児科
- O-191 Munchausen Syndrome by Proxy により不登校が長期化した発達障害児の 6 症例**
 ○林 優子¹, 田端幸枝²
 県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科¹, 県立広島大学保健福祉学部作業療法学科²
- 16:00～17:00 一般演題 (口演) 自閉症スペクトラム障害 2…………… (S300)**
 座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
 宮島 祐 (東京家政大学子ども学部子ども支援学科, 東京医科大学医学部小児科学講座)
- O-192 広汎性発達障害児の食行動に関する問題の実態調査**
 ○宮地泰士
 名古屋市中央療育センター小児科, 名古屋市立大学病院小児科
- O-193 特異的読字障害を有する自閉症スペクトラム児童の知的発達の特性**
 ○伊藤淳一
 北海道社会福祉事業団太陽の園発達診療相談室
- O-194 DCDQ 日本語版を用いた自閉症スペクトラム障害における発達性協調運動障害併存についての検討**
 ○水野賀史¹, 大橋 圭², 宮地泰士², 浅井朋子², 今枝正行², 中井昭夫³, 齋藤伸治²
 名古屋市立西部医療センター小児科¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野², 福井大学子どものこころの発達研究センター³
- O-195 大頭を伴った自閉症スペクトラム, または知的障害のある小児における PTEN 遺伝子の変異解析**
 ○白井謙太郎^{1,2}, 足立香織³, 大野光洋¹, 玉崎章子¹, 前垣義弘¹, 難波栄二³, 大野耕策⁴
 鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 土浦協同病院小児科², 鳥取大学生命研究支援センター³, 山陰労災病院⁴
- O-196 発達障害児をもつ母親の性格と対処行動—ストレスとの関連—**
 ○藤堂賀代¹, 木原健二¹, 山岡紀子^{1,2}, 高田 哲¹
 神戸大学大学院保健学研究科¹, 神戸常盤大学短期大学部²
- 19:00～21:00 社会活動委員会主催セミナー…………… (S183)**
医療的ケアの必要な重症児者への支援
 座長 杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)
- 1) 医療的ケア児者のマッピング調査結果
杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)
 - 2) 診療所での重症児者支援：医療型特定短期入所制度
小林拓也 (能見台こどもクリニック)
 - 3) 障害児在宅医療をお届けする出前講座
田中総一郎 (東北大学大学院小児科)

第2日目 第6会場〔オークラクトシティホテル浜松 3F〕

- 8:00~9:00 今からでもきいてみよう1.....(S160)
 小児神経診療における発達検査の選び方とその解釈
 座長 稲垣真澄(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)
 講演 関あゆみ(鳥取大学地域学部地域教育学科)
- 9:00~10:00 教育講演5.....(S117)
 重症心身障害児(者)医療の魅力(地域で重度の障害児を支える)
 座長 杉本健郎(すぎもとボーン・クリニック)
 講演 三浦清邦(名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座)
- 10:00~11:00 教育講演6.....(S118)
 次世代シーケンサーによる筋疾患遺伝子解析
 座長 松石豊次郎(久留米大学医学部小児科)
 講演 西野一三(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部)
- 12:15~13:15 共催セミナー11:共催 大塚製薬株式会社/ユーシービージャパン株式会社.....(S211)
 小児難治性てんかんの治療戦略
 座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科学)
 講演 今井克美(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- 15:00~16:00 スペシャルボックス1.....(S162)
 海外への研究留学:経験談を聞こう
 座長 福水道郎(東京都立府中療育センター)
 加藤光広(山形大学医学部小児科)
 1) 人生一度は島国日本を飛び出してみよう!~欧州編~
 村松一洋(群馬大学大学院医学系研究科小児科)
 2) 英国・米国見聞記
 高橋和俊(おしま地域療育センター)
 3) 米国での海外留学体験
 城所博之(名古屋大学医学部小児科)
- 16:05~17:05 スペシャルボックス2.....(S164)
 小児神経における研究の進め方
 座長 後藤雄一(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)
 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 1) 研究と研究費の微妙な関係:研究費があれば研究ができるのか?
 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 2) 研究立案の基本と研究申請のコツ
 後藤雄一(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)
 3) 小児神経領域における研究倫理
 伊吹友秀(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
 4) Free discussion(なんでも聞こう)
- 17:50~18:50 特別教育講演.....(S112)
 Sequence of Synaptogenesis in Developing Human Brain
 座長 高嶋幸男(柳川療育センター, 国際医療福祉大学大学院)
 講演 Harvey B. Sarnat^{1,2,3}, Laura Flores-Sarnat^{1,3}
 (Department of Paediatrics, University of Calgary and Alberta Children's Hospital, Calgary, Alberta, Canada¹ Pathology (Neuropathology), University of Calgary and Alberta Children's Hospital, Calgary, Alberta, Canada² Clin. Neurosciences, University of Calgary and Alberta Children's Hospital, Calgary, Alberta, Canada³)
- 19:00~20:00 第8回子どもの眠り研究会

第 2 日目 第 7 会場 (オークラアクトシティホテル浜松 3F)

- 8:00~9:00 今からでもきいてみよう 2..... (S161)
 タンデムマスと GC/MS の実際と、結果の解釈：症例を中心に
 座長 酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)
 講演 長谷川有紀 (島根大学医学部小児科)
- 9:00~10:00 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 4..... (S302)
 座長 今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)
 大府正治 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)
- O-197 重症熱性けいれん概念を用いた急性脳症後ろ向きコホート研究 第 3 報
 発症早期に AST 上昇のない症例の臨床像と脳平温療法の有効性
 ○西山将広^{1,2}, 田中 司¹, 藤田杏子¹, 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗¹
 兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科²
- O-198 重症熱性けいれん概念を用いた急性脳症後ろ向きコホート研究 第 4 報
 急性脳症治療を目指した一般人口研究のための予備的研究
 ○佐々木香織¹, 永瀬裕朗², 丸山あずさ², 藤田杏子², 西山将広², 田中 司², 上谷良行², 貫名貞之³,
 宅見 徹⁴, 西山敦史⁵, 親里嘉展⁵, 河田知子⁶, 佐伯啓介⁷, 高見勇一⁸, 佐竹恵理子⁸
 加古川東市民病院¹, 兵庫県立こども病院², 明石市民病院³, 小野市民病院⁴, 加古川西市民病院⁵,
 姫路聖マリア病院⁶, 西脇市立西脇病院⁷, 姫路赤十字病院⁸
- O-199 二相性脳症 (AESD) 7 症例の検討
 ○大場千鶴¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 村田真野¹, 玉井 浩³
 市立枚方市民病院小児科¹, 田辺こどもクリニック², 大阪医科大学付属病院小児科³
- O-200 けいれん重積型脳症 9 例に対する治療および転帰に関する後方視的検討
 ○李 守永, 鳥巢浩幸, 石崎義人, 實藤雅文, 鳥尾倫子, 酒井康成, 原 寿郎
 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野
- O-201 けいれん重積型急性脳症に対する高用量エリスロポエチン治療の臨床的検討
 ○九鬼一郎¹, 川脇 壽¹, 岡崎 伸¹, 辻ひとみ¹, 服部有香¹, 堀野朝子¹, 温井めぐみ¹,
 富和清隆^{1,3}, 天羽清子², 外川正生², 石川順一⁴, 林下浩士⁴, 塩見正司⁵
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児救急科², 東大寺福祉療
 育病院小児科³, 大阪市立総合医療センター救急救命センター⁴, 愛染橋病院小児科⁵
- O-202 早期ステロイドパルス療法によるけいれん重積型急性脳症発症予防効果の検討
 ○池田尚広, 山形崇倫, 谷口祐子, 宮内彰彦, 石井朋之, 長嶋雅子, 門田行史, 小坂 仁, 杉江秀夫
 自治医科大学小児科
- 10:00~11:00 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 5..... (S304)
 座長 藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)
 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- O-203 都立墨東病院における 2008~2012 年の急性脳炎・脳症の検討
 ○伊藤昌弘, 玉木久光, 中島園子
 東京都立墨東病院小児科
- O-204 重症・劇症型脳症の臨床的検討
 ○堀いくみ¹, 根岸 豊¹, 服部文子¹, 安藤直樹¹, 早川文雄², 辻 健史², 久保田哲夫³, 奥村彰久⁴,
 夏目 淳⁵, 齋藤伸治¹
 名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 順天堂
 大学医学部小児科⁴, 名古屋大学大学院医学系研究科小児科⁵
- O-205 当院で経験したインフルエンザ脳症の臨床的検討
 ○渡辺好宏, 本井宏尚, 武下草生子
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター
- O-206 福島県過去 26 年間に於ける急性脳炎, 脳症 244 例の疫学的臨床的検討
 —最近の発症動向と予後関連因子—
 ○川崎幸彦, 鈴木雄一, 加藤朝子, 細矢光亮
 福島県立医科大学小児科

O-207 川崎市における急性脳炎・脳症の届出状況

○三崎貴子, 岡部信彦
川崎市健康安全研究所

11:00~12:00 一般演題 (口演) 急性脳炎・脳症 6 (S306)

座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
長村敏生 (京都第二赤十字病院小児科)

O-208 難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) の 12 歳男児の IMZ-SPECT 画像所見の変化

○鈴木ことこ¹, 浜野晋一郎², 田原真由¹, 菊池健二郎^{1,2}
東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

O-209 難治頻回部分発作重積型急性脳炎の髄液中におけるインターフェロン誘導性ケモカインの増加

○佐久間啓¹, 田沼直之¹, 九鬼一郎², 高橋幸利³, 塩見正司⁴, 林 雅晴¹
公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野¹, 大阪市立総合医療センター小児神経内科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科³, 愛染橋病院小児科⁴

O-210 レベチラセタム投与が奏功した難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) の 1 例

○加藤 敦, 赤池洋人, 堀谷美奈, 近藤英輔
川崎医科大学小児科

O-211 デキサメサゾン髄液注射が有効であった難治頻回部分発作重積型急性脳炎の 2 例

～髄液ネオプテリン値の経時的推移とともに～

○堀野朝子¹, 川脇 壽¹, 服部有香¹, 辻ひとみ¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 岡崎 伸¹, 石川順一², 天羽清子³, 外川正生³, 塩見正司⁴
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター救急部², 大阪市立総合医療センター小児救急科³, 石井記念愛染園附属愛染橋病院小児科⁴

O-212 溶血性尿毒毒性症候群に急性脳症を合併した 2 例

○本井宏尚, 渡辺好宏, 武下草生子
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科

O-213 ノロウイルス感染に関連した急性小脳炎の 1 例

○大野 武¹, 川島英志^{1,2}, 岡崎健一¹, 東條 恵¹, 鈴木 亮³, 塚野真也³, 大石智洋⁴
新潟県はまぐみ小児療育センター小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院神経小児科², 新潟県立新発田病院小児科³, 新潟大学医学部総合病院小児科⁴

12:15~13:15 共催セミナー 12: 共催 エーザイ株式会社 (S211)

小児てんかんの治療指針

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学)
講演 吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学講座 (小児神経科))

15:00~16:00 企画セミナー 1 (S153)

ミトコンドリア病: A reappraisal

座長 古賀靖敏 (久留米大学医学部小児科)
後藤雄一 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)

- 1) ミトコンドリア病治療研究の現況
古賀靖敏 (久留米大学医学部小児科)
- 2) ミトコンドリア病に関わる基礎研究の進展
後藤雄一 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部)

16:05~17:05 企画セミナー 2 (S155)

小児期の movement disorder: A reappraisal

座長 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
宇川義一 (福島県立医科大学医学部神経内科学講座)

- 1) 小児のジストニアに関する最近のトピックス
熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
- 2) 不随意運動の見方, 考え方
宇川義一 (福島県立医科大学医学部神経内科学講座)

- 19:00~20:00 共催セミナー 13: ネスレ日本株式会社 ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー…………… (S212)
 免疫能に配慮した重症心身障碍児 (者) の経腸栄養管理
 座長 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)
 講演 田中芳明 (久留米大学医学部附属病院医療安全管理部)

第 2 日目 第 10 会場 [オークラアクトシティホテル浜松 3F]

- 8:00~10:00 共同研究支援委員会主催セミナー…………… (S170)

第 1 部: 申請課題発表「日本小児神経学会が支援する共同研究」

座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

- 1) 先天性 GPI 欠損症患者に関する調査研究
 高橋幸利¹, 村上良子², 木下タロウ², 九鬼一郎³
 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 大阪大学微生物病研究所², 大阪市立総合医療センター³)
- 2) ミトコンドリア脳筋症 MELAS の脳卒中発作に対するタウリン療法の開発
 後藤雄一^{1,2,3}, 砂田芳秀⁴, 太田成男⁵
 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部¹, 国立精神・神経医療研究センター病院², 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター³, 川崎医科大学神経内科⁴, 日本医科大学細胞生物学⁵)
- 3) 発達障害児における少量 L-ドパ療法 (LDT) の有効性に関する後方視的研究
 星野恭子¹, 安原博昭^{2,3}, 石崎朝世^{2,4}, 木村一恵^{2,5}, 久保田雅也^{2,6}, 根津敦夫^{2,7}, 林 雅晴^{2,8}
 (国立病院機構南和歌山医療センター小児科¹, 少量 L-ドパ療法研究会², 安原こどもクリニック³, 公益社団法人発達協会王子クリニック⁴, 瀬川小児神経学クリニック⁵, 成育医療センター⁶, 横浜療育医療センター⁷, 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト・リーダー⁸)

第 2 部: エキスパートに聞く「てんかん重積症への対応」

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院・感染症センター小児神経科)
 杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

- 1) けいれん重積状態のマネージメントー救急診療科の立場からー
 辻 聡¹, 久保田雅也², 柏井洋文²
 (国立成育医療研究センター救急診療科¹, 国立成育医療研究センター神経内科²)
- 2) 成人神経科におけるてんかん重積治療の実践
 重藤寛史 (九州大学大学院医学研究院神経内科学)
- 3) てんかん重積状態の治療: フェノバルビタール, ホスフェニトイン注射液の登場でどのように変わったか?
 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

- 10:00~11:00 一般演題 (口演) 発達 1…………… (S308)

座長 平澤恭子 (東京女子医科大学小児科)
 原 仁 (社会福祉法人青い鳥小児療育相談センター)

- O-214 超低出生体重児の満期における頭部 MRI 所見と 3 歳時発達予後の関連
 ○郷間 環¹, 片山義規¹, 郷間英世²
 愛仁会高槻病院新生児小児科¹, 京都教育大学教育学部発達障害学科²
- O-215 四つ這いにおける動的床反力
 ○四津有人
 東京大学大学院医学系研究科超高齢社会感覚認知運動機能医学講座, 東京大学医学部附属病院リハビリテーション科
- O-216 発達コホート研究における発達障害児の Quality of life (QOL) 尺度評価の経年変化
 ○関あゆみ, 田中大介, 矢口幸康, 谷中久和, 小枝達也
 鳥取大学地域学部地域教育学科
- O-217 乳児健診で運動発達遅延を指摘されたフロッピーインファントの神経学的予後について
 ○吉岡三恵子
 神戸市総合療育センター小児神経科

O-218 乳児期に粗大運動発達の遅れを示した児の 3 歳時点および長期知的発達予後

○安田寛二¹, 高橋 脩²

国立病院機構静岡富士病院小児科¹, 豊田市こども発達センター児童精神科²

11:00~12:00 一般演題 (口演) 発達 2 (S309)

座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)

O-219 発達コホート研究 (すくすくコホート) 10 年間の実行性に関する検討

○小枝達也¹, 関あゆみ¹, 内山仁志², 田中大介¹, 谷中久和¹, 矢口幸康¹

鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学科²

O-220 保健所における発達相談: 石巻市

○小林康子¹, 大沼 晃², 大村 清¹

独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院小児科¹, エコー療育園²

O-221 2 歳児における視覚的共同注意, 要求の言語化, モノの実在性の認識

○安藤亜希^{1,2}, 久保田雅也²

心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 国立成育医療研究センター神経内科²

O-222 小学校における微細運動障害を示す子どもは増加していない

○横山浩之

山形大学医学部看護学科

O-223 名古屋市の発達相談事業にみる発達障害児数の動向—1998 年から 2012 年までの推移—

○谷合弘子¹, 宮地泰士¹, 浅井朋子¹, 今枝正行², 堀江重信³, 鷺見 聡⁴

名古屋市中央療育センター¹, 名古屋市北部地域療育センター², 南部地域療育センターそよ風³, 名古屋市西部地域療育センター⁴

O-224 知的障害のない発達障害青年・成人患者の実態から発達障害診療の留意点とトランジション診療の要点を検討する

○石崎朝世, 洲鎌倫子

公益社団法人発達協会王子クリニック

15:00~16:00 一般演題 (口演) 電気生理 (S311)

座長 金村英秋 (山梨大学医学部小児科)

長澤哲郎 (東京都立府中療育センター小児科)

O-225 Wisconsin Card Sorting Test 時の cognitive shift に対する情動性自律反応の影響

○大山哲男^{1,2}, 後藤裕介¹, 加賀佳美¹, 石井佐優香¹, 青柳閣郎¹, 金村英明¹, 杉田完爾¹, 相原正男²

山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²

O-226 緊急少数電極脳波の振幅・周波数統合トレンド表示は脳波非習熟者における判読精度を向上させるか?

○小林勝弘¹, 柚木宏介², 禪正和真², 秋山倫之¹, 吉永治美¹

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学分野 (小児神経科)¹, 岡山大学医学部医学科 (医学研究インターンシップ)²

O-227 ICU 入院中の小児における Amplitude-integrated EEG (a-EEG) と Density Spectral Array (DSA) の発作検出における有用性の検討

○山本啓之¹, 城所博之¹, 小川千香子¹, 東 慶輝¹, 石原尚子¹, 辻 健史², 久保田哲夫³, 安藤直樹⁴, 奥村彰久⁵, 齋藤伸治⁴, 根来民子⁶, 渡邊一功^{1,7}, 夏目 淳¹

名古屋大学大学院医学系研究科小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 名古屋市立大学大学院小児科⁴, 順天堂大学医学部小児科⁵, 日本福祉大学子ども発達学部⁶, 愛知淑徳大学健康医療科学部⁷

O-228 熱性けいれんを起こした児における脳波検査の検討

○赤池洋人, 近藤英輔, 堀谷美奈, 加藤 敦

川崎医科大学小児科

O-229 重症心身障害児・者における aEEG の応用～発作モニタとしての活用法～

○長澤哲郎, 齋藤菜穂, 古島わかな, 大越優美, 渥美 聡, 田沼直之, 小峯 聡, 福水道郎

東京都立府中療育センター小児科

O-230 腱反射亢進を呈した純粋運動型ギラン・バレー症候群の 1 例

○大府正治, 須貝みさき, 比屋根真彦, 松岡剛司

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

19:00～20:30 医療安全委員会主催セミナー (S185)

「MRI 検査時の鎮静に関する共同提言」を理解する

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学医学部小児科)

坂本博昭 (大阪市立総合医療センター小児脳神経外科)

- 1) 日本小児神経学会 ML での意見のまとめ
山内秀雄 (埼玉医科大学医学部小児科)
- 2) 日本小児科学会医療安全 WG の立場から
勝盛 宏 (河北総合病院小児科)
- 3) 小児麻酔科医の立場から：小児と小児科医にストレスの少ない安全な MRI の環境のために、麻酔科医ができることは何だろうか
大嶽浩司 (昭和大学医学部麻酔科)
- 4) 小児放射線科医の立場から：小児 MRI 検査の背景と小児神経の得意な放射線科医をもっと育てるために私たちができること
相田典子 (神奈川県立こども医療センター放射線科)
- 5) 法律家の立場から
中下裕子 (コスモス法律事務所, 弁護士)

第 2 日目 第 13 会場 [アクトシティ浜松 2F]

17:00～19:00 東日本大震災支援委員会主催セミナー (S174)

被災地における発達課題をもつ子どもたち～気仙沼市での取り組みから～

座長 永井利三郎 (大阪大学医学系研究科保健学専攻)

田中総一郎 (東北大学大学院医学研究科発生・発達医学講座小児病態学分野)

- 1) 気仙沼市における支援活動の報告
永井利三郎 (大阪大学医学系研究科保健学専攻)
- 2) 教育現場の課題をもつ子どもたちへの地域支援
佐藤牧子 (宮城県立気仙沼支援学校)
- 3) 発達課題を持つ子どもを地域で支えるネットワーク
鈴木由佳理 (気仙沼市本吉総合支所保健福祉課)
- 4) 被災地における養育者との関わりから
古川恵美 (畿央大学教育学部)
- 5) 支援活動から得られた防災対策
田中総一郎 (東北大学大学院小児科)

第 2 日目 ポスター会場 [アクティシティ浜松]

- 17:00~17:25 新生児 1 (S379)
 座長 前田知己 (大分大学医学部小児科)
 P-134 新生児仮死後に小脳多発性出血および後頭葉梗塞を来し、プロテイン C 活性低下を認めた 1 例
 ○玉置一智^{1,2}, 小島泰子¹, 星野廣樹^{1,3}, 館野昭彦¹, 寺田一志⁴
 東邦大学医療センター佐倉病院小児科¹, 東邦大学医療センター大森病院新生児科², 東邦大学医療センター大橋病院小児科³, 東邦大学医療センター佐倉病院放射線科⁴
 P-135 新生児発作によって発症した脳静脈性血管腫の 1 例
 ○竹中朋代¹, 青天目信^{2,3}, 大場 洋⁴, 竹村 亮¹, 山本真也¹, 今西洋介¹, 山本昌周¹, 和田芳郎¹, 住田 裕¹
 地方独立行政法人りんくう総合医療センター小児科¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科², 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター³, 帝京大学医学部附属病院放射線科⁴
 P-136 新生児発作における ictal fast activity は乳児期てんかん原性の指標になり得るか?
 ○竹内章人¹, 小林勝弘²
 国立病院機構岡山医療センター新生児科¹, 岡山大学病院小児神経科²
 P-137 低体温療法を施行された新生児低酸素性虚血性脳症の頭部 MRI と予後の検討
 ○竹下暁子¹, 平澤恭子¹, 吉川陽子¹, 今井 憲², 内山 温², 楠田 聡², 永田 智¹
 東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児部門²
 P-138 生後早期の脳波における新生児発作と発達予後の検討
 ○親里嘉展, 沖田 空, 西山敦史, 足立昌夫
 加古川西市民病院小児科
- 17:25~17:50 新生児 2 (S381)
 座長 前田卿子 (静岡医療福祉センター児童部小児神経科)
 P-139 超低出生体重児の発達予後と頭部画像所見の特異性の検討
 ○松藤まゆみ¹, 岩田欧介², 岩田幸子², 原 宗嗣³, 高嶋幸男¹
 柳川療育センター小児科¹, 久留米大学医学部小児科², 聖マリア病院新生児科³
 P-140 極低出生体重児における NICU 退院前の頭部 MRI 所見と修正 18 か月前後の新版 K 式評価との関連性についての検討
 ○田中竜太
 茨城県立こども病院小児科
 P-141 超・極低出生体重児における K-ABC による認知特性の検討
 ○西田智子¹, 山本真由美², 小西行彦³, 日下 隆³, 伊藤 進³
 香川大学教育学部¹, 小豆島町立内海病院², 香川大学医学部小児科³
 P-142 ハイリスク児における小児神経科医の役割
 ○塩田睦記, 平澤恭子, 竹下暁子, 吉川陽子, 中務秀嗣, 伊藤 康, 石垣景子, 永田 智
 東京女子医科大学病院小児科
 P-143 宮城県極低出生体重児発達支援事業「さとめんこ」における自閉症スペクトラム児スクリーニングの中間報告
 ○涌澤圭介¹, 高橋立子², 奈良千恵子³, 久保田由紀³, 呉 繁夫³
 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター¹, 仙台赤十字病院総合周産期母子医療センター新生児科², 東北大学病院小児科³
- 17:50~18:20 発達・病態 (S382)
 座長 中井昭夫 (兵庫県立リハビリテーション中央病院, 子どもの睡眠と発達医療センター)
 P-144 視覚認知学習課題における定型発達児の feedback related negativity (FRN)
 ○藤岡かおる¹, 加賀佳美¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
 山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²
 P-145 小児期の睡眠時ブラキシズムと睡眠・日中の行動との関連～質問紙を用いた大規模調査から～
 ○橋 雅弥^{1,2}, 桑田綾乃^{1,2}, 平田郁子², 下野九理子^{1,2}, 毛利育子^{1,2}, 大藁恵一², 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院連合小児発達学研究所¹, 大阪大学大学院医学系研究科小児科²
 P-146 小児科クリニックにおける発達専門外来の現状
 ○本田真美^{1,2}, 市橋いずみ^{1,3}, 橋本圭司², 橋本素子¹, 根本芳子^{1,3}, 稲見 誠^{1,3}
 ニコこどもクリニック¹, 国立成育医療研究センター², いなみ小児科³

P-147 開設から 5 年間の発達外来初診児のまとめ

○中野加奈子
六甲アイランド甲南病院小児科

P-148 経口 vasopressin の治療経験

○前澤真理子¹, 堂本洋一², 玉田耕一³, 木実谷哲史⁴, 上石晶子⁴, 尾崎裕彦⁵
鶴見大学短期大学部歯科衛生科¹, 伊勢慶友病院², 伊豆慶友病院³, 島田療育センター⁴, 平塚共済病院⁵

P-149 演題取り下げ

17:00~17:20 自閉症スペクトラム障害 1..... (S384)

座長 宮本 健 (浜松医療センター小児科)

P-150 幼児期の発達障害児における DSM-5 分類の試みと問題点

○鷺見 聡¹, 宮地泰士^{2,3}, 大矢公江¹, 大橋 圭^{1,2,4}, 齊藤伸治²
名古屋西部地域療育センター小児科¹, 名古屋市立大学医学部新生児・小児医学², 名古屋市中央療育センター小児科³, 名古屋市あけぼの学園小児科⁴

P-151 知能指数の著明な向上がみられた発達障害児の 7 症例の検討

○松藤博紀, 石川尚子, 伊住浩史, 杉尾陽子, 市山高志, 杉尾嘉嗣
鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科

P-152 臨床神経学的診察によるアミン系神経障害・病態生理の推測

~自閉性スペクトラム障害 (ASD) と精神遅滞 (MR) の検討~
○星野恭子^{1,2}, 木村一恵¹, 八森 啓¹, 長尾ゆり¹, 野村芳子¹, 瀬川昌也¹
瀬川小児神経学クリニック¹, 南和歌山医療センター小児科²

P-153 自閉症スペクトラム障害児における脳 MRI を用いた扁桃体幅測定に関する検討

○渡部承平, 日野香織
愛媛県立今治病院小児科

17:20~17:40 自閉症スペクトラム障害 2..... (S386)

座長 伊住浩史 (鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科)

P-154 結節性硬化症モデルマウスにおいて Tsc2 変異はより重度の自閉症様行動と関連する

○佐藤敦志¹, 高松幸雄¹, 小林敏之², 樋野興夫², 水口 雅³
東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト¹, 順天堂大学大学院医学系研究科分子病理病態学², 東京大学大学院医学系研究科発達医科学³

P-155 自閉症患者における時計関連遺伝子の変異解析

○松本 歩¹, 楊 志亮¹, 小島華林¹, 中山一大², 神保恵理子¹, 岩本禎彦², 永田浩一³, 山形崇倫¹
自治医科大学小児科¹, 自治医科大学分子病態治療研究センター人類遺伝学研究部², 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部³

P-156 自閉性障害原因遺伝子 CADM1 に結合する足場タンパク MUPP1 の遺伝子変異解析

○楊 志亮¹, 小島華林¹, 神保恵理子¹, 山形崇倫¹, 桃井 隆², 桃井真里子³
自治医科大学小児科¹, 国際医療福祉大学基礎医学研究センター², 国際医療福祉大学³

P-157 広汎性発達障害 (PDD) と syntaxin1A 遺伝子の関連性の検討

○小藤剛史¹, 林 優子², 田丸政男³, 赤川公朗⁴
杏林大学医学部共同研究施設 RI 部門¹, 県立広島大学保健福祉学部付属診療センター小児科², 県立広島大学保健福祉学部作業療法学科³, 杏林大学医学部細胞生理学⁴

17:40~18:00 自閉症スペクトラム障害 3..... (S387)

座長 瀬島 斉 (松江赤十字病院小児科)

P-158 極長鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症の経過中, 自閉症スペクトラム障害と診断した一女兒例

○久保田由紀¹, 福與なおみ¹, 植松 貢¹, 奈良千恵子¹, 坂本 修¹, 大浦敏博², 横山浩之³, 呉 繁夫¹
東北大学医学部小児科¹, 仙台市立病院小児科², 山形大学医学部看護学科³

P-159 徐脈, 徐呼吸を呈する閉塞性睡眠時無呼吸症候群の成人自閉症男性例

○加藤久美
太田睡眠科学センター

P-160 バルプロ酸内服により脳波異常と言語・行動面の変化を認めた自閉症スペクトラムの一男児例

○井原由紀子¹, 友納優子¹, 藤田貴子¹, 井手口博¹, 花井敏男², 廣瀬伸一¹, 安元佐和¹
 福岡大学医学部小児科¹, 福岡市立心身障がい福祉センター²

P-161 メチルフェニデート内服が著効したアスペルガー症候群の 3 例

○本澤志方, 鈴木敏洋, 山本晃子, 稲毛祐基子, 野口ひとみ, 立岡祐司, 井手秀平, 太田秀臣,
 荒井康裕, 益山龍雄, 岩崎裕治, 加我牧子, 有馬正高
 東京都立東部療育センター小児神経科

18:00~18:20 自閉症スペクトラム障害 4..... (S388)

座長 家島 厚 (茨城県立こども福祉医療センター神経小児科)

P-162 少量 L-ドパ療法 (LDT) の臨床的意義: 南和歌山医療センターでの使用経験・全国調査結果より

○星野恭子^{1,2}, 安原昭博^{2,3}, 石崎朝世^{2,4}, 木村一恵^{2,5}, 久保田雅也^{2,6}, 根津敦夫^{2,7}, 林 雅晴^{2,8}
 南和歌山医療センター小児科¹, 少量 L-ドパ療法研究会², 安原こどもクリニック³, 公益社団法人
 発達協会王子クリニック⁴, 瀬川小児神経学クリニック⁵, 成育医療センター⁶, 横浜療育医療セン
 ター⁷, 東京都医学総合研究所こどもの脳プロジェクト・リーダー⁸

P-163 応用行動分析で介入した発語のない自閉症スペクトラム児の, 要求行動, 共同注意, 模倣, 遊びの発達: 発語の有無による違いは?

○末田慶太郎, 原 泉, 早川幸代, 前田卿子
 静岡医療福祉センター小児神経科

P-164 自閉性スペクトラム障害 (ASD) に対する短時間応用行動分析療法 (ABA) の提案

○泉 鉦吉¹, 藤坂龍司², 伊藤晃崇¹, 住田千明¹, 小松原麗¹, 星野恭子¹
 国立病院機構南和歌山医療センター小児科¹, NPO 法人つみきの会²

P-165 自閉症スペクトラム児のトラウマに対する EMDR (Eye Movement Desensitization and Reprocessing) の有効性

○藤本伸治
 つつじが丘こどもクリニック

17:00~17:25 脳性まひ 1..... (S390)

座長 村山恵子 (げんきこどもクリニック)

P-166 低酸素性脳症で特異的な臨床経過を呈した症例

○多田有美¹, 中山智博², 中山純子², 岩崎信明²
 筑波学園病院小児科¹, 茨城県立医療大学付属病院小児科²

P-167 核黄疸を有する超低出生体重の一卵性双生児における小脳萎縮と発達との関係

○平井聡里, 北井征宏, 大村馨代, 荒井 洋
 森ノ宮病院小児神経科

P-168 重症心身障害児 (者) に対する経管栄養製品でのカルニチン補充効果の検討 (アキュア EN800 の利用を通じて)

○眞山義民, 山本重則, 石原あゆみ
 独立行政法人国立病院機構下志津病院小児科

P-169 重症心身障害児・者の亜鉛, 銅の血中濃度, 摂取量の検討

○鈴木輝彦
 独立行政法人国立病院機構天竜病院小児科

P-170 重症心身障害児にみられた鉄, 亜鉛補充療法時の, 二次性銅欠乏とてんかん発作増悪

○大山龍介¹, 後藤千佳¹, 桐谷真希¹, 清田今日子³, 是松聖悟², 泉 達郎²
 国立病院機構宮崎病院¹, 大分大学小児科, 神経小児科², 別府発達医療センター³

17:25~17:50 脳性まひ 2..... (S391)

座長 米山 明 (心身障害児総合医療療育センター小児科)

P-171 再発性肺炎の管理に難渋した重症心身障害児の一例

○長崎 梓, 本井宏尚, 渡辺好宏, 武下草生子
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科

P-172 バルプロ酸と手術の影響が推測された急性壊死性肺炎で死亡した重症心身障害者の 1 例

○水野勇司, 相部美由紀, スピヤントケイジ, 實藤雅文
 福岡東医療センター小児科

P-173 流涎症に対する外科治療（両側顎下腺摘出）を試みた一例

○山浦美季¹, 林 北見¹, 小泉 舞¹, 塚原正之¹, 渡邊肇子¹, 白戸由理¹, 武藤順子¹, 矢部清晃², 幸地克憲²

東京女子医科大学八千代医療センター小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター小児外科²

P-174 胸郭変形に伴う気管・気管支狭窄を有する重症心身障害児者の呼吸不全に対する NPPV の治療効果

○松井秀司, 田村貴子, 大野由美子, 難波由喜子, 牧野道子, 松田光展, 和田恵子, 赤星恵子, 舟橋満寿子, 鈴木康之, 椎木俊秀

東京小児療育病院小児科

P-175 生活の質を改善させる在宅人工呼吸器管理について

○雨宮 馨^{1,2}, 野村芳子¹, 相崎貢一¹, 小沢愉理¹, 井上祐紀¹, 小沢 浩¹, 宮田章子²
鳥田療育センターはちおうじ¹, さいわいこどもクリニック²

17:50~18:15 脳性まひ 3 (S393)

座長 曾根 翠 (東京都立東大和療育センター小児科)

P-176 気道感染を反復する重症心身障害児者に対して在宅での肺内パーカッションベンチレーターを導入した 3 例

○金子かおり, 根津敦夫, 青山晴彦, 唐澤久美子, 岩本弘子, 筑丸ゆり, 増田由香, 北形 仁
横浜療育医療センター小児神経科

P-177 当院における在宅人工呼吸器療法の現状

○松尾直樹, 今村 淳, 若原敦嗣, 小嶋瑛美子
岐阜県総合医療センター小児科

P-178 当科において低定量自動持続吸引器を導入した 4 例の検討

○脇坂晃子, 中村奈美, 辻 隆範, 山田晋也, 丸箸圭子, 大野一郎, 関 秀俊
国立病院機構医王病院小児科

P-179 当科における在宅医療ケアの現状と問題点

○石垣英俊, 福田冬季子, 松林朋子, 平出拓也
浜松医科大学小児科

P-180 当院における NICU 長期入院児の在宅移行支援の取り組み

○杉原 進, 西村洋子, 玉崎章子, 前垣義弘
鳥取大学医学部脳神経小児科

17:00~17:25 てんかん・けいれん 6 (S395)

座長 小川 厚 (福岡大学筑紫病院小児科)

P-181 当院におけるレベチラセタムの使用経験

○宮田世羽¹, 池上弓子¹, 中野瑛子¹, 松岡雄一郎¹, 島崎真希子¹, 小松祐美子¹, 中村由紀子¹, 岡 明^{1,2}

杏林大学医学部小児科¹, 東京大学医学部小児科²

P-182 当院におけるレベチラセタムの使用経験

○四俣一幸, 渡邊健二
鹿児島市立病院小児科

P-183 当科におけるレベチラセタムの使用経験—てんかん症候群別による検討—

○伊藤 進, 西川愛子, 平野嘉子, 小国弘量, 永田 智
東京女子医科大学小児科

P-184 発達障害におけるてんかん症例へのレベチラセタムの使用経験

○高木一江^{1,2}, 原 仁^{1,2}, 木村一恵^{1,3}
小児療育相談センター¹, 横浜市中部地域療育センター², 瀬川小児神経学クリニック³

P-185 小児てんかん患者における新規抗てんかん薬による免疫グロブリンに関する検討

○小穴信吾, 宮島 祐, 竹下美佳, 森地振一郎, 石田 悠, 山中 岳, 河島尚志
東京医科大学小児科

17:25~17:50 てんかん・けいれん 7 (S396)

座長 岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)

P-186 重症心身障害児者における新規抗てんかん薬 (TPM, LTG, LEV) の使用経験

○常石秀市, 田口和裕, 八木隆三郎
医療福祉センターさずな小児科

- P-187 重症心身障害児への新規抗てんかん薬の使用頻度と有効性の検討**
○松林朋子¹, 平出拓也¹, 石垣英俊¹, 朝比奈美輝¹, 遠藤雄策², 宮本 健³, 平野浩一², 福田冬季子¹
浜松医科大学医学部小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター², 浜松医療センター³
- P-188 幼児期に Epileptic spasms で発症し多彩なけいれん発作を示した限局性皮質異形成の 1 例**
○稲見茉莉¹, 小松祐美子¹, 中村由紀子¹, 宮田世羽¹, 島崎真希子¹, 池上弓子^{1,2}, 中野瑛子^{1,2}, 松岡雄一郎^{1,2}, 岡 明^{1,3}
杏林大学医学部小児科¹, 稲城市立病院小児科², 東京大学医学部小児科³
- P-189 両方向の水平性眼振発作を認めた皮質形成障害の一例**
○今村 淳, 松尾直樹, 小嶋瑛美子, 若原敦嗣, 服部亜季子
岐阜県総合医療センター小児科
- P-190 長期の経過で限局性皮質形成異常が判明した難治性てんかんの 2 例**
○富田桂子¹, 村松一洋¹, 澤浦法子¹, 本島敏乃², 高橋章夫³, 須貝研司⁴, 馬場好一⁵, 荒川浩一¹
群馬大学医学部附属病院小児科¹, 本島総合病院小児科², 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科³, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁴, 静岡てんかん・神経医療センター脳神経外科⁵
- 17:50~18:15 てんかん・けいれん 8 (S398)**
座長 今井克美 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- P-191 てんかん外科治療を行った Sturge-Weber 症候群の 2 例**
○渡辺美緒¹, 森山剣光¹, 椎原 隆¹, 白田由美子²
群馬県立小児医療センター神経内科¹, 群馬県立小児医療センターリハビリテーション課²
- P-192 当院で経験した小児期てんかん原性脳腫瘍患者の臨床像**
○齋藤貴志¹, 石山昭彦¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 中川英二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 高橋章夫², 大槻泰介²
独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科²
- P-193 Wada テストを受ける子どもへのホスピタルプレイスベシャリストの関わり**
○小島広江¹, 北本千春¹, 畑井郁子¹, 大矢佳代¹, 藤本礼尚², 山本貴道², 榎日出夫³
聖隷浜松病院小児病棟¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター², 聖隷浜松病院小児神経科³
- P-194 新生児期に発症した malignant migrating partial seizures in infancy (MMPSI) の 1 例**
○橋本和彦, 里 龍晴, 西口奈菜子, 山下未央, 渡邊聖子, 渡邊嘉章, 森内浩幸
長崎大学病院小児科
- P-195 てんかん発作及び自閉症状の改善にステロイドパルス療法が有効であった Dravet 症候群の 1 例**
○藤田貴子¹, 井手口博¹, 倉田佐和¹, 友納優子¹, 井原由紀子¹, 高橋幸利², 廣瀬伸一¹, 安元佐和¹
福岡大学医学部小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター²
- 18:15~18:40 てんかん・けいれん 9 (S400)**
座長 福與なおみ (東北大学大学院医学研究科小児病態学)
- P-196 Generalized periodic epileptic discharges を呈した Dravet 症候群の 1 例**
○高木敦子¹, 池原 甫¹, 須山麻衣子¹, 橋本祐至², 内川英紀¹, 藤井克則¹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 千葉市立海浜病院小児科²
- P-197 自閉症スペクトラム障害と診断されていた Landau-Kleffner 症候群の一例**
○渡部功之, 今高城治, 久松聖人, 栗林良多, 有阪 治
獨協医科大学医学部小児科
- P-198 視床の破壊性病変に非けいれん性てんかん重積状態が加わり失調が増悪した 1 例**
○永井盛博, 桐野友子, 藤原由美, 松岡 舟, 遠藤彰一
四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科
- P-199 当科におけるてんかん患者と家族への QOL に関するアンケート調査**
○諏訪清隆, 森田啓介, 吉田 真
旭川赤十字病院小児科
- P-200 Rufinamide が長期に奏功している Lennox-Gastaut 症候群の 3 小児例**
○東本和紀, 高橋幸利, 高山留美子, 山本吉章, 吉富晋作, 渡辺陽和, 山口解冬, 植田佑樹, 那須裕郷, 大谷英之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
静岡てんかん神経医療センター

17:00~17:25 てんかん・けいれん 10 (S401)

座長 荒木 敦 (関西医科大学附属滝井病院小児科)

P-201 複雑部分発作に対しルフィナミドが有効であった Lennox-Gastaut 症候群の一例

○玉城邦人, 大城あずさ

琉球大学医学部小児科

P-202 4 歳未満もしくは 15 kg 未満に対する新規抗てんかん薬 Rufinamide の当科での使用経験

○向田壮一, 鈴木理恵, 荷原 香, 白石一浩

国立病院機構宇多野病院小児科

P-203 ルフィナミドの投与により薬疹と無顆粒球症を来した 1 例

○井手見名子, 齊藤景子, 吉田健司, 栗屋智就, 加藤竹雄

京都大学医学部附属病院小児科

P-204 治療抵抗性のてんかん発作群発に対してバルビツレート持続静注療法を行った 4 症例についての検討

○寺嶋 宙¹, 山本真梨子¹, 渡邊 優¹, 柴田明子¹, 柏井洋文¹, 久保田雅也¹, 六車 崇²

国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター集中治療科²

P-205 ケトン食療法が著効した難治性てんかんの 1 例

○福田智文¹, 下野昌幸¹, 石井雅弘¹, 千手絢子¹, 塩田直樹², 楠原浩一¹

産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²

17:25~17:45 遺伝 1 (S403)

座長 加藤善一郎 (岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科医療情報学専攻生命情報研究領域)

P-206 デノボ NALCN 変異を有し, 特徴的顔貌, 精神運動発達遅滞および高カルシウム血症を示した 4 歳女児

○鳥尾倫子¹, 酒井やすなり¹, 井原健二¹, 石崎義人¹, 鳥巢浩幸¹, 深井綾子², 三宅紀子², 松本直道², 原 寿郎¹

九州大学大学院成長発達医学分野¹, 横浜市立大学医学研究科遺伝学²

P-207 NTRK1 遺伝子に新規遺伝子変異を認めた先天性無痛無汗症の 1 例

○山本崇裕, 笹井英雄, 大西秀典, 伊藤裕子, 川本美奈子, 川本典生, 加藤善一郎, 深尾敏幸

岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学

P-208 乳児期に急性脳症様症状を発症し, NEMO エクソン 4-10 欠失を認めた色素失調症の 1 例

○中村康子, 松本 浩

防衛医科大学病院小児科

P-209 肢端紅痛症の軽症型と考えられた 1 男児例

○樋口 司¹, 平林伸一²

長野県立こども病院総合小児科¹, 長野県立こども病院神経小児科²

17:45~18:05 遺伝 2 (S404)

座長 中野和俊 (なかの小児科クリニック)

P-210 父親由来片親性インソダイソミーにより発症した乳児型神経セロイドリポフスチノーシスの一例

○横井彩乃¹, 中川裕康¹, 三谷裕介¹, 黒田文人¹, 新井田要²

金沢大学医学部小児科¹, 金沢医科大学病院遺伝子医療センター²

P-211 DNMT1 欠失マウスにおける染色体 7C 領域のインプリンティング解析

○木住野達也

長崎大学先端生命科学研究支援センターゲノム機能解析分野

P-212 CHIPS 法の導入による奇形症候群の遺伝子診断と遺伝医療の一般診療化の促進

○新井田要^{1,2}, 黒田文人³, 三谷裕介³, 横井彩乃³

金沢医科大学病院遺伝子医療センター¹, 金沢医科大学総合医学研究所先端医療研究領域遺伝子疾患研究分野², 金沢大学医学部小児科³

P-213 鳥取大学における遺伝子診断システムの構築

○足立香織^{1,2}, 難波栄二^{1,3,4}

鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野¹, 鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座脳神経小児科学分野², 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科³, 鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター⁴

18:05~18:30 自律神経・頭痛 (S406)

座長 安藤直樹 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学)

P-214 頭部自律神経症状を伴う短時間持続性片側神経痛様頭痛発作 (SUNA) の一家系例

○小嶋瑛美子^{1,2}, 斎藤義朗², 石山昭彦², 齊藤貴志², 中川栄二², 小牧宏文², 須貝研司², 佐々木征行²
岐阜県総合医療センター小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²

P-215 小児の片頭痛・片頭痛類縁疾患・穿刺様頭痛の臨床症状の多様性

○柿坂庸介^{1,2}, 福与なおみ², 藤川真由¹, 呉 繁夫², 中里信和¹
東北大学医学部てんかん科¹, 東北大学医学部小児科²

P-216 遷延する Paroxysmal Sympathetic Hyperactivity (PSH) を呈する小児の薬物治療経験

○山本晃子, 井手秀平, 鈴木敏洋, 立岡祐司, 稲毛祐基子, 野口ひとみ, 本澤志方, 荒井康裕,
太田秀臣, 益山龍雄, 岩崎裕治, 加我牧子, 有馬正高
東京都立東部療育センター小児科

P-217 起立性調節障害における症状と治療の有効性

○宮本 健, 宮城佳史
浜松医療センター小児科

P-218 小児良性発作性めまいの 1 例

○一ノ瀬文男¹, 小野晋康¹, 松尾宗明²
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター小児科¹, 佐賀大学医学部小児科²

17:00~17:20 筋 3 (S407)

座長 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

P-219 筋 MRI 所見を機に診断に至った Ullrich 型先天性筋ジストロフィーの一例

○福村 忍¹, 高山留美子¹, 渡邊年秀¹, 續 晶子², 館 延忠³, 石山昭彦⁴, 米川貴博⁵, 林由紀子^{5,6,7},
西野一三^{5,7}北海道立子ども総合医療・療育センター小児神経内科¹, 北海道立子ども総合医療・療育センターリ
ハビリテーション科 (小児)², 札幌医科大学保健医療学部³, 国立精神・神経医療研究センター病院
小児神経科⁴, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 1 部⁵, 東京医科大学医学部
医学科神経生理学講座⁶, 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナルメディカルセン
ター臨床開発部⁷

P-220 肢帯型筋ジストロフィー (LGMD) 2A の家族例

○板橋 尚¹, 井上 建¹, 村上信行^{1,2}, 作田亮一^{1,2}, 南 成裕², 西野一三², 桒中征哉², 永井敏郎¹
獨協医科大学越谷病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター疾病研究第 1 部²

P-221 乳幼児期早期に運動発達遅滞や筋力低下を呈したジストロフィン異常症の 4 女児例

○栗嶋勇也¹, 小牧宏文¹, 石山昭彦¹, 竹下絵里¹, 斎藤貴志¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹,
武下草生子², 高野亨子³, 和田敬仁³, 鈴木幹也⁴, 南 成祐⁵, 西野一三⁶, 佐々木征行¹
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児
総合医療センター², 神奈川県立こども医療センター神経内科³, 国立病院機構東埼玉病院神経内
科⁴, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部⁵, 国立精神・神経医療研究センター神経研
究所疾病研究第一部⁶

P-222 ステロイド治療開始後に拡張型心筋症を発症した Duchenne 型筋ジストロフィーの一例

○石川幸辰¹, 須藤 章², 武田充人³, 石川悠加¹
国立病院機構八雲病院小児科¹, 市立札幌病院小児科², 北海道大学大学院小児科学分野³

17:20~17:45 筋 4 (S409)

座長 栗屋智就 (京都大学医学部附属病院小児科)

P-223 当院におけるデュシャンヌ型筋ジストロフィー (DMD) 患者に対する非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) の導入状況

○大萱俊介¹, 倉橋直子¹, 梅村紋子¹, 山田桂太郎¹, 丸山幸一¹, 熊谷俊幸²
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, くま在宅クリニック²

P-224 神経筋疾患患者における呼吸リハビリテーション

—知的障害の有無による介入・継続の工夫と効果について

○松塚敦子¹, 西田裕哉¹, 山口直人¹, 由井崇子¹, 北住映二¹, 直井富美子², 金子断行², 村山恵子^{1,3}
心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 心身障害児総合医療療育センターリハビリテーション
科², げんきこどもクリニック³

P-225 簡易血糖検査器を用いたベッドサイドでの Pompe 病スクリーニング

○杉江秀夫¹, 杉江陽子², 福田冬季子², 武関美香¹
自治医科大学小児科¹, 浜松医科大学小児科²

P-226 乳酸・ビルビン酸正常で筋の呼吸鎖酵素活性低下より診断したミトコンドリア呼吸鎖異常症の 2 例

○富永康仁^{1,2}, 岸本加奈子¹, 谷河純平¹, 新寶理子¹, 山崎早苗¹, 中野さやか¹, 濱田悠介¹,
岩谷祥子¹, 青天目信¹, 下野九理子^{1,2}, 村山 圭⁴, 永井利三郎³, 大藺恵一¹
大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所², 大阪大学大学院医
学系研究科保健学専攻生命育成看護科³, 千葉県こども病院代謝科⁴

P-227 突発性発疹症に上眼瞼挙筋炎を合併した一例

○土井大人, 田島大輔, 松尾宗明
佐賀大学医学部小児科

17:45~18:10 筋 5 (S410)

座長 斎藤利雄 (国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科)

P-228 斜視で発症した眼筋型重症筋無力症の 1 例

○横田卓也, 岡西 徹, 榎日出夫
聖隷浜松病院小児神経科

P-229 タクロリムスが有効であったステロイド依存性眼筋型重症筋無力症の女児 1 例

○中野瑛子^{1,3}, 池上弓子¹, 松岡雄一郎¹, 島崎真希子¹, 宮田世羽¹, 小松祐美子¹, 中村由紀子¹,
岡 明^{1,2}
杏林大学医学部小児科¹, 東京大学医学部小児科², 稲城市立病院³

P-230 眼筋型重症筋無力症の初期所見からの有効薬の検討

○杉山延喜¹, 池上真理子^{2,3}, 横山淳一^{2,4}, 宮下好洋², 松田晋一²
伊勢原協同病院小児科¹, 東海大学医学部小児科², 東海大学医学部八王子病院小児科³, 東海大学
医学部大磯病院小児科⁴

P-231 SMN1 遺伝子 exon6 に frameshift 変異を認めた脊髄性筋萎縮症 1 型の一例

○山田博之^{1,2}, 西田吉伸², 松本貴子², 毎原敏郎², 山本友人^{3,4}, 西尾久英^{3,4}
公立豊岡病院組合立豊岡病院小児科¹, 兵庫県立塚口病院小児科², 神戸大学大学院医学研究科内科
学系講座小児科³, 神戸大学大学院医学研究科地域社会医学健康科学講座疫学分野⁴

P-232 脊髄性筋萎縮症治療における甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン及びプロラクチンを用いた基礎的研究

○二階堂弘輝, 館 延忠, 川村健太郎
札幌医科大学医学部小児科

17:00~17:25 脳炎・脳症 4 (S412)

座長 三山佐保子 (東京都立小児総合医療センター神経内科)

P-233 リツキシマブ投与を行った抗 NMDA 受容体脳炎の 3 歳女児例

○中川裕康¹, 横井彩乃¹, 三谷裕介¹, 黒田文人¹, 新井田要², 宮 一志³
金沢大学医薬保健研究域医学系小児科¹, 金沢医科大学病院遺伝子医療センター², 富山大学医学部
小児科³

P-234 WISC-IV で処理速度低下を示した軽症抗 NMDA 受容体脳炎の一例

○平澤絢香¹, 露崎 悠^{1,2}, 麻生誠二郎¹, 高橋幸利³
日本赤十字社医療センター小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 国立病院機構静岡
てんかん・神経医療センター小児科³

P-235 右小脳半球・虫部に炎症所見を呈した急性小脳炎の 1 例

○芦刈友加, 水野賀史, 横井暁子, 小林 悟
名古屋市立西部医療センター小児科

P-236 左右交代性に出現した片側性基底核脳炎の 1 例

○比屋根真彦¹, 松岡剛司¹, 大府正治¹, 佐久間啓², 林 雅晴²
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経
再生研究分野こどもの脳プロジェクト²

P-237 不随意運動と構音障害を初発症状とした急性脳炎/脳症を 2 年の間に 2 回発症した女児例

○松下浩子¹, 玄 茉莉¹, 本田有衣子¹, 関谷真一郎¹, 天谷英理子¹, 岡野創造¹, 早川克己²
京都市立病院小児科¹, 京都市立病院放射線科²

17:25~17:45 脳炎・脳症 5..... (S414)

座長 宮本雄策(川崎市立多摩病院小児科)

P-238 急性脳症を合併した先天性副腎低形成症の1歳男児例

○中村紀子, 井上貴仁, 吉村和子, 金海武志, 林 仁美, 小川 厚

福岡大学筑紫病院小児科

P-239 造血幹細胞移植後にサイトメガロウイルス脳室脳炎と多発神経根炎を来した乳児例の検討

○本林光雄, 稲葉雄二, 齋間陽子, 新美妙美, 柴 直子, 西村貴文

信州大学医学部小児科

P-240 急性脳炎・脳症の長期予後と初期対応に関する後方視的検討

○久我修二¹, 小林 修^{1,2}, 糸永知代², 宮原弘明², 泉 達郎²慈恵会西田病院小児科¹, 大分大学小児科²

P-241 急性散在性脳脊髄炎(ADEM)7例のMRI所見の検討

○伊藤公嗣, 遠藤あゆみ, 吉田 圭, 木村かほり, 桃木恵美子, 河村由生, 石井和嘉子, 荒川千賀子,

小平隆太郎, 洲上達夫, 藤田之彦, 高橋昌里

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

17:45~18:10 感染・免疫 1..... (S415)

座長 稲葉雄二(信州大学医学部小児科)

P-242 遅発性にMRIで所見を認めたBickerstaff型脳幹脳炎の女児例

○河畑孝佳

石川県立中央病院小児科

P-243 水痘帯状疱疹ウイルス感染に伴い中枢神経症状を呈した4症例

○桃木恵美子, 洲上達夫, 伊藤公嗣, 河村由生, 石井和嘉子, 遠藤あゆみ, 荒川千賀子, 小平隆太郎,

藤田之彦

日本大学医学部小児科

P-244 小脳梗塞を発症し診断に至った抗リン脂質抗体症候群の一例

○坂井佐千子¹, 植竹公明¹, 河野 修¹, 高橋 悟²帯広厚生病院小児科¹, 旭川医科大学病院小児科²

P-245 小児視神経炎の予後

○武下草生子¹, 本井宏尚¹, 大山宜孝¹, 渡辺好宏¹, 市川和志², 真部哲治³, 根津敦夫⁴横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 小田原市立病院小児科², 神奈川県立足柄上病院小児科³, 横浜療育医療センター神経小児科⁴

P-246 急激に進行した視神経炎の一例

○重松枝里¹, 池上真理子², 宮下徳久³, 横山淳一¹, 杉山延喜¹東海大学医学部付属病院小児科¹, 東海大学医学部付属八王子病院², 東京都立小児総合医療センター³

18:10~18:35 感染・免疫 2..... (S417)

座長 山中 岳(東京医科大学小児科)

P-247 視神経脊髄炎における過眠とオレキシン値の検討

○久保田弘樹¹, 今西 彩², 佐川洋平², 矢野珠巨¹, 神林 崇², 高橋 勉¹, 清水徹男²秋田大学大学院医学系研究科小児科¹, 秋田大学大学院医学系研究科精神科²

P-248 多発性硬化症の8歳女児例の診断・治療経過について

○高橋 寛¹, 中村雅一², 松岡貴子², 山村 隆²青梅市立総合病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部²

P-249 インフルエンザ桿菌による髄膜脳炎後に前頭葉の萎縮を残した3例

○飯野千恵子, 栗原まな, 吉橋 学, 藤田弘之, 小萩沢利孝

神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科

P-250 7価肺炎球菌結合型ワクチン非含有血清型肺炎球菌による細菌性髄膜炎の10ヶ月女児例

○佐藤 彩¹, 龍神布紀子¹, 吉岡誠一郎²済生会滋賀県病院小児科¹, 滋賀医科大学小児科²

P-251 当院における細菌性髄膜炎の後方視的検討~無菌性髄膜炎との比較~

○中村裕子^{1,2}, 戸川雅美¹, 前垣義弘³鳥取県立中央病院小児科¹, 独立行政法人松江医療センター², 鳥取大学医学部脳神経小児科³

17:00~17:25 脳外科領域 (S418)

座長 藤本礼尚 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

P-252 ITB 療法のカテーテルトラブルの診断にシンチグラフィが役立った 8 歳男児例

○柴田明子¹, 山本真梨子¹, 渡邊 優¹, 寺嶋 宙¹, 柏井洋文¹, 久保田雅也¹, 師田信人²
国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター脳神経外科²

P-253 脊髄髄膜瘤におけるキアリ奇形 2 型と呼吸合併症に関する検討

○水口浩一¹, 久保田雅也², 師田信人³
国立成育医療研究センター総合診療部¹, 国立成育医療研究センター神経内科², 国立成育医療研究センター脳神経外科³

P-254 小児後天性テント下病変の認知機能の検討

○吉橋 学, 栗原まな, 飯野千恵子, 藤田弘之, 小萩沢利孝
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科

P-255 過去 10 年間、頭部外傷で当科に入院した患者の検討

○矢野珠巨¹, 久保田弘樹¹, 高橋 勉¹, 沢石由記夫², 豊野美幸²
秋田大学大学院医学系研究科機能展開医学系小児科学講座¹, 秋田県立医療療育センター²

P-256 発達障害の評価尺度が有用であった交通外傷後の高次脳機能障害の一例

○大橋 圭
名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院小児科, 名古屋市あけぼの学園

17:25~17:50 血管障害 (S420)

座長 木部哲也 (聖隷三方原病院小児科)

P-257 頸部動脈解離による脳梗塞

○佐藤睦美¹, 高木真理子¹, 安西里恵¹, 奥田美津子¹, 露崎 悠¹, 高野亨子^{1,2}, 小坂 仁^{1,3},
井合瑞江¹, 山下純正¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座², 自治医科大学小児科学講座³

P-258 もやもや病剖検例の免疫組織化学的検討

○松尾宗明
佐賀大学医学部小児科

P-259 細菌性脳動脈瘤を合併した感染性心内膜炎の 2 例

○佐野史和¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²

P-260 巨大硬膜静脈洞拡張を呈する先天性硬膜動静脈瘻の自然閉鎖を認めた一例

○森宗孝夫, 西倉紀子, 吉岡誠一郎, 高野知行, 竹内義博
滋賀医科大学小児科

P-261 くも膜下出血を合併した Reversible cerebral vasoconstriction syndrome の女児例

○吉原尚子^{1,2}, 和田敬仁^{1,3}, 高木真理子¹, 佐藤睦美¹, 安西里恵¹, 奥田美津子¹, 露崎 悠¹,
小坂 仁^{1,4}, 高野亨子^{1,5}, 井合瑞江¹, 山下純正¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 日本赤十字社医療センター小児科², 京都大学医学部医療倫理学遺伝医療学講座³, 自治医科大学小児科学講座⁴, 信州大学医学部附属病院遺伝医学講座⁵

17:50~18:25 腫瘍 (S422)

座長 村松一洋 (群馬大学大学院医学系研究科小児科)

P-262 エベロリムスにて上衣下巨細胞性星細胞腫による水頭症が改善した結節性硬化症の 1 女性例

○岩崎博之^{1,2}, 太田さやか¹, 下田木の実¹, 水野葉子¹, 高橋長久¹, 三牧正和¹, 岡 明¹,
斎藤真木子², 水口 雅²
東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学教室²

P-263 Everolimus の投与により、自閉性症状やてんかん発作が軽減した結節性硬化症の一例

○榎園 崇, 大戸達之, 田中竜太, 城戸崇裕, 影山あさ子, 須磨崎亮
筑波大学小児科

P-264 mTOR 阻害剤投与により、SEGA の縮小を含めた治療効果が確認できた結節性硬化症の 2 症例

○渡邊 優, 山本真梨子, 柴田明子, 寺嶋 宙, 柏井洋文, 久保田雅也
国立成育医療研究センター神経内科

- P-265 腎血管筋脂肪腫を合併した結節性硬化症患者の臨床経過**
 ○底田辰之¹, 西村洋子¹, 前垣義弘¹, 呉 博子², 大野耕策³
 鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取県立総合療育センター², 山陰労災病院³
- P-266 頭蓋咽頭腫術後に過眠症を呈しナルコレプシーと診断した 13 歳女児例**
 ○内田智子¹, 神林 崇², 田邊 良¹, 永沢佳純¹, 石井光子¹
 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科¹, 秋田大学神経運動器学講座精神科学分野²
- P-267 頭蓋咽頭腫術後にメチルフェニデートを使用する際の注意事項**
 ○巨田元礼, 米谷 博, 川谷正男, 畑 郁江, 大嶋勇成
 福井大学医学部小児科
- P-268 意識消失を繰り返した Von Hippel-Lindau 病の女児例**
 ○米衛ちひろ¹, 佐野のぞみ¹, 友杉哲三², 花田朋子³, 山畑仁志³, 有田和徳³
 独立行政法人国立病院機構南九州病院小児科¹, 鹿児島市立病院脳神経外科², 鹿児島大学医学部脳神経外科³

第 3 日目 第 1 会場〔アクティシティ浜松 大ホール〕

9:00~11:30 長期計画委員会主催セミナー (S188)

日本小児神経学会が進むべき方向：現在の課題と、これからの 10 年を見据えて

座長 大野耕策 (山陰労災病院)
松石豊次郎 (久留米大学医学部小児科)

- 1) 重症児の今後の対応
神山 潤 (公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ浦安市川医療センター)
- 2) 子どものこころの診療医の専門医制と、小児神経科専門医との関わり
杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)
- 3) 心理士国家資格化の動向および小児神経医療と心理学の関わり方
作田亮一 (獨協医科大学越谷病院小児科)
- 4) 小児リハビリにおける他科との連携
栗原まな (神奈川県総合リハビリテーション病院小児科)
- 5) てんかん診療の動向と今後の展望
須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 6) Neurodevelopmental Disorders (NDD) に関する教育と医療の連携のこれから
小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学教室)

第 3 日目 第 2 会場〔アクティシティ浜松 中ホール〕

9:00~10:00 教育講演 7 (S119)

小児神経科医が知っておくべき臨床研究のデザインとデータ処理

座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)
講演 川村 孝 (京都大学健康科学センター)

10:00~12:00 ディベートシンポジウム (S150)

小児急性脳症の脳機能レスキュー治療：脳低温療法を考える

座長 水口 雅 (東京大学大学院医学系研究科発達医科学)
山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)

- 1) 新生児低酸素性虚血性脳症に対する脳低温療法の効果
茨 聡 (鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児科)
- 2) 前進か？後退か？ BabyCooling Japan 症例登録制度と関連啓発事業の集積による世界標準回帰への道のり
岩田欧介^{1,2}, 武内俊樹³, 岩田幸子¹, 鍋谷まこと⁴, 向井丈雄⁴, 柴崎 淳⁵, 津田兼之介¹, 徳久琢也⁶, 側島久典⁷, 田村正徳⁷
(久留米大学小児科学高次脳疾患研究所¹, 聖マリア病院小児科², 慶應義塾大学小児科³, 淀川キリスト教病院小児科⁴, 神奈川小児医療センター新生児科⁵, 鹿児島市立病院新生児科⁶, 埼玉医科大学総合医療センター小児科⁷)
- 3) ガイドラインに沿った新生児虚血性低酸素性脳症の脳低温療法
清水正樹 (埼玉県立小児医療センター)
- 4) 小児急性脳症に対する軽度脳低体温療法プロトコルの展望と問題点
今高城治 (獨協医科大学医学部小児科)
- 5) 低体温療法に関する今後の課題と展望
後藤知英 (神奈川県立こども医療センター神経内科, 東京都立小児総合医療センター神経内科)

13:00～16:00 市民公開講座……………(S213)

支援が必要な子どもたちへの対応を考えるー医療, 教育, 社会に求められること

座長 平野浩一(浜松市発達医療総合福祉センター)

小沢 浩(島田療育センターはちおうじ)

1. はじめに
杉江秀夫(自治医科大学小児科)
2. 医療
 - 1) 開業医が行う子育て支援と地域生活支援の取り組み
金原洋治(かねはら小児科)
 - 2) 小児在宅医療: 訪問看護ステーションによる地域ネットワーク活動
梶原厚子(医療法人財団はるたか会非営利法人あおぞらネット)
3. 教育
 - 1) 学校教育における医療的ケアを必要とする子どもたちへの対応とその課題
下川和洋(特定非営利活動法人地域ケアさぽーと研究所)
 - 2) 今, 学校でできることー医療・福祉・教育連携ー
河部多香子(浜松市立尾奈小学校)
4. 福祉
重症心身障害児(者)の親子の自立について
小林不二也(社会福祉法人インクルふじ)
5. 当事者から
地域における親の会の役割ー支援が必要な子ども達の声を届ける
大石辰夫(特定非営利活動法人浜松地区肢体不自由児親の会)
6. 浜松発達医療福祉センターにおける医療・福祉・教育連携
浜松市発達医療総合福祉センターにおける取り組みー支援が必要な子どもたちを支える
遠藤雄策(浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科)
7. 防災
東南海トラフに備える: 東日本大震災の障がい児者支援活動から学ぶ
田中総一郎(東北大学大学院小児科)

第3日目 第3会場 [アクティシティ浜松 4F]

9:00～10:00 教育講演8……………(S120)

小児神経科医が知っておくべき遺伝学的検査の現状と倫理社会的諸問題

座長 伏木信次(京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)

講演 山本俊至(東京女子医科大学統合医科学研究所)

10:00～12:00 テーマ企画シンポジウム2……………(S145)

静岡県からてんかん医療を考える

座長 久保田英幹(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

鶴井 聡(聖隷沼津病院小児科)

- 1) てんかん患者のキャリアオーバー問題 子ども病院の立場から
渡邊誠司, 奥村良法, 愛波秀男(静岡県立こども病院神経科)
- 2) 静岡県におけるてんかんのキャリアオーバーについてー地域総合病院の立場からー
鶴井 聡(聖隷沼津病院小児科)
- 3) 患者学習プログラム MOSES
西田拓司(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター精神科)
- 4) 社会啓発から見えてくるもの
榎日出夫, 山本貴道(聖隷浜松病院てんかんセンター)
- 5) てんかん診療の地域連携の試み
久保田英幹(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

第 3 日目 第 4 会場〔アクティシティ浜松 4F〕

- 8:00~9:00 今からでもきいてみよう 3..... (S161)
 小児の頭痛：慢性頭痛の診療ガイドライン 2013
 座長 栗原まな (神奈川県総合リハビリテーション病院)
 講演 安藤直樹 (名古屋市立大学医学部小児科)
- 9:00~10:00 一般演題 (口演) 神経・筋疾患 5..... (S313)
 座長 石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)
 小篠史郎 (熊本大学医学部小児科)
- O-231 次世代シーケンサーを活用したネマリノミオパチーの遺伝子変異解析
 ○林由起子^{1,2}, 埜中征哉², 西野一三²
 東京医科大学医学部医学科神経生理学¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部²
- O-232 福山型先天性筋ジストロフィーのアンチセンス治療における至適薬剤の選択
 ○池田真理子^{1,2}, 小林千浩¹, 佐藤洋平³, 若山達志³, 増田博文³, 竹島泰弘², 飯島一誠², 戸田達史¹
 神戸大学医学部小児科¹, 神戸大学医学部神経内科学/分子脳科学², 日本新薬株式会社³
- O-233 当院における遺伝性筋疾患の疾患 iPS 細胞の樹立状況の報告
 ○栗屋智就, 吉田健司, 加藤竹雄, 平家俊男
 京都大学医学部附属病院小児科
- O-234 胸腺摘出後, Tacrolimus 単剤で良好な経過を得られているステロイド抵抗性全身型重症筋無力症の一例
 ○岩田あや, 仁紙宏之
 西神戸医療センター小児科
- O-235 血漿 FGF21 は筋症状を伴うミトコンドリア病のバイオマーカーになる
 ○ハツ賀秀一, 古賀靖敏
 久留米大学小児科
- O-236 経腸栄養で改善したデュシェンヌ型筋ジストロフィーに合併の上腸間膜動脈症候群
 ○野崎章仁, 林 安里, 森未央子, 日衛嶋郁子, 熊田知浩, 柴田 実, 藤井達哉
 滋賀県立小児保健医療センター小児科
- 10:00~11:00 一般演題 (口演) 感染・免疫 2..... (S315)
 座長 塩見正司 (石井記念愛染園附属愛染橋病院小児科)
 川脇 寿 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
- O-237 小児期発症視神経脊髄炎の長期経過
 ○鈴木理恵¹, 田中正美², 田中恵子³, 苛原 香¹, 向田壮一¹, 白石一浩¹
 (独) 国立病院機構宇多野病院小児神経科¹, (独) 国立病院機構宇多野病院神経内科², 金沢医科大学神経内科³
- O-238 cell-based assay による抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein 抗体
 ○田中正美¹, 鈴木理恵², 白石一浩², 田中恵子³
 国立病院機構宇多野病院多発性硬化症センター¹, 国立病院機構宇多野病院小児科², 金沢医科大学神経内科³
- O-239 小児神経疾患における髄液中 LRG の検討
 ○チョンピンフィー¹, 酒井康成², 松倉 幹¹, 原口康平¹, 緒方怜奈¹, 原 寿郎², 吉良龍太郎¹
 福岡市立こども病院小児神経科¹, 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 (小児科)²
- O-240 多発性硬化症様の脱髄性病変を認めた LRBA 欠損症
 ○新井麻子¹, 加藤文代¹, 星加将吾¹, 鈴木恵子¹, 上田 哲¹, 梅津亮二¹, 角田達彦², 久保充明², 満生紀子³, 今井耕輔³, 森尾友宏³, 杉原茂孝¹
 東京女子医科大学東医療センター小児科¹, 理化学研究所統合生命医科学研究センター基盤技術開発研究グループ², 東京医科歯科大学医歯学総合研究科発生発達病態学分野³
- O-241 本邦における亜急性硬化性全脳炎の 2012 年全国サーベイランス調査
 ○中村由紀子¹, 愛波秀男², 鈴木保宏³, 吉永治美⁴, 岡 明^{1,5}
 杏林大学医学部小児科¹, 静岡県立こども病院神経内科², 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科³, 岡山大学大学院発達神経病態学⁴, 東京大学医学部小児科⁵
- O-242 亜急性硬化性全脳炎における髄液および血清中 MAP2 濃度の検討
 ○松重武志, 井上裕文, 梶本まどか, 岡 桃子, 百中 宏, 長谷川俊史
 山口大学大学院医学系研究科小児科

- 11:00~12:00 一般演題 (口演) 感染・免疫・神経変性疾患…………… (S317)
 座長 山下純正 (神奈川県立こども医療センター病院長)
 田角 勝 (昭和大学医学部小児科)
- O-243 保存臍帯を用いた先天性サイトメガロウイルス感染の診断
 ○倉橋宏和^{1,2}, 大萱俊介², 倉橋直子², 梅村紋子², 山田桂太郎², 丸山幸一², 麻生幸三郎²,
 伊藤嘉規³
 愛知県青い鳥医療福祉センター小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科², 名古屋
 大学大学院医学系研究科小児科³
- O-244 先天性サイトメガロウイルス感染症の臨床像～臍帯を用いた解析結果～
 ○植松 貢¹, 菊池敦生¹, 中山東城¹, 福與なおみ¹, 萩野谷和裕², 呉 繁夫¹
 東北大学医学部小児科¹, 拓桃医療療育センター小児神経科²
- O-245 橋本脳症の 1 男児例—小児における橋本脳症の臨床像の検討—
 ○上野弘恵¹, 西里ちづる¹, 渡邊 聖¹, 島津智之¹, 水上智之², 小菅浩史³, 小篠史郎³, 野村恵子³,
 木村重美³, 高橋幸利⁴
 国立病院機構熊本再春荘病院小児科¹, 国立病院機構熊本医療センター小児科², 熊本大学医学部附
 属病院発達小児科³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴
- O-246 ATL1 遺伝子 p.Gly409Asp 変異は最重症型の遺伝性痙攣性対麻痺と関係する
 ○米川貴博^{1,2}, 大矢 寧³, 須貝研司¹, 佐々木征行¹
 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 独立行政法人国立精神・神経医療
 研究センター神経研究所疾病研究第一部², 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター病院神
 経内科³
- O-247 Pelizaeus-Merzbacher-like 病: GJC2 遺伝子の新規プロモーター変異とその分子病態
 ○井上 健¹, 後藤玲央¹, Guy Helman², Sara Mora³, Kiran Maski⁴, Janet S. Soul⁴, Miriam Bloom⁵,
 Sarah H Evans⁶, 後藤雄一¹, Ljubica Caldovic⁷, Grace M. Hobson^{3,7}, Adeline Vanderver^{2,5}
 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部¹, Neurology, Childrens National Medi-
 cal Center², Nemours Biomedical Research, Alfred I. duPont Hospital for Children³, Neurology, Boston
 Childrens Hospital and Harvard Medical School⁴, Pediatrics, Childrens National Medical Center⁵, Physical
 Medicine and Rehabilitation, Childrens National Medical Center⁶, Center for Genetic Medicine Research,
 Childrens National Medical Center⁷

13:00~17:00 小児重症筋無力症研究会

第 3 日目 第 5 会場 [アクトシティ浜松 5F]

- 7:30~9:00 第 6 回小児免疫性脳炎研究会
- 9:00~10:00 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 9…………… (S319)
 座長 森本昌史 (京都府立医科大学小児科)
 鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
- O-248 点頭てんかんに対する ACTH 療法後の視床下部-下垂体-副腎皮質機能の検討
 ○坂口友理¹, 後藤知英^{1,2}, 生田陽二¹, 荒井洋美¹, 富田 直¹, 三山佐保子¹
 東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科²
- O-249 経過中に発達遅滞, 自閉症状を認めた Benign myoclonus of early infancy (BMEI) の 2 例
 ○利川寛実, 木水友一, 木村貞美, 池田 妙, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科
- O-250 欠神を伴う眼瞼ミオクローヌス (EMA) の 5 例
 ○平野嘉子, 小国弘量, 西川愛子, 塩田睦記, 永田 智
 東京女子医科大学小児科
- O-251 グルタミン酸受容体 (GluR) 抗体が陽性であった Late onset Lennox-Gastaut 症候群の 14 歳女児例
 ○藤井裕士¹, 小林良行¹, 石川暢恒¹, 高橋幸利²
 広島大学病院小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²
- O-252 バルプロ酸投与中の小児てんかん児における夜尿症の検討
 ○金村英秋¹, 佐野史和¹, 大山哲男¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
 山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²

O-253 スルホニル尿素剤とケトン食療法を併用した DEND 症候群の経時的脳波検討

○福岡正隆¹, 川脇 壽¹, 九鬼一郎¹, 辻ひとみ¹, 服部有香¹, 掘野朝子¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹,
川北理恵², 細川悠紀², 藤丸季可², 依藤 亨²
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌科²

10:00~11:00 一般演題 (口演) てんかん・けいれん 10..... (S321)

座長 花井敏男 (柳川療育センター発達支援センター)

田川哲三 (大阪厚生年金病院小児科)

O-254 熱傷を契機に有熱時痙攣群発を呈した 2 例

○細川洋輔, 早川文雄, 辻 健史, 加藤 徹
岡崎市民病院小児科

O-255 二次救急小児病院における小児てんかんの動向

○村上貴孝
中野こども病院

O-256 当院における乳児期発症てんかんについての調査

○安部信平, 奥村彰久, 五十嵐鮎子, 池野 充, 清水俊明
順天堂大学医学部小児科

O-257 小児てんかん重積状態の病因と転帰

○菊池健二郎^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 樋渡えりか¹, 平田佑子^{1,2}, 大場温子¹, 熊谷勇治¹, 田中 学¹,
南谷幹之³, 井田博幸²
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学講座², 埼玉県立小児医療セン
ター保健発達部³

O-258 てんかんに関する心理職の意識調査

○成田有里¹, 浜野晋一郎², 南谷幹之³, 田中 学², 菊池健二郎², 黒田 舞¹, 平田佑子², 大場温子²,
熊谷勇治²
埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 埼玉県立小児医
療センター保健発達部³

O-259 成人期を迎える子どもをもつ保護者のてんかん診療についての認識

○柏木 充¹, 荒井 洋², 今石秀則², 宇野里砂², 九鬼一郎², 島川修一², 田川哲三², 田辺卓也²,
鳥邊泰久², 永井利三郎², 西田 勝², 最上友紀子²
市立枚方市民病院小児科¹, 大阪小児科医会勤務医部会障害児問題検討委員会²

11:00~12:00 一般演題 (口演) 代謝性疾患 3 (S323)

座長 伊藤哲哉 (藤田保健衛生大学医学部小児科学教室)

井田博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)

O-260 神経症状を呈する Wilson 病症例の初発症状に関する検討

○清水教一, 中澤祥子, 小西弘恵, 青木継稔
東邦大学医療センター大橋病院小児科

O-261 新生児期に反復した骨折を契機に Menkes 病と診断した 1 例

○小林 悟¹, 芦刈友加¹, 水野賀史¹, 横井暁子¹, 伊藤哲哉², 児玉浩子³
名古屋市立西部医療センター小児科¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野²,
帝京大学小児科³

O-262 治療可能な小脳失調: Cerebral Folate Transport Deficiency の同胞例

○露崎 悠¹, 井合瑞江¹, 安西里恵¹, 佐藤睦美¹, 高木真理子¹, 奥田美津子¹, 高野亨子^{1,3},
小坂 仁^{1,2}, 山下純正¹, 才津浩智⁴
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 自治医科大学小児科学講座², 信州大学医学部遺伝医学・
予防医学講座³, 横浜市立大学医学部遺伝学⁴

O-263 重症心身障害児・(者) に発症したボルフィリン症 3 例の検討

○清田今日子^{1,2}, 清水未希^{1,2}, 後藤千佳^{1,3}, 泉 達郎¹
大分大学医学部神経小児科¹, 別府発達医療センター², 国立病院機構宮崎病院小児科³

O-264 臍帯血移植を施行した副腎白質ジストロフィーの兄弟例

○沼田有里佳, 小林朋子, 植松 貢, 坂本 修, 廣瀬三恵子, 福與なおみ, 中山東城, 佐藤優子,
呉 繁夫
東北大学医学部小児科

O-265 当院における副腎白質ジストロフィー 6 例の臨床的検討

○宮内彰彦¹, 門田行史¹, 池田尚広¹, 川原勇太¹, 長嶋雅子¹, 小坂 仁¹, 杉江秀夫¹, 森本 哲¹,
渡辺浩史³, 下泉秀夫³, 下澤伸行², 山形崇倫¹
自治医科大学小児科¹, 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野², 国際医療福祉
リハビリテーションセンターなす療育園³

第3日目 第11会場〔アクティシティ浜松 3F〕

7:00~9:00 朝から頑張る症例検討会 (S157)

あなたの診断が患者さんの未来をかえる

座長 藤井克則(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

小坂 仁(自治医科大学小児科学)

- 1) 乳児期発症の最重度発達遅滞と難治なてんかん発作を示す女性例
秋山倫之(岡山大学病院小児神経科)
- 2) 歩行障害で発症し、視神経病変を認めた6歳女児例
平出拓也, 石垣英俊, 朝比奈美輝, 松林朋子, 福田冬季子(浜松医科大学小児科)
- 3) 左跛行から左下肢筋萎縮を呈した3歳女児例
内田智子(千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科)
- 4) 足・腰のしびれ・痛みを生じた14歳女児
露崎 悠^{1,2}, 麻生誠二郎²
(神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 日本赤十字社医療センター小児科²)

9:00~10:00 一般演題(口演) 注意欠如・多動性障害 (S325)

座長 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科)

林 隆(西川医院発達診療部発達障害研究センター)

O-266 ADHD 夏期集中プログラム前後の心理検査(Stroop課題を中心に)

○弓削康太郎¹, 大矢崇志¹, 家村明子¹, 永光信一郎¹, 江上千代美², 山下裕史朗^{1,3}, 松石豊次郎^{1,3}
久留米大学医学部小児科¹, 福岡県立大学看護学科², 久留米大学高次脳疾患研究所³

O-267 日本語版 Impairment Rating Scale (IRS): 当科における ADHD 小児を対象とした調査

○大谷良子¹, 金谷梨恵¹, 井上 建², 島村圭一², 作田亮一¹
獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター¹, 獨協医科大学越谷病院小児科²

O-268 ADHD の親子同時治療による臨床効果

○鈴木直光
筑波こどものこころクリニック小児科

O-269 注意欠如・多動性障害における近赤外線スペクトロスコピーを用いた前頭葉機能評価

○森 健治¹, 伊藤弘道², 東田好広², 宮崎雅仁², 橋本浩子¹, 谷 洋江¹, 香美祥二²
徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野¹, 徳島大学医学部小児科²

O-270 注意欠如・多動性障害における前頭葉抑制機能不全—近赤外線スペクトロスコピーによる検討—

○伊藤弘道¹, 森 健治², 東田好広¹, 宮崎雅仁¹, 香美祥二¹
徳島大学医学部小児科¹, 徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野²

O-271 Atomoxetine (ATX) の用量の検討—特に少量投与が適切な例について—

○洲鎌倫子, 石崎朝世
公益社団法人発達協会王子クリニック

10:00~12:00 シンポジウム 6 (S138)

変貌する自閉症スペクトラム障害の医療: 病態に立脚した診断から治療へ

座長 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

山形崇倫(自治医科大学小児科学)

- 1) ゲノムコピー数異常が自閉症スペクトラム障害の原因となる
山本俊至, 下島圭子(東京女子医科大学統合医科学研究所)
- 2) 次世代シーケンサーを用いた自閉症スペクトラム障害に対する遺伝子解析のインパクト
齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
- 3) 自閉症スペクトラム障害の評価: 統一した評価法の必要性
山形崇倫, 門田行史(自治医科大学小児科学)
- 4) 自閉症スペクトラム障害の薬物療法: 科学的な薬物療法の提言
中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 5) 自閉症スペクトラム障害の病態関連遺伝子の機能解析
永田浩一¹, 浜田奈々子¹, 松本 歩², 山形崇倫²
(愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所神経制御学部¹, 自治医科大学小児科学²)

第 3 日目 第 12 会場〔アクトシティ浜松 4F〕

- 9:00～10:00 一般演題 (口演) 不随意運動・基底核…………… (S327)
 座長 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
 新宅治夫 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学分野)
- O-272 Ocular flutter 様の異常眼球運動に clonazepam が有効であった 6 歳女児例
 ○田原麻由^{1,2}, 鈴木ことこ¹, 浜野晋一郎²
 東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター²
- O-273 ガバペンチンが有効であった GNAO1 変異をもつヒョレアアテトーシスの 1 例
 ○高木真理子¹, 佐藤睦美¹, 安西里恵¹, 奥田美津子¹, 露崎 悠¹, 高野亨子^{1,2}, 井合瑞江¹,
 中村和幸^{3,4}, 才津浩智³, 小坂 仁^{1,5}, 山下純正¹
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 信州大学医学部遺伝医学予防医学講座², 横浜市立大学
 医学部遺伝学講座³, 山形大学小児科⁴, 自治医科大学小児科学講座⁵
- O-274 弟の診断を契機に発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼ (PKC) と診断した自閉症の 1 例
 ○井手口博, 井原由紀子, 友納優子, 藤田貴子, 安元佐和, 廣瀬伸一
 福岡大学医学部小児科
- O-275 小児期発症ジストニアの運動準備状態の体性感覚誘発電位 (SEPs) による検討
 ○木村一恵¹, 長尾ゆり¹, 林 雅晴^{1,2}, 八森 啓¹, 野村芳子¹, 瀬川昌也¹
 瀬川小児神経学クリニック¹, 東京都医学総合研究所²
- O-276 Tourette 症候群に対する反復経頭蓋磁気刺激療法の有用性
 ○大塚耕右, 柳生一自, 朝比奈直子, 香坂 忍, 白石秀明
 北海道大学大学院医学研究科小児科学分野
- O-277 低酸素血症を伴う肺炎を契機に激しい不随意運動を認めた一例
 ○澤浦法子¹, 富田桂子², 村松一洋¹, 荒川浩一¹
 群馬大学医学部小児科¹, 群馬中央総合病院小児科²
- 10:00～11:00 一般演題 (口演) 形態・頭痛・脳外科領域…………… (S329)
 座長 伊東恭子 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
 岩崎信明 (茨城県立医療大学保健医療学部医科学センター)
- O-278 ヒト外側膝状体核の発達：形態学的検討
 ○山口勝之
 獨協医科大学病理学形態, 総合南東北病院小児科
- O-279 神経線維腫症 1 型において頭部 MRI で認められる UBO の病理学的所見
 ○岩崎信明¹, 林 雅晴², 田中竜太³, 大戸達之³, 中山智博¹, 中山純子¹
 茨城県立医療大学付属病院小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野², 筑波大学
 臨床医学系小児科³
- O-280 頭痛を訴えて受診し, 起立性調節障害と診断された児の特徴
 ○田中 学¹, 浜野晋一郎¹, 菊池健二郎¹, 南谷幹之², 大場温子¹, 平田佑子¹, 熊谷勇治¹
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部²
- O-281 小児の慢性頭痛に対する半夏白朮天麻湯の有用性
 ○内野俊平¹, 白井育子¹, 星野 愛², 八谷靖夫¹, 熊田聡子¹, 栗原栄二¹
 東京都立神経病院神経小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医科学教室²
- O-282 延髄障害で見られた嚥下機能障害の 2 症例
 ○佐野のぞみ¹, 米衛ちひろ¹, 藍原康雄², 藤尾信吾³, 有田和徳³
 国立病院機構南九州病院小児科¹, 東京女子医科大学脳神経外科², 鹿児島大学医学部脳神経外科³
- 11:00～12:00 一般演題 (口演) 発達障害の療育・支援…………… (S331)
 座長 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)
 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
- O-283 保育園における自閉症スペクトラムの ABA 早期介入の成果
 ○前田卿子^{1,2}, 末田慶太郎¹, 早川幸代¹, 原 泉¹, 山本淳一³, 松崎敦子³
 静岡医療福祉センター小児神経科¹, 静岡市発達障害者支援センター², 慶應義塾大学³

- O-284 幼児期における自閉症スペクトラム児に対する視覚支援を用いたはさみ導入に関する検討**
○大歳太郎^{1,2}, 高田 哲², 五十嵐千尋³, 片山裕代³, 大歳美和³, 村木敏明⁴
関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻¹, 神戸大学大学院保健学研究科², 児童デイサービスたくみ³, 茨城県立医療大学保健医療学部作業療法学専攻⁴
- O-285 発達障害診療における保護者支援のあり方—母親が振り返る「子育て」の視点から—**
○小林朋佳^{1,2}, 稲垣真澄², 鈴木浩太², 森山花鈴², 加我牧子²
地域医療機能推進機構東京山手メディカルセンター (旧, 社会保険中央総合病院) 小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部²
- O-286 感覚統合療法をうけた発達障害児の就学後の様子**
○和田恵子, 松井秀司, 大野由美子, 長谷川朝彦, 木下節子, 田村貴子, 難波由喜子, 牧野道子, 松田光展, 赤星恵子, 舟橋満寿子, 鈴木康之, 椎木俊秀
東京小児療育病院小児科
- O-287 行動実況中継賞賛法による自閉症スペクトラムの発達**
○小沢 浩¹, 野村芳子¹, 雨宮 馨¹, 相崎貢一¹, 小沢愉理¹, 井上祐紀²
島田療育センターはちおうじ神経小児科¹, 島田療育センターはちおうじ児童精神科²
- O-288 当センターにおける注意欠陥・多動性障害への多職種支援に関する検討**
○青柳閣郎^{1,2}, 畠山和男¹, 石井佐綾香², 反頭智子², 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男³
山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³